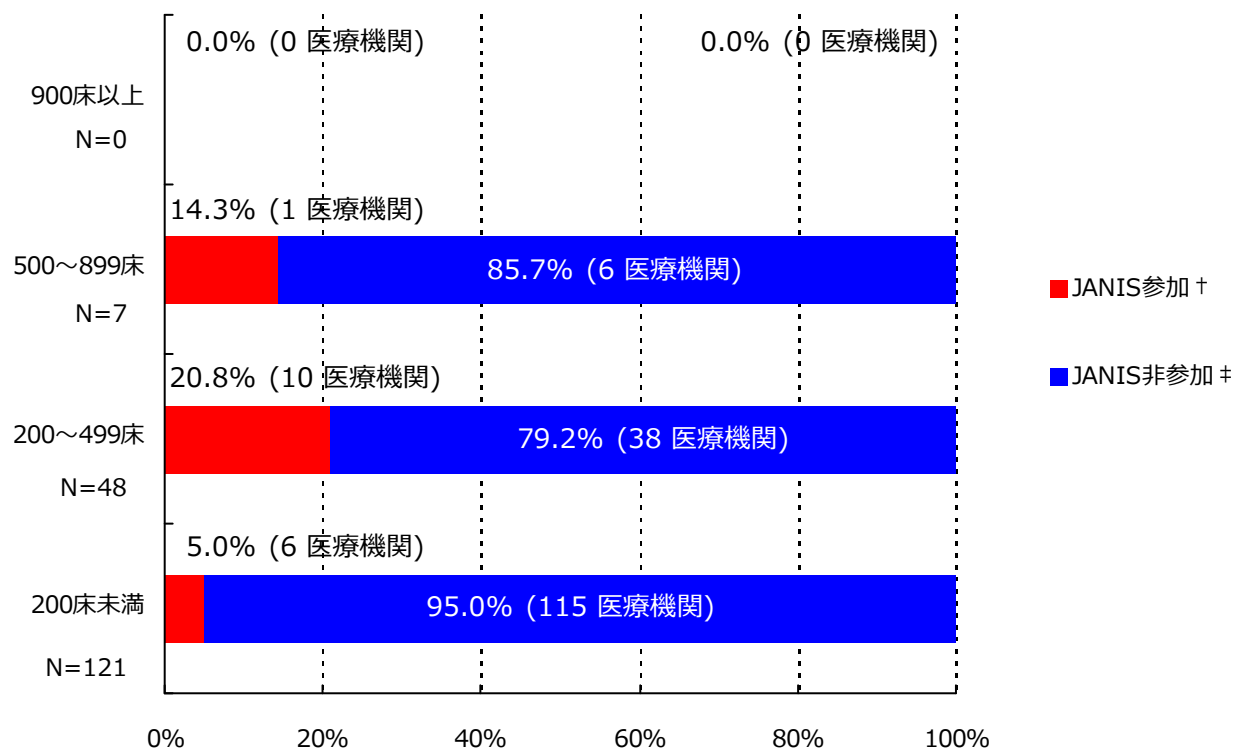


1. データ提出医療機関*数(17医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	1 (14.3%)
200～499床	48	10 (20.8%)
200床未満	121	6 (5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	176	17 (9.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(茨城県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

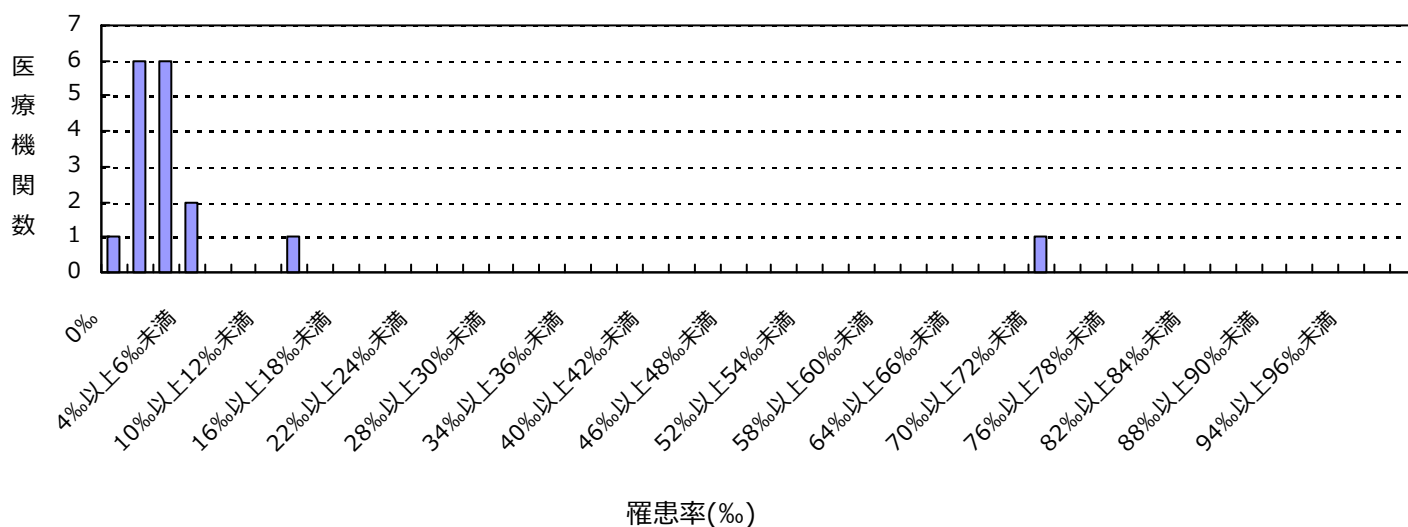


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	76,321	4	313	4.10%	0.00 2.32 70.70 -----

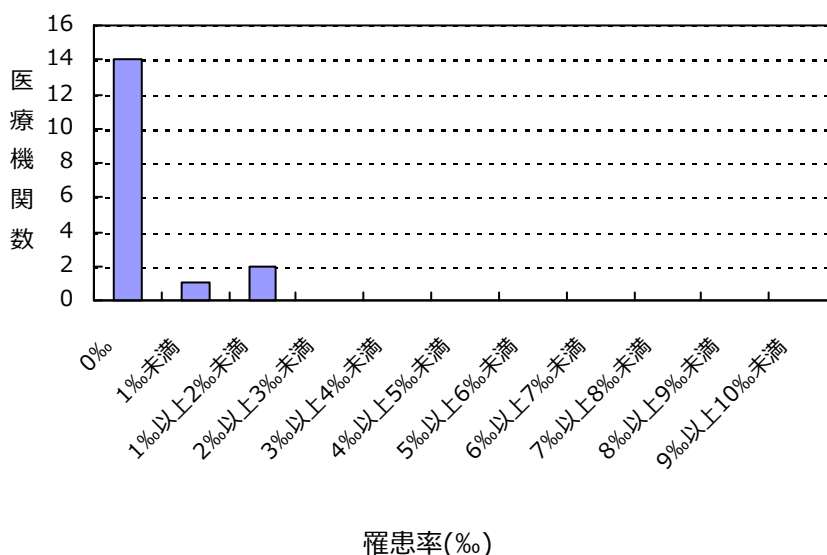
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	76,321	0	16	0.21%	0.00 0.00 1.90 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=17)



(茨城県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

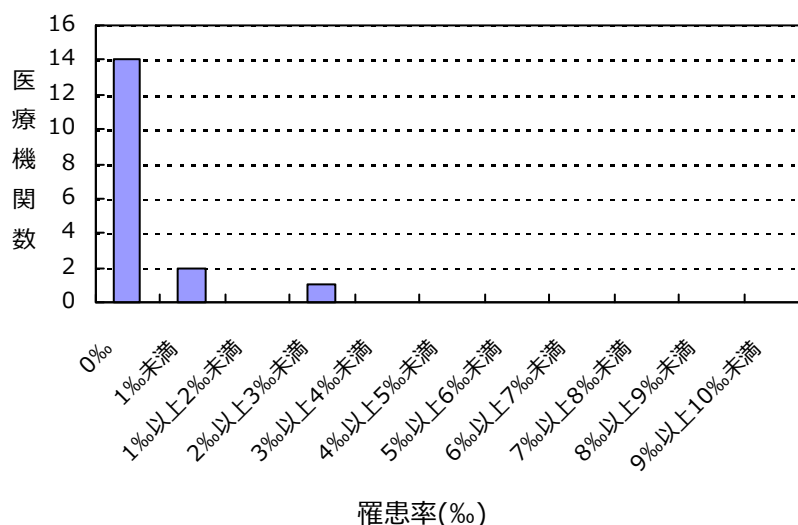


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	76,321	0	6	0.08%	0.00 0.00 2.35

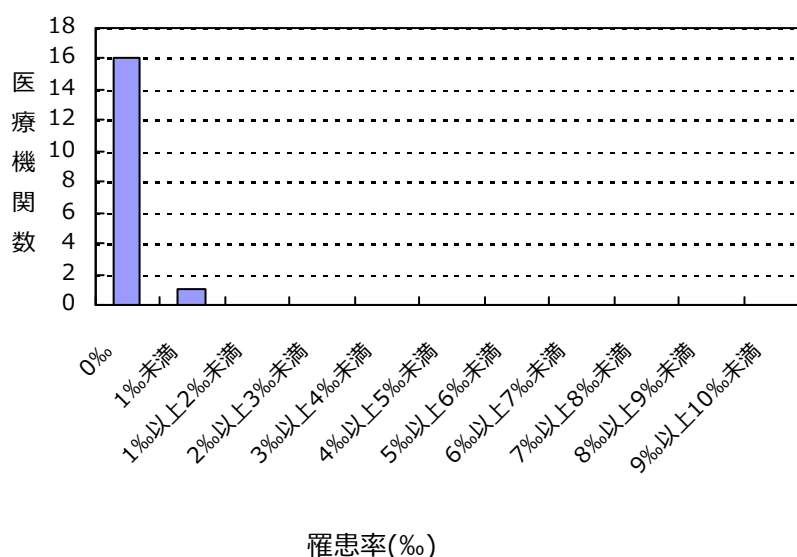
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	76,321	0	4	0.05%	0.00 0.00 0.37

集計対象医療機関の罹患率(N=17)



(茨城県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

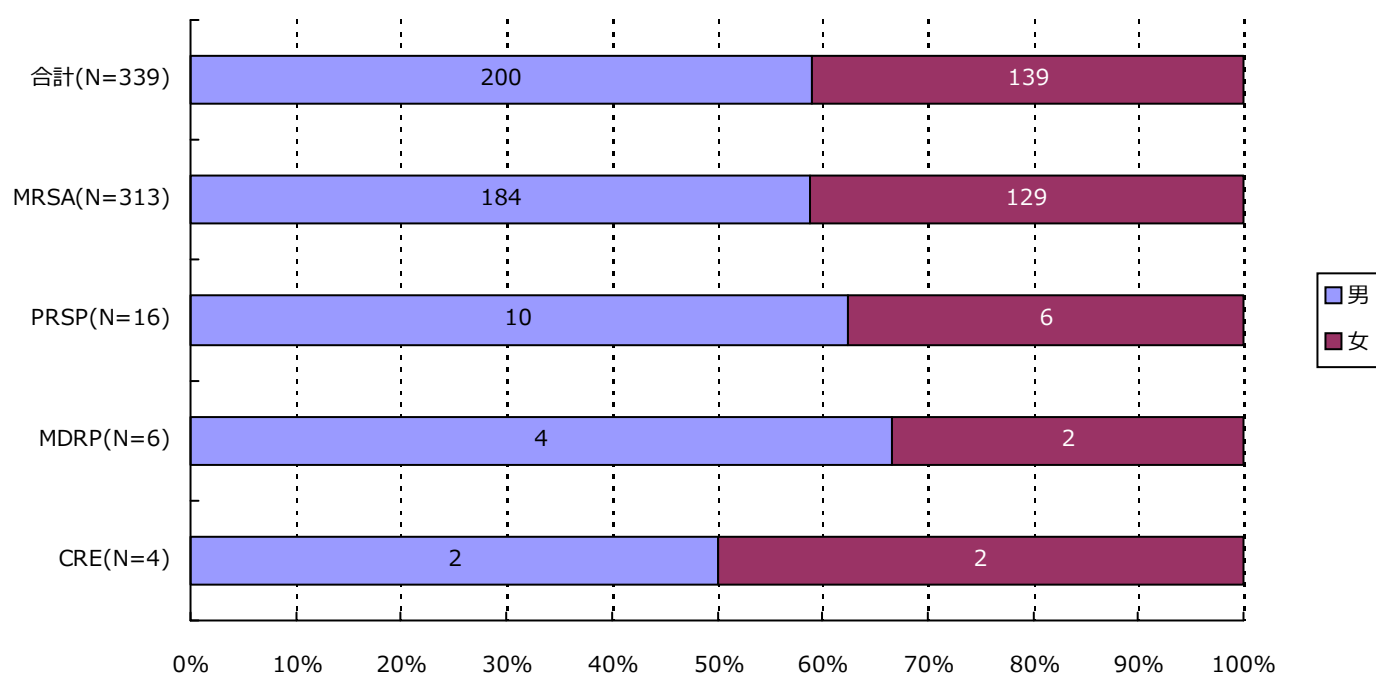
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

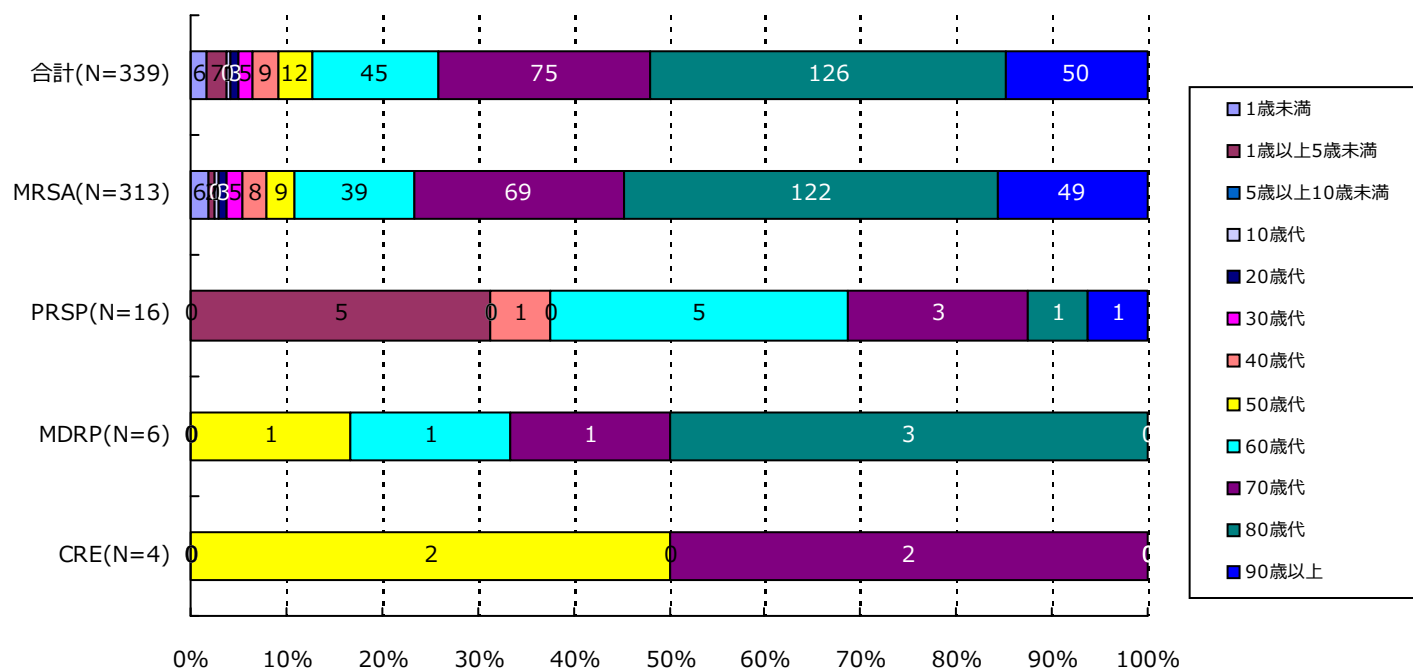
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



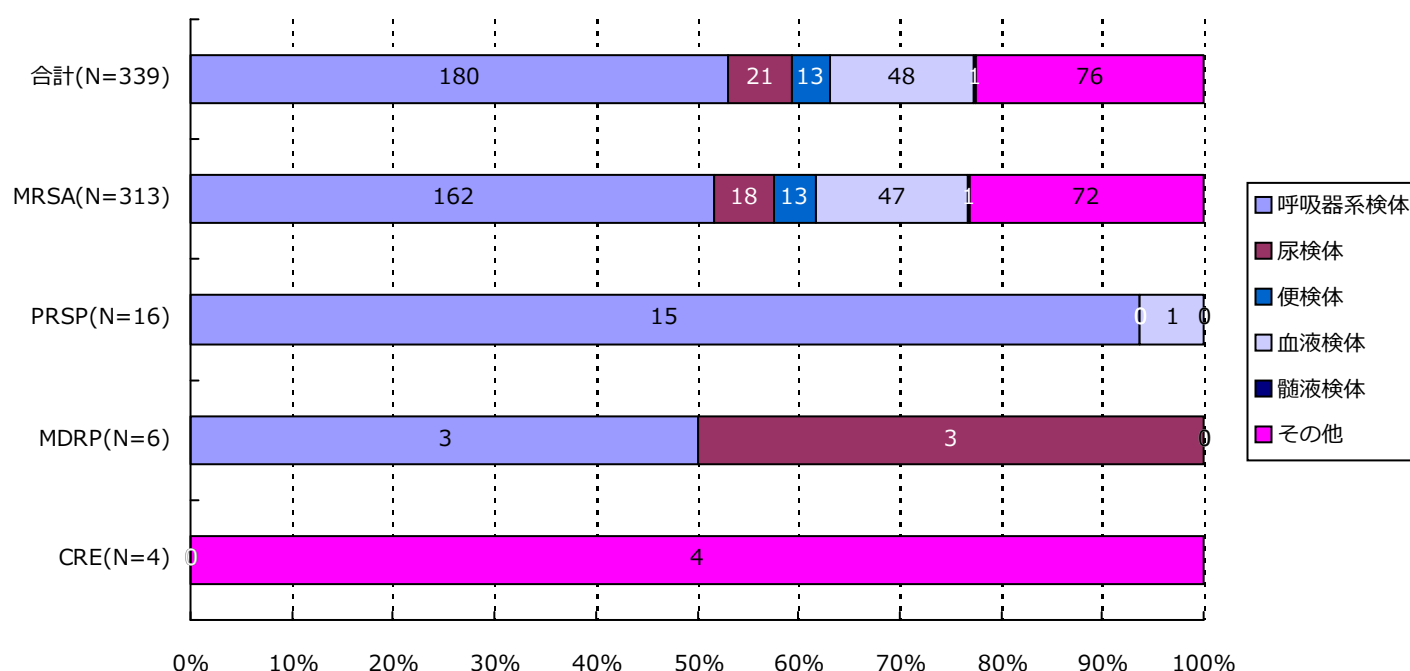
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	200 (59.0%)	184 (58.8%)	0 (-)	0 (-)	10 (62.5%)	4 (66.7%)	0 (-)	2 (50.0%)
女	139 (41.0%)	129 (41.2%)	0 (-)	0 (-)	6 (37.5%)	2 (33.3%)	0 (-)	2 (50.0%)
合計	339	313	0	0	16	6	0	4

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(1.8%)	6(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	7(2.1%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	5(31.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.9%)	3(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(1.5%)	5(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	9(2.7%)	8(2.6%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	12(3.5%)	9(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	2(50.0%)
60歳代	45(13.3%)	39(12.5%)	0(-)	0(-)	5(31.3%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
70歳代	75(22.1%)	69(22.0%)	0(-)	0(-)	3(18.8%)	1(16.7%)	0(-)	2(50.0%)
80歳代	126(37.2%)	122(39.0%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	3(50.0%)	0(-)	0(-)
90歳以上	50(14.7%)	49(15.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	339	313	0	0	16	6	0	4

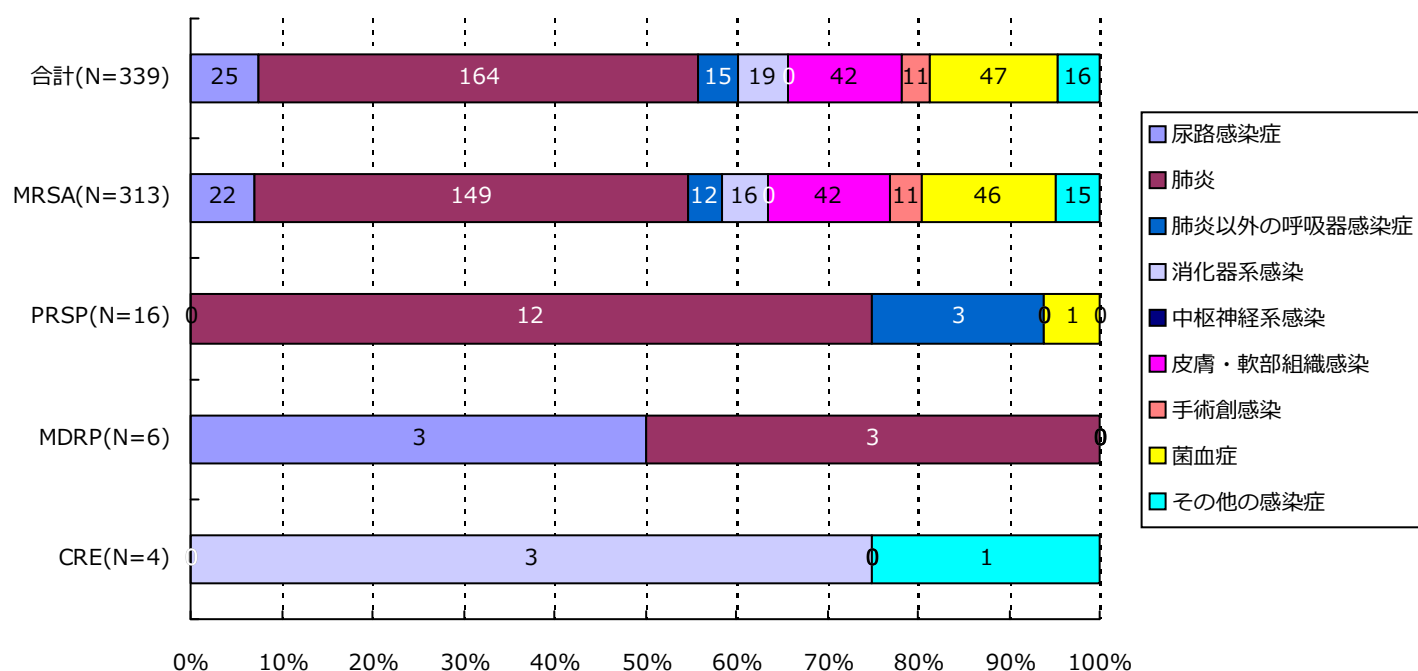
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	180(53.1%)	162(51.8%)	0(-)	0(-)	15(93.8%)	3(50.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	21(6.2%)	18(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	0(-)
便検体	13(3.8%)	13(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	48(14.2%)	47(15.0%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	76(22.4%)	72(23.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(100.0%)
合計	339	313	0	0	16	6	0	4

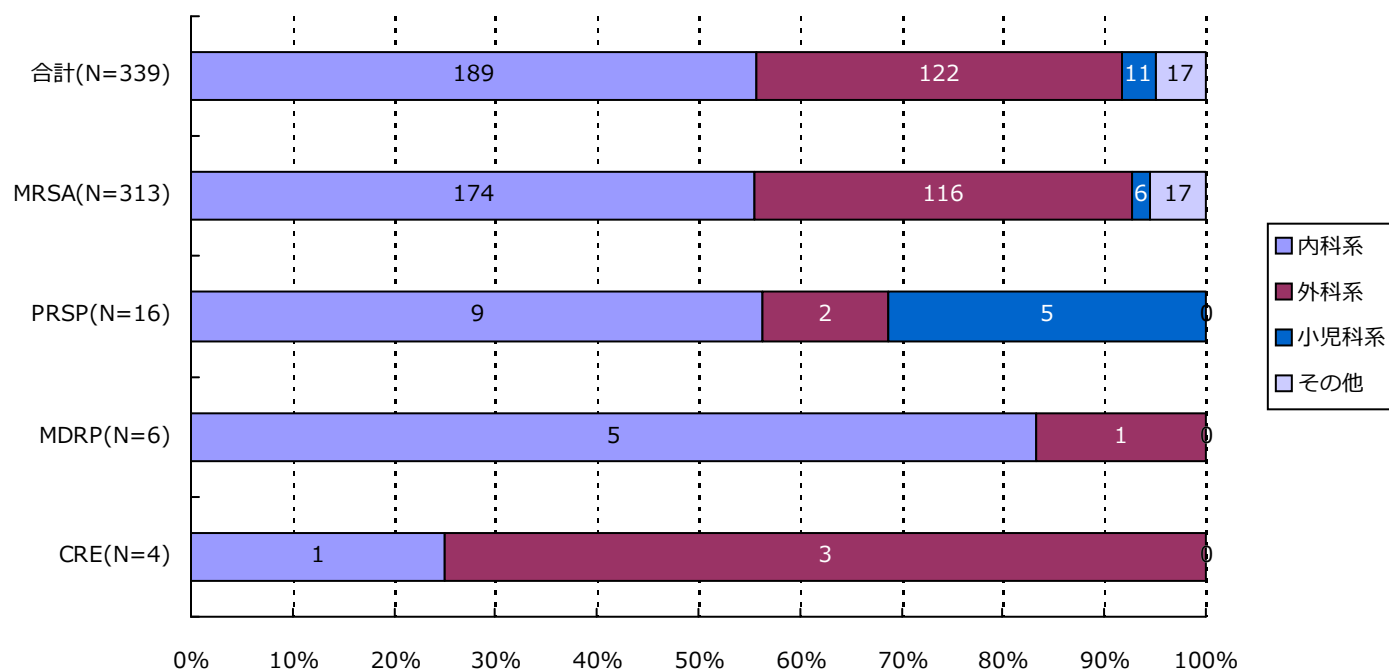
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	25(7.4%)	22(7.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	164(48.4%)	149(47.6%)	0(-)	0(-)	12(75.0%)	3(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	15(4.4%)	12(3.8%)	0(-)	0(-)	3(18.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(5.6%)	16(5.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	42(12.4%)	42(13.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	11(3.2%)	11(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	47(13.9%)	46(14.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	16(4.7%)	15(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	339	313	0	0	16	6	0	4

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	189(55.8%)	174(55.6%)	0(-)	0(-)	9(56.3%)	5(83.3%)	0(-)	1(25.0%)
外科系	122(36.0%)	116(37.1%)	0(-)	0(-)	2(12.5%)	1(16.7%)	0(-)	3(75.0%)
小児科系	11(3.2%)	6(1.9%)	0(-)	0(-)	5(31.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	17(5.0%)	17(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	339	313	0	0	16	6	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

• 資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
精神科		皮膚・泌尿器科		
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
			周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

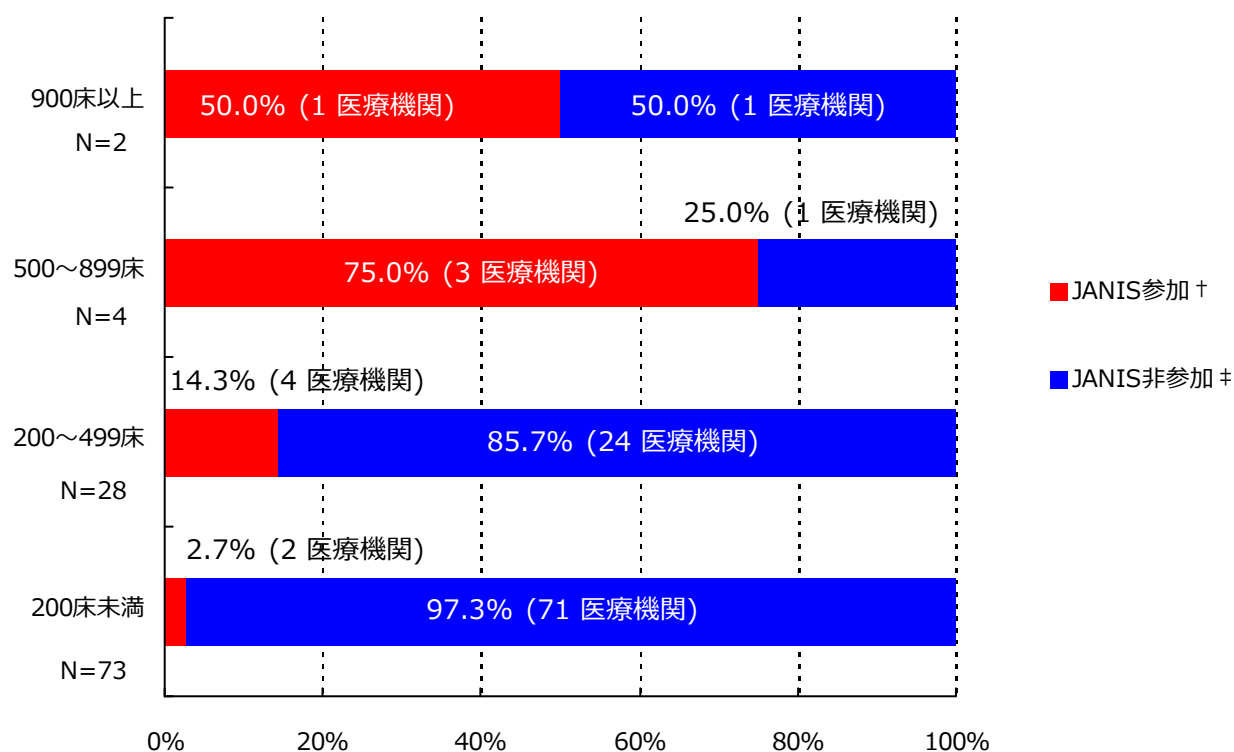
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	28	4 (14.3%)
200床未満	73	2 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	107	10 (9.3%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(栃木県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

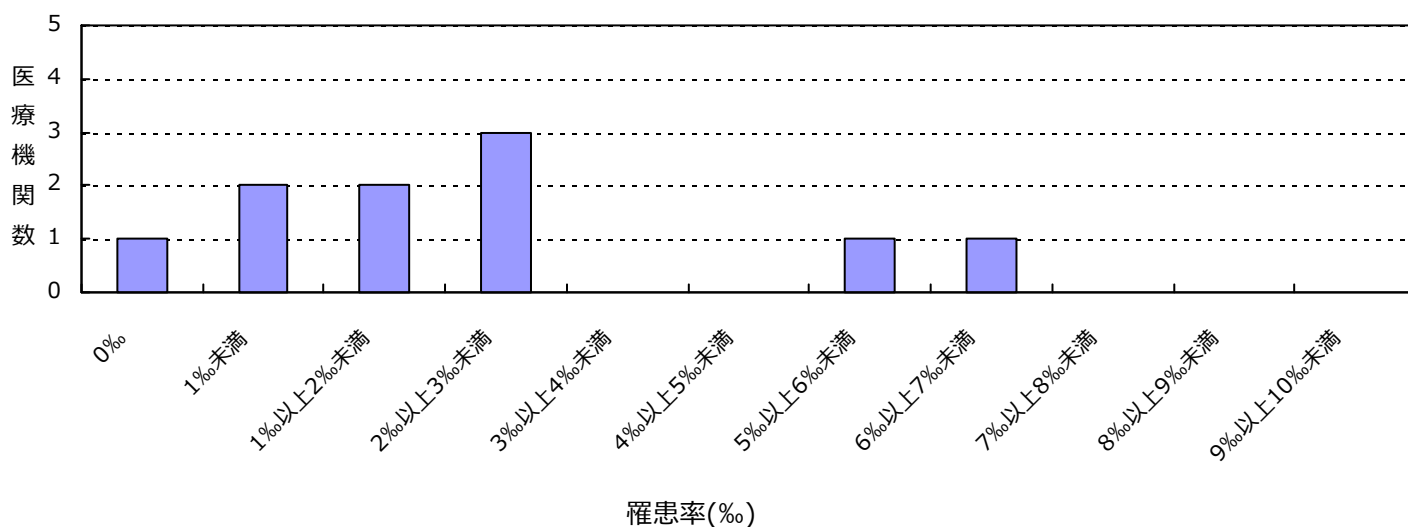


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	104,207	2	234	2.25%	0.00 2.00 6.95 -----

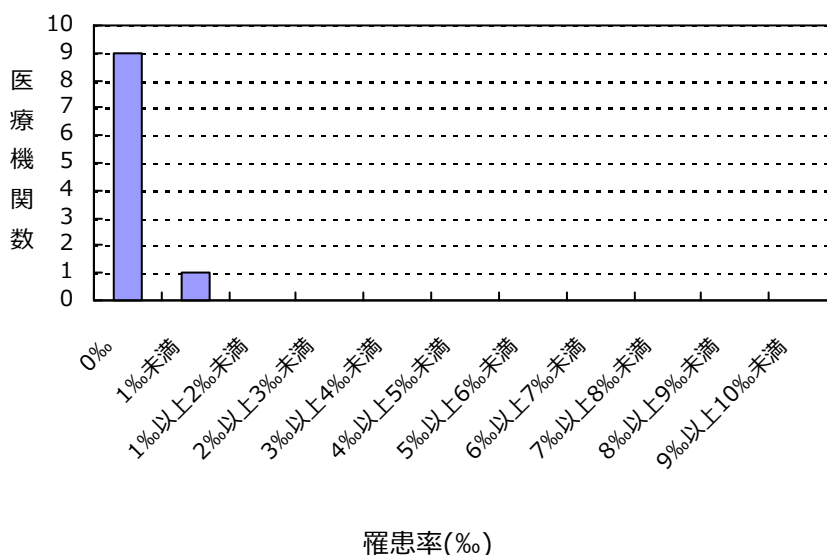
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	104,207	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.04 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(栃木県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

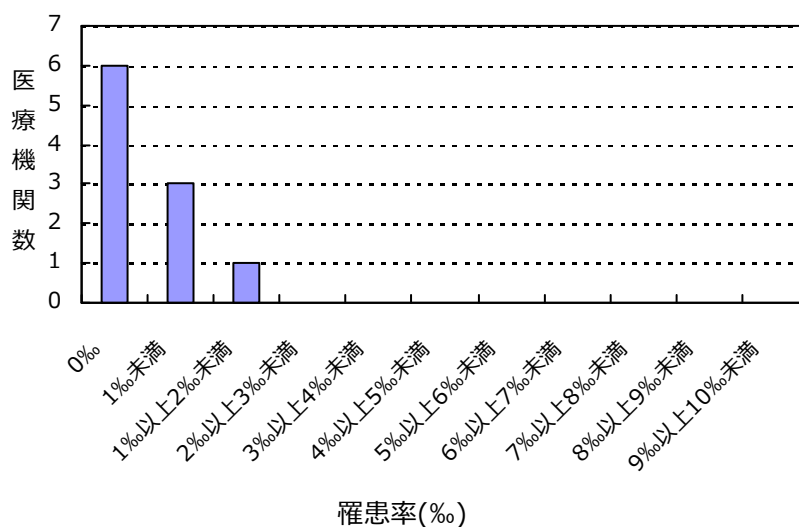


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	104,207	0	18	0.17‰	0.00 0.00 1.55

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(栃木県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

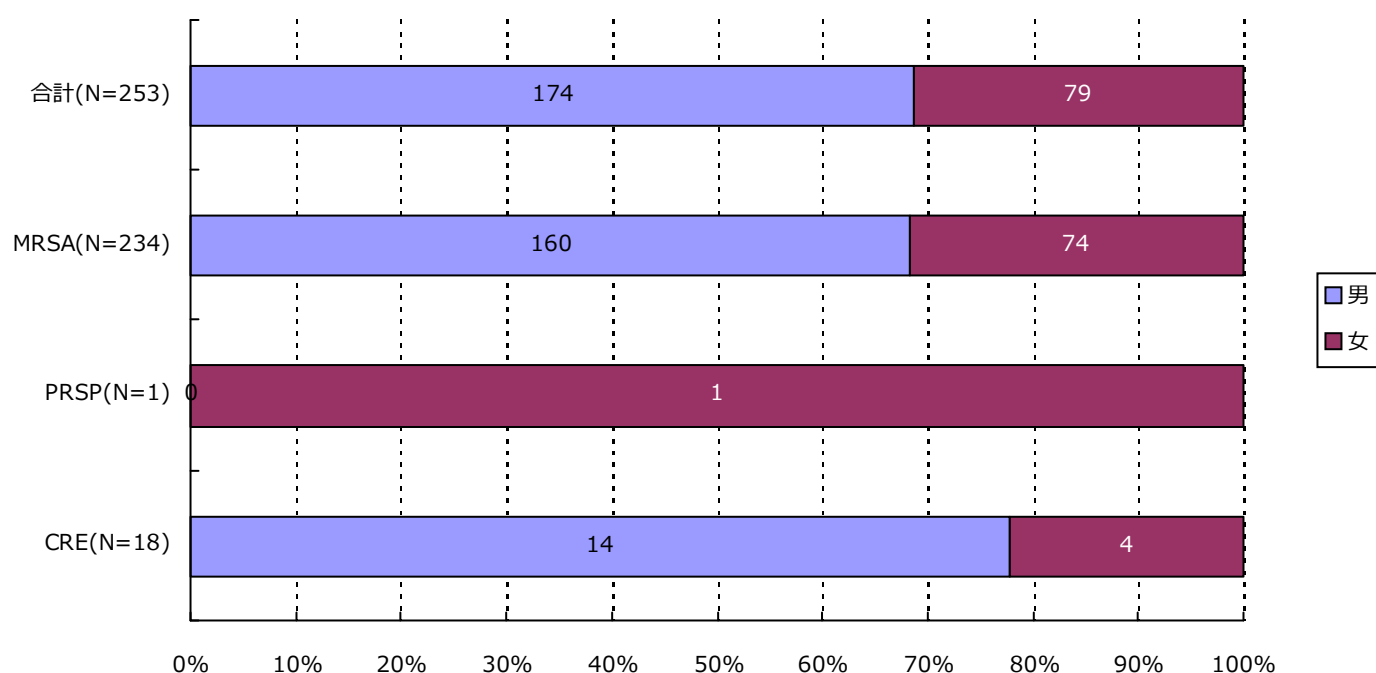
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

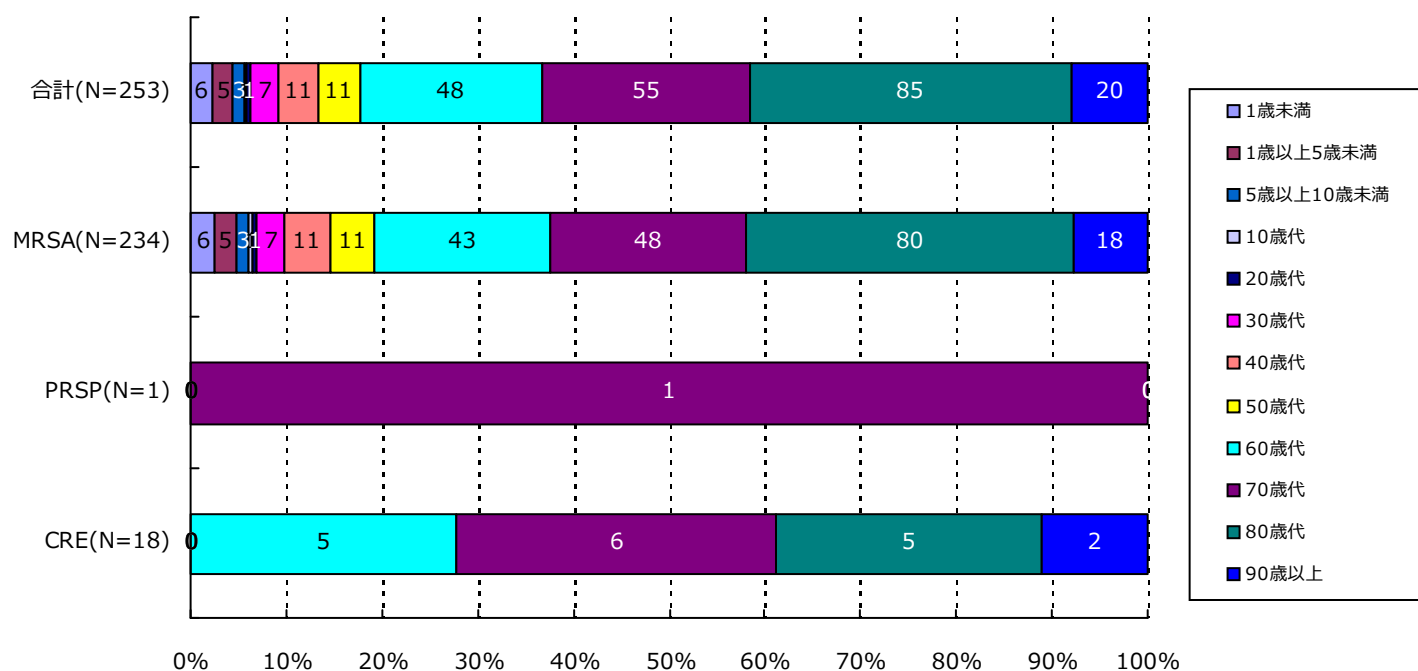
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



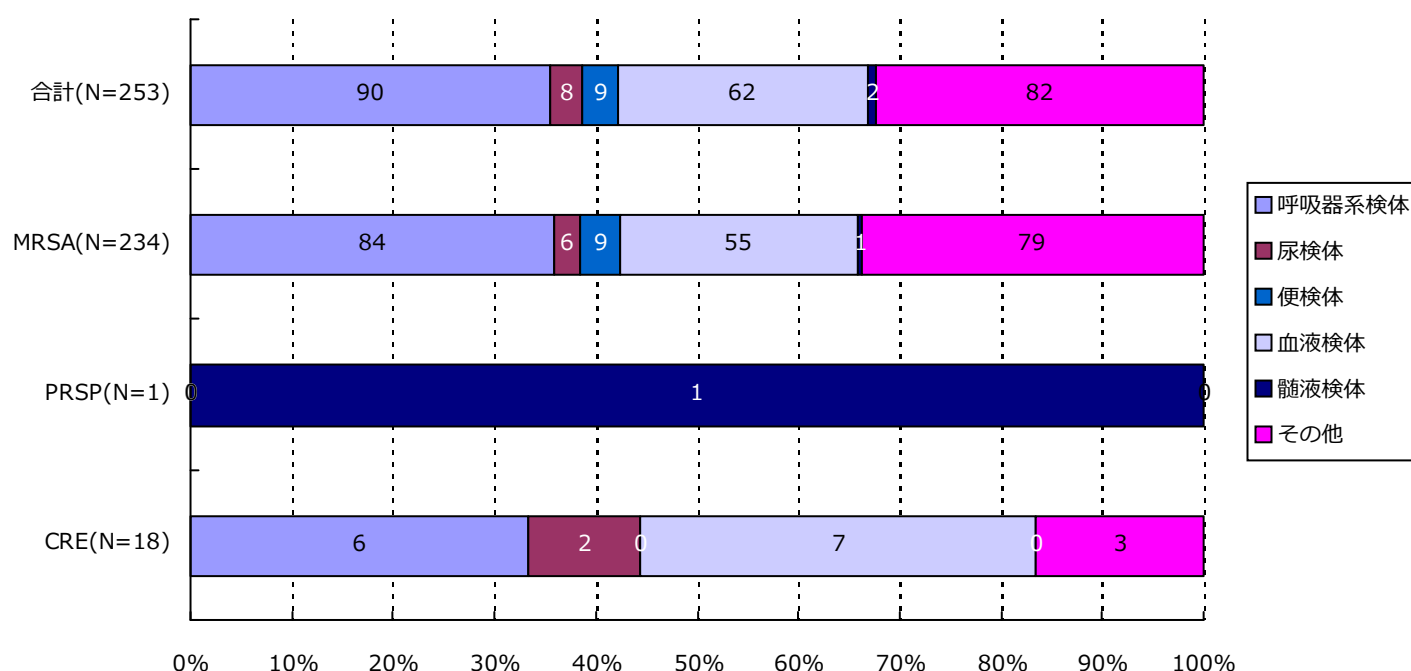
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	174 (68.8%)	160 (68.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	14 (77.8%)
女	79 (31.2%)	74 (31.6%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)	4 (22.2%)
合計	253	234	0	0	1	0	0	18

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(2.4%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(1.2%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	7(2.8%)	7(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(4.3%)	11(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	11(4.3%)	11(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	48(19.0%)	43(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(27.8%)
70歳代	55(21.7%)	48(20.5%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	6(33.3%)
80歳代	85(33.6%)	80(34.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(27.8%)
90歳以上	20(7.9%)	18(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(11.1%)
合計	253	234	0	0	1	0	0	18

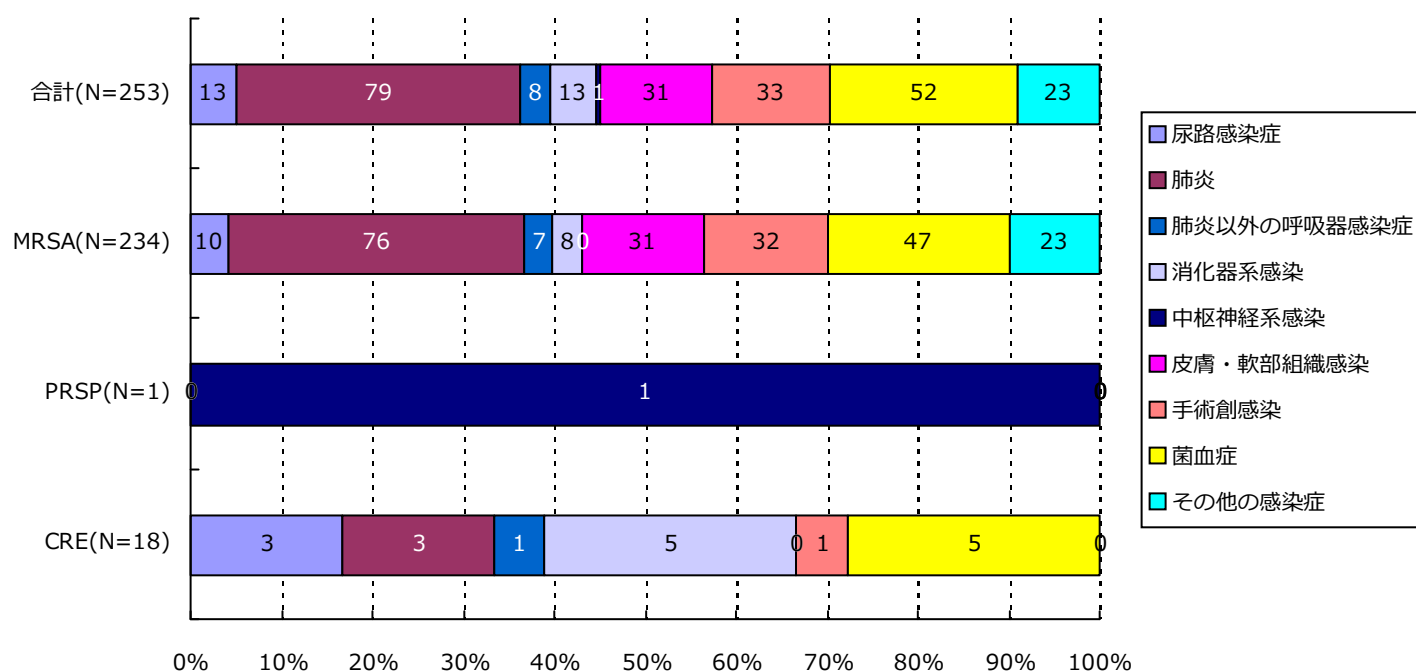
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	90(35.6%)	84(35.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(33.3%)
尿検体	8(3.2%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(11.1%)
便検体	9(3.6%)	9(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	62(24.5%)	55(23.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(38.9%)
髄液検体	2(0.8%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	82(32.4%)	79(33.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(16.7%)
合計	253	234	0	0	1	0	0	18

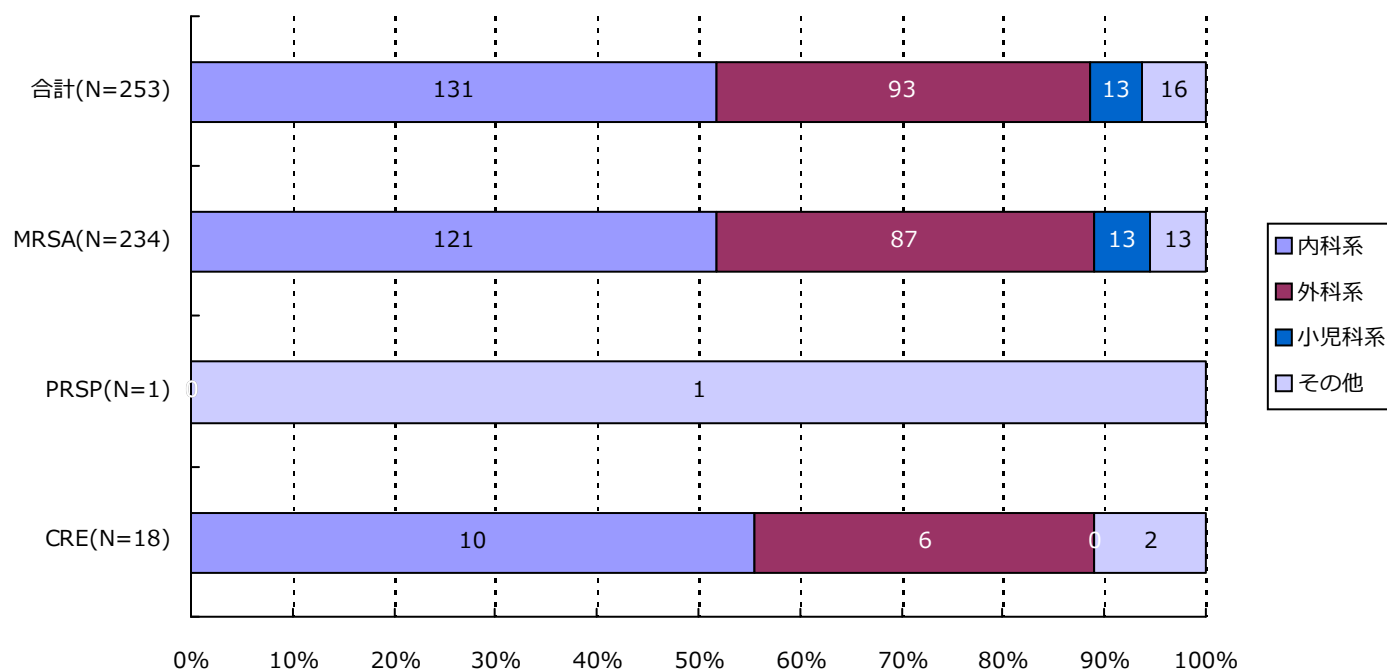
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	13(5.1%)	10(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(16.7%)
肺炎	79(31.2%)	76(32.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(16.7%)
肺炎以外	8(3.2%)	7(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.6%)
消化器系	13(5.1%)	8(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(27.8%)
中枢神経系	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	31(12.3%)	31(13.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	33(13.0%)	32(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.6%)
菌血症	52(20.6%)	47(20.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(27.8%)
その他	23(9.1%)	23(9.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	253	234	0	0	1	0	0	18

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	131(51.8%)	121(51.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	10(55.6%)
外科系	93(36.8%)	87(37.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(33.3%)
小児科系	13(5.1%)	13(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	16(6.3%)	13(5.6%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	2(11.1%)
合計	253	234	0	0	1	0	0	18

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

• 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

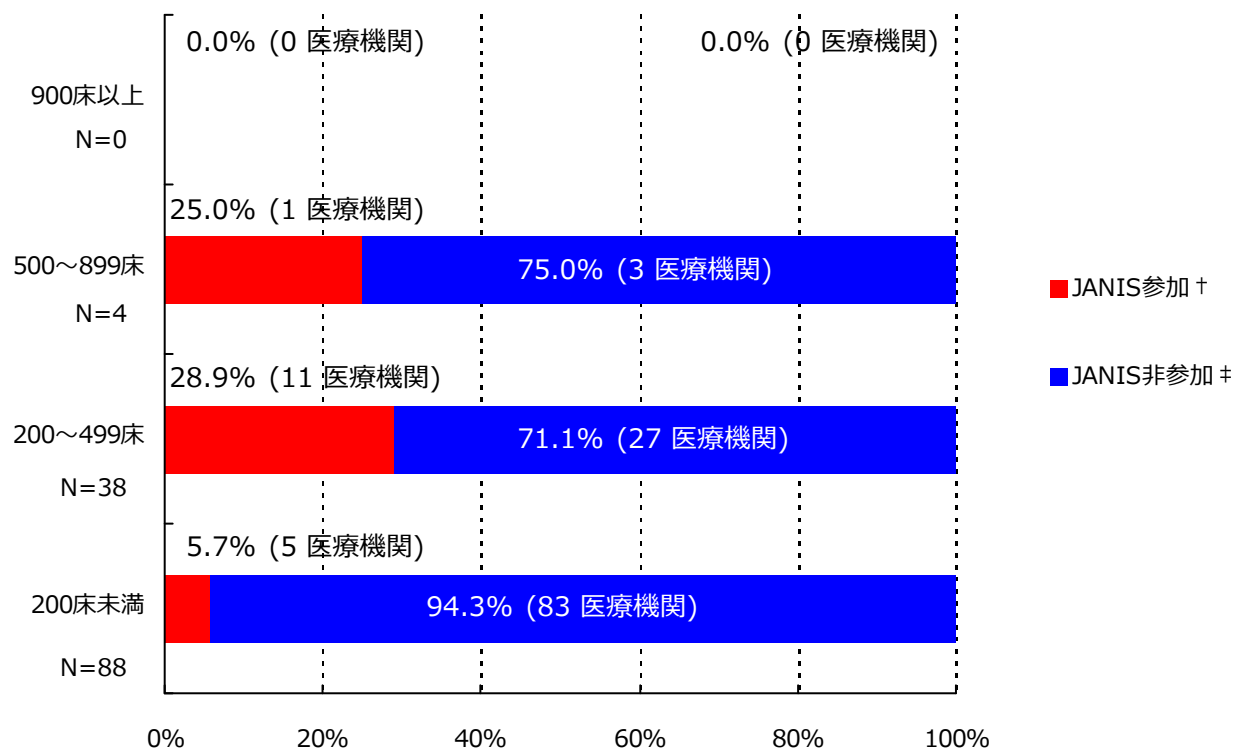
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(17医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	38	11 (28.9%)
200床未満	88	5 (5.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	130	17 (13.1%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(群馬県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

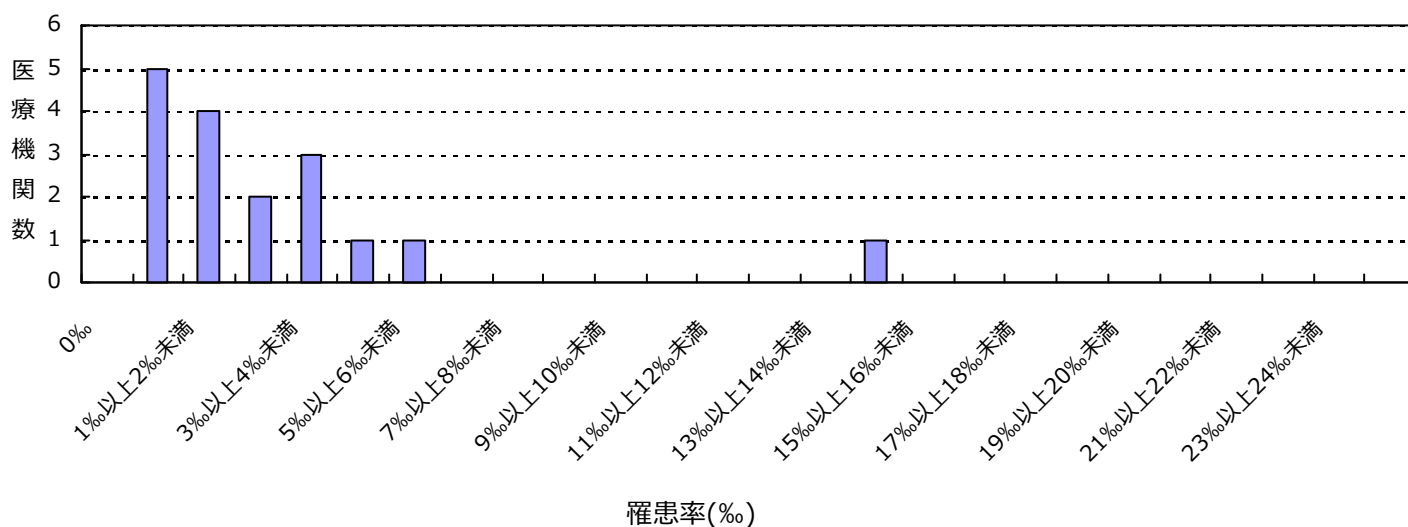


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	113,996	3	227	1.99%	0.34 1.78 14.81

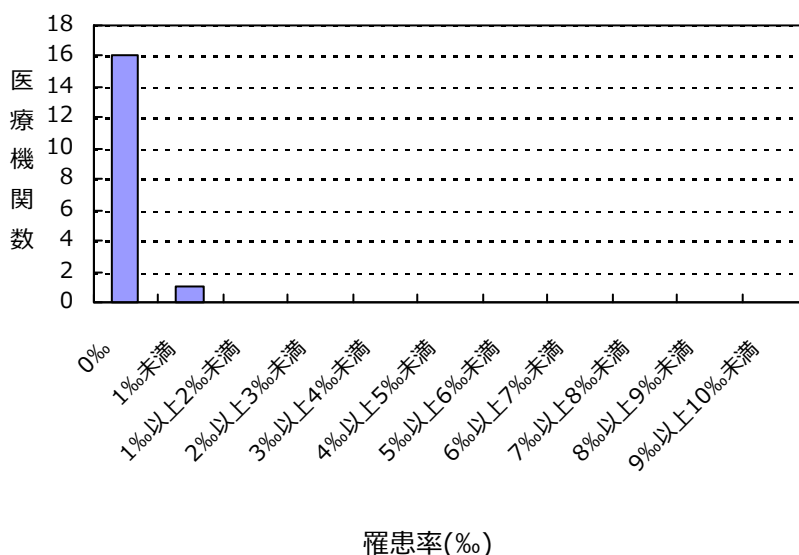
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	113,996	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.33

集計対象医療機関の罹患率(N=17)



(群馬県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

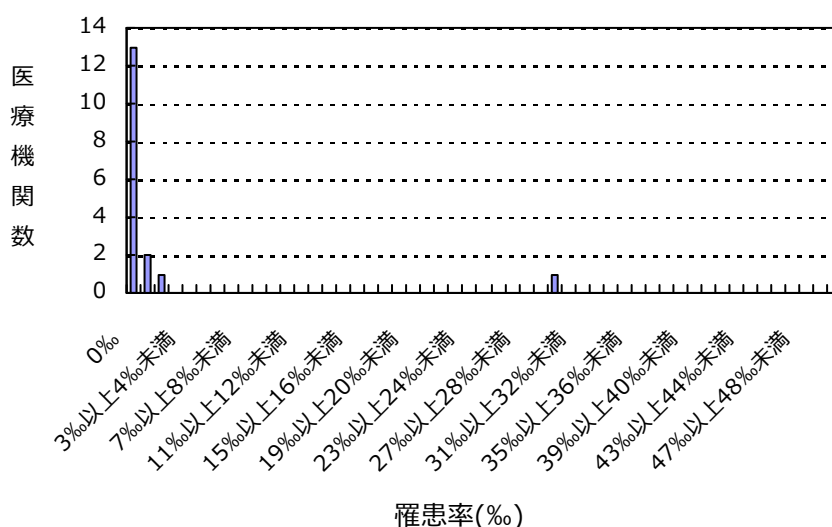


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	113,996	0	15	0.13%	0.00 0.00 29.63 H

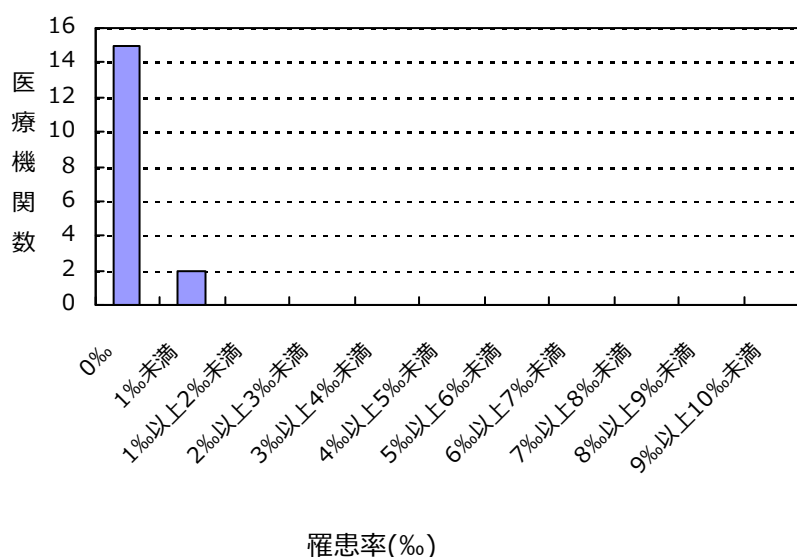
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	113,996	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.50

集計対象医療機関の罹患率(N=17)



(群馬県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

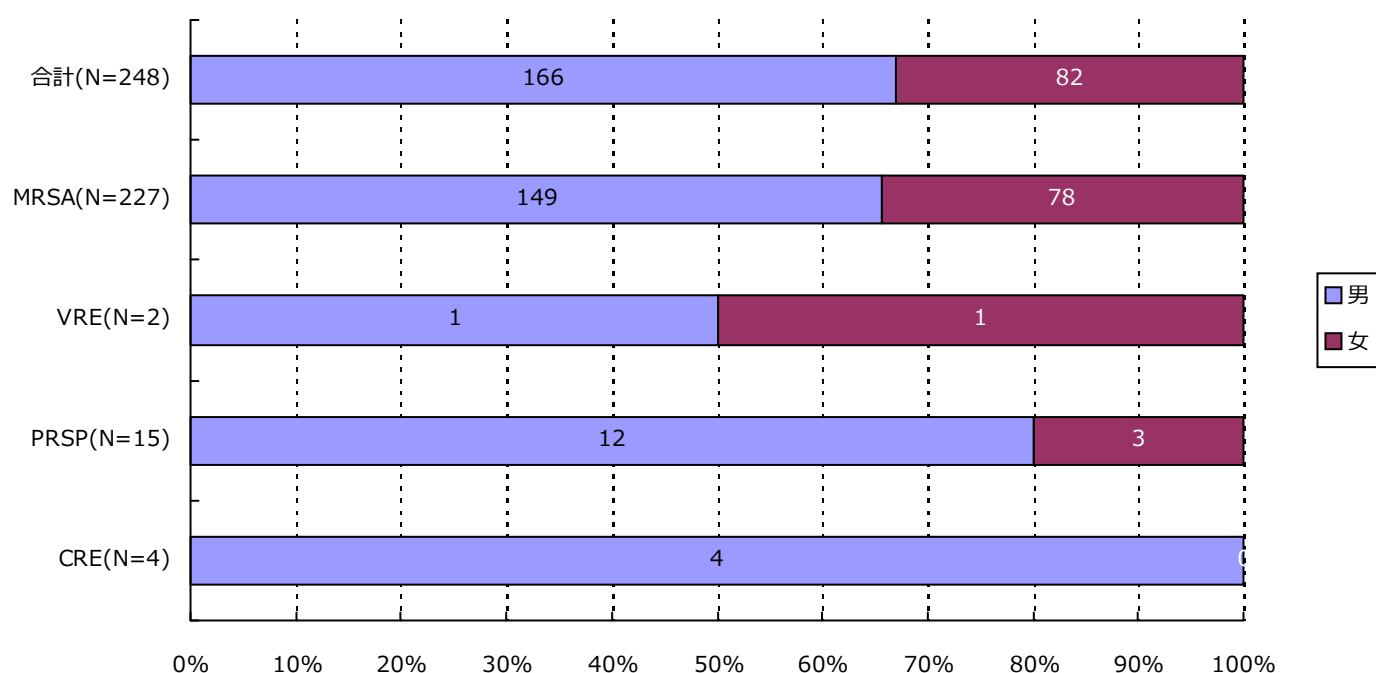
(群馬県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

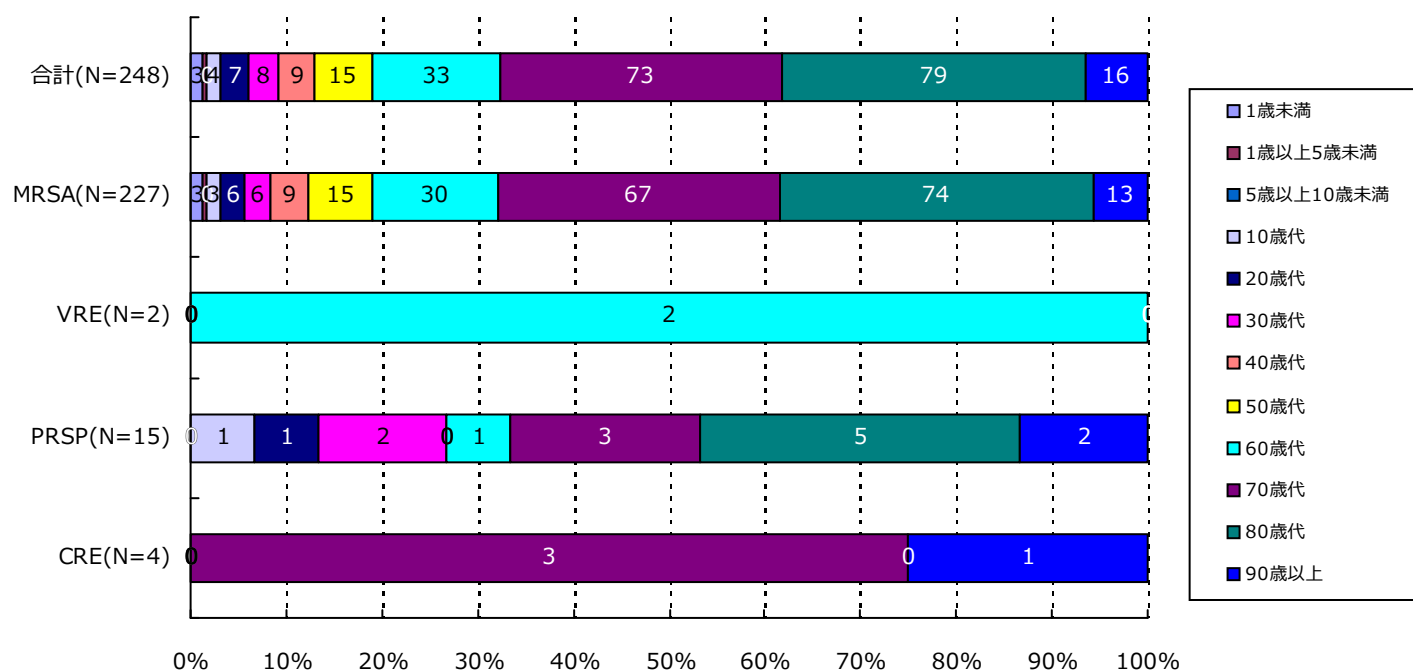


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



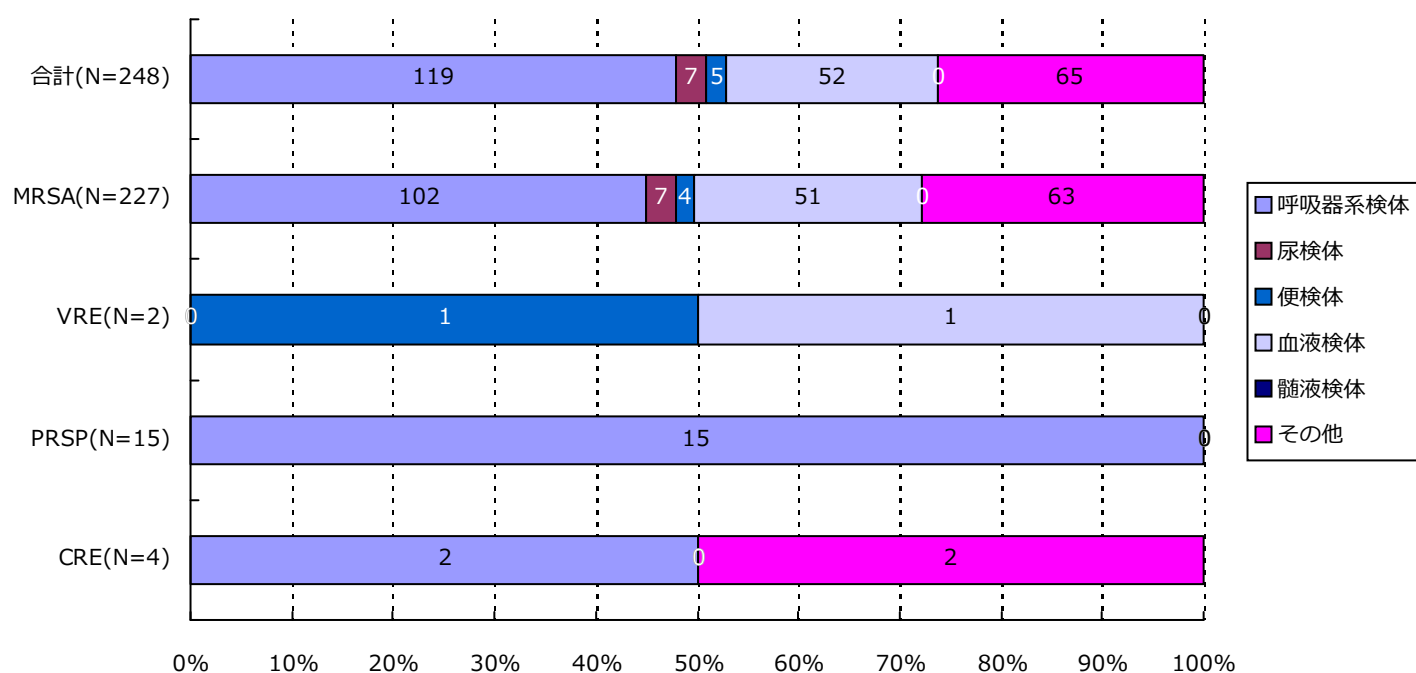
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	166 (66.9%)	149 (65.6%)	0 (-)	1 (50.0%)	12 (80.0%)	0 (-)	0 (-)	4 (100.0%)
女	82 (33.1%)	78 (34.4%)	0 (-)	1 (50.0%)	3 (20.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	248	227	0	2	15	0	0	4

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(1.2%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(1.6%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	7(2.8%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	8(3.2%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	9(3.6%)	9(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	15(6.0%)	15(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	33(13.3%)	30(13.2%)	0(-)	2(100.0%)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	73(29.4%)	67(29.5%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
80歳代	79(31.9%)	74(32.6%)	0(-)	0(-)	5(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	16(6.5%)	13(5.7%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	248	227	0	2	15	0	0	4

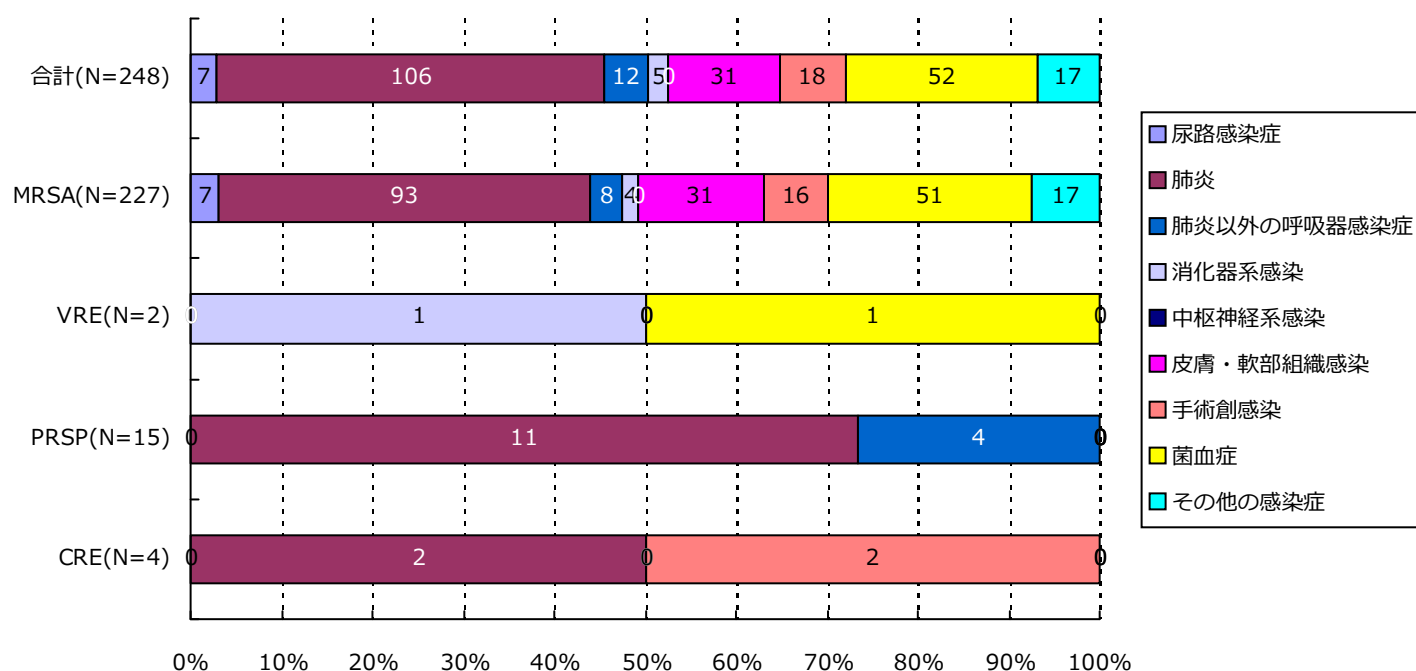
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	119(48.0%)	102(44.9%)	0(-)	0(-)	15(100.0%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
尿検体	7(2.8%)	7(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	5(2.0%)	4(1.8%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	52(21.0%)	51(22.5%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	65(26.2%)	63(27.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
合計	248	227	0	2	15	0	0	4

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	7(2.8%)	7(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	106(42.7%)	93(41.0%)	0(-)	0(-)	11(73.3%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
肺炎以外	12(4.8%)	8(3.5%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.0%)	4(1.8%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	31(12.5%)	31(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	18(7.3%)	16(7.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
菌血症	52(21.0%)	51(22.5%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	17(6.9%)	17(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	248	227	0	2	15	0	0	4

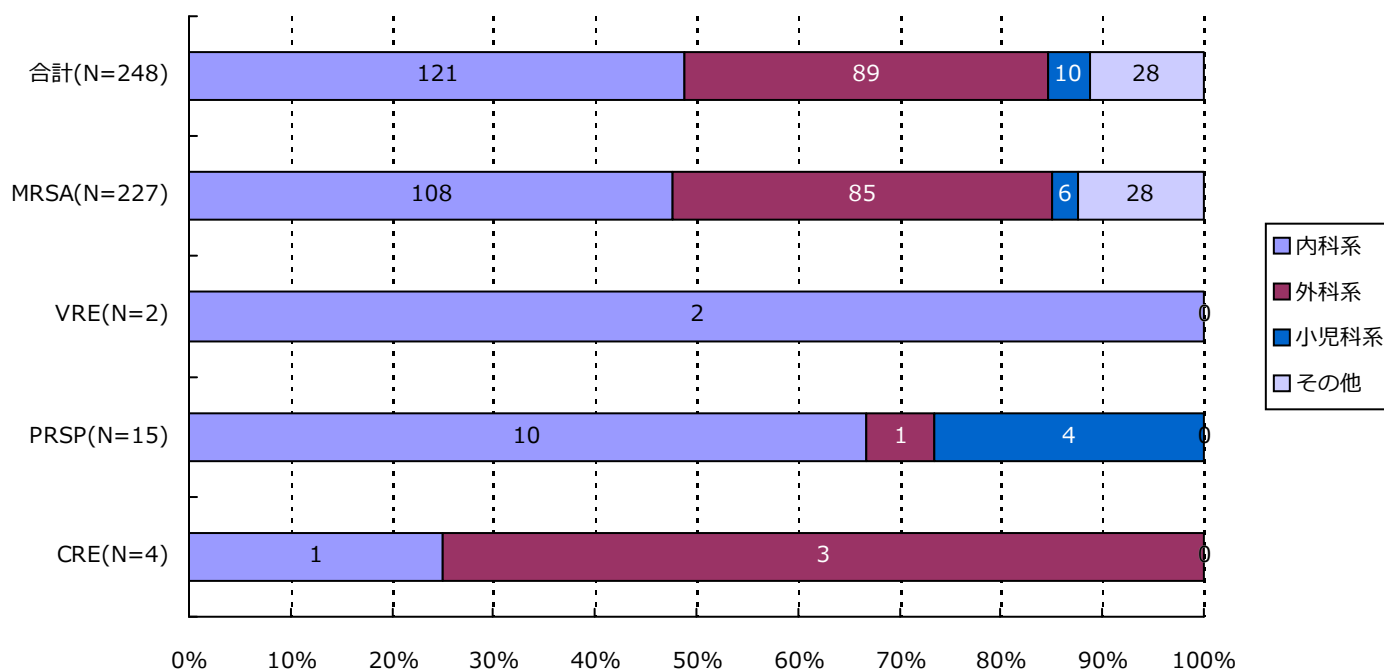
(群馬県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	121(48.8%)	108(47.6%)	0(-)	2(100.0%)	10(66.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
外科系	89(35.9%)	85(37.4%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
小児科系	10(4.0%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	28(11.3%)	28(12.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	248	227	0	2	15	0	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆膵外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

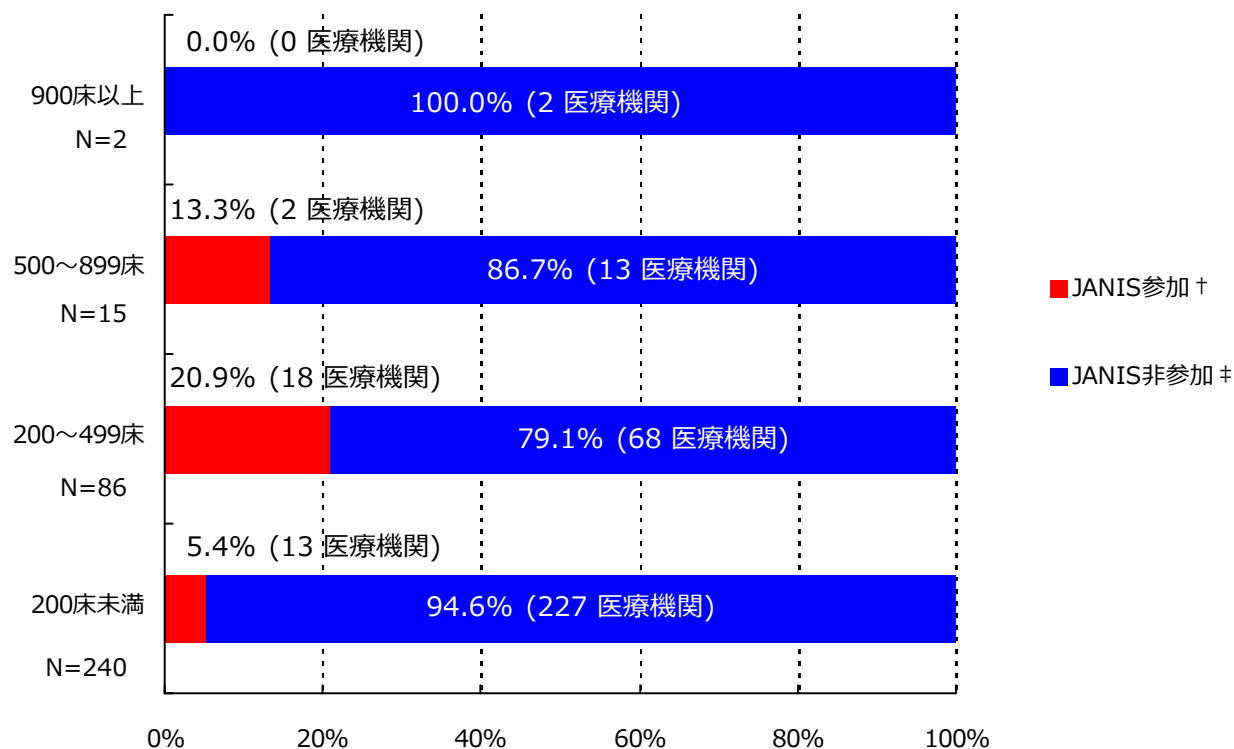
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(33医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0%)
500～899床	15	2 (13.3%)
200～499床	86	18 (20.9%)
200床未満	240	13 (5.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	343	33 (9.6%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(埼玉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

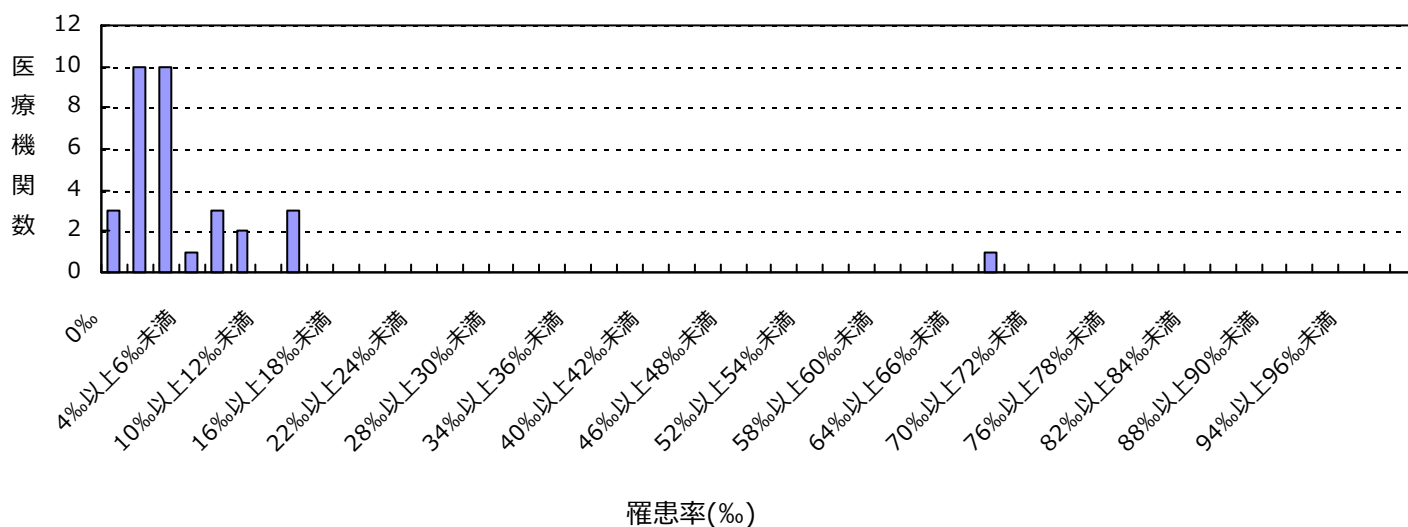


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	161,507	12	521	3.23%	0.00 2.71 66.67

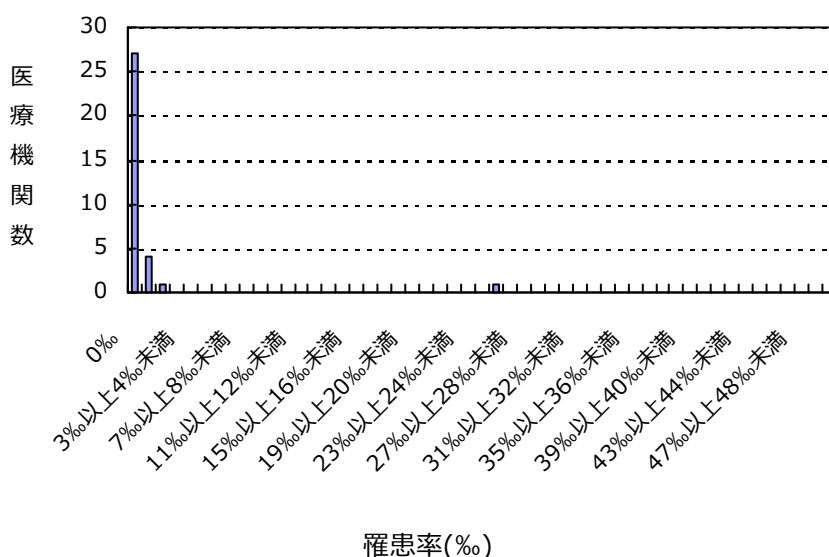
集計対象医療機関の罹患率(N=33)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	161,507	0	36	0.22%	0.00 0.00 25.51

集計対象医療機関の罹患率(N=33)



(埼玉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

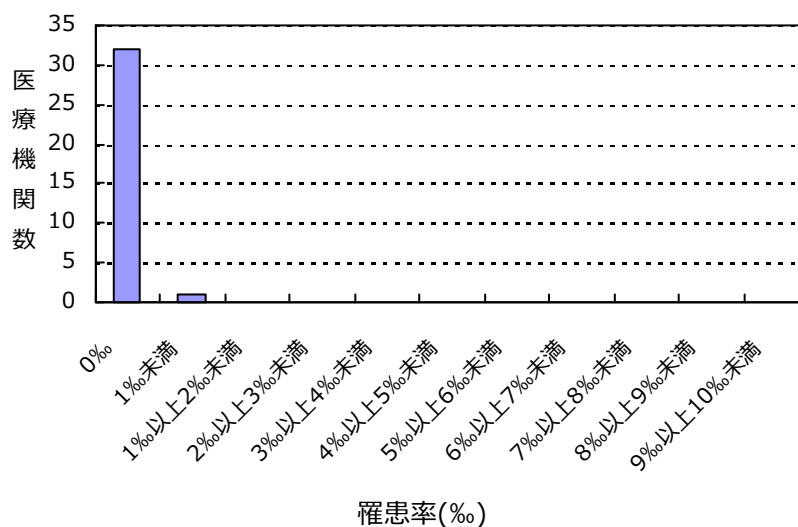


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	161,507	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08

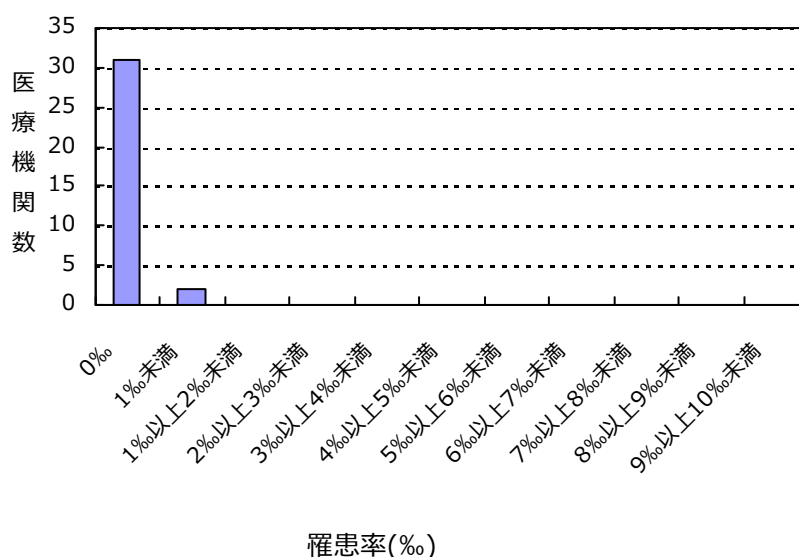
集計対象医療機関の罹患率(N=33)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	161,507	0	7	0.04%	0.00 0.00 0.59

集計対象医療機関の罹患率(N=33)



(埼玉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

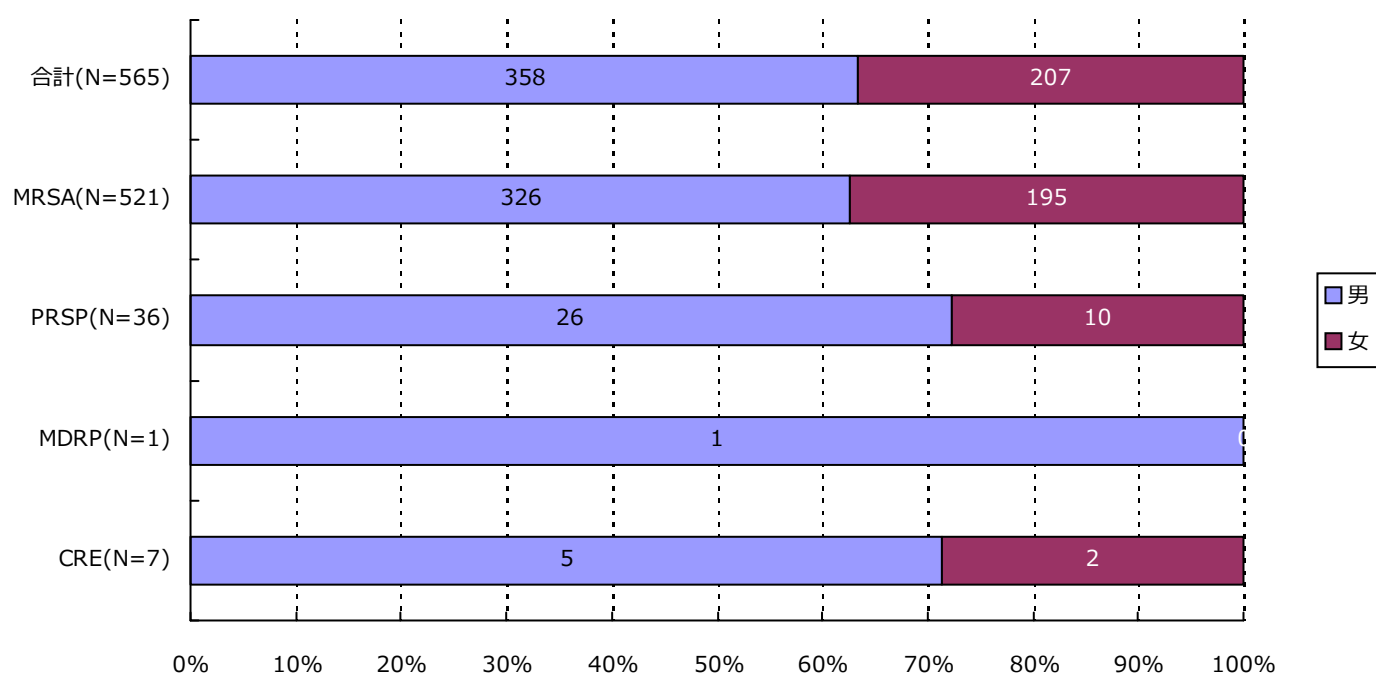
(埼玉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	358 (63.4%)	326 (62.6%)	0 (-)	0 (-)	26 (72.2%)	1 (100.0%)	0 (-)	5 (71.4%)
女	207 (36.6%)	195 (37.4%)	0 (-)	0 (-)	10 (27.8%)	0 (-)	0 (-)	2 (28.6%)
合計	565	521	0	0	36	1	0	7

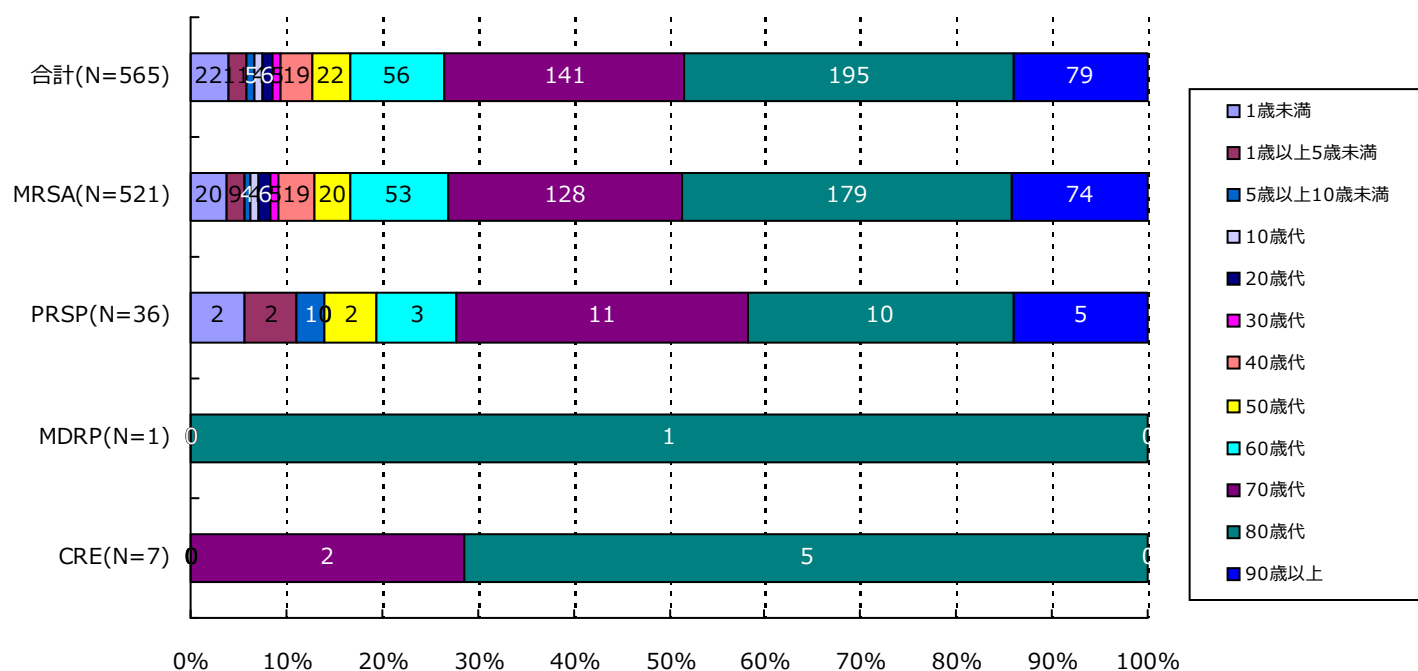
(埼玉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

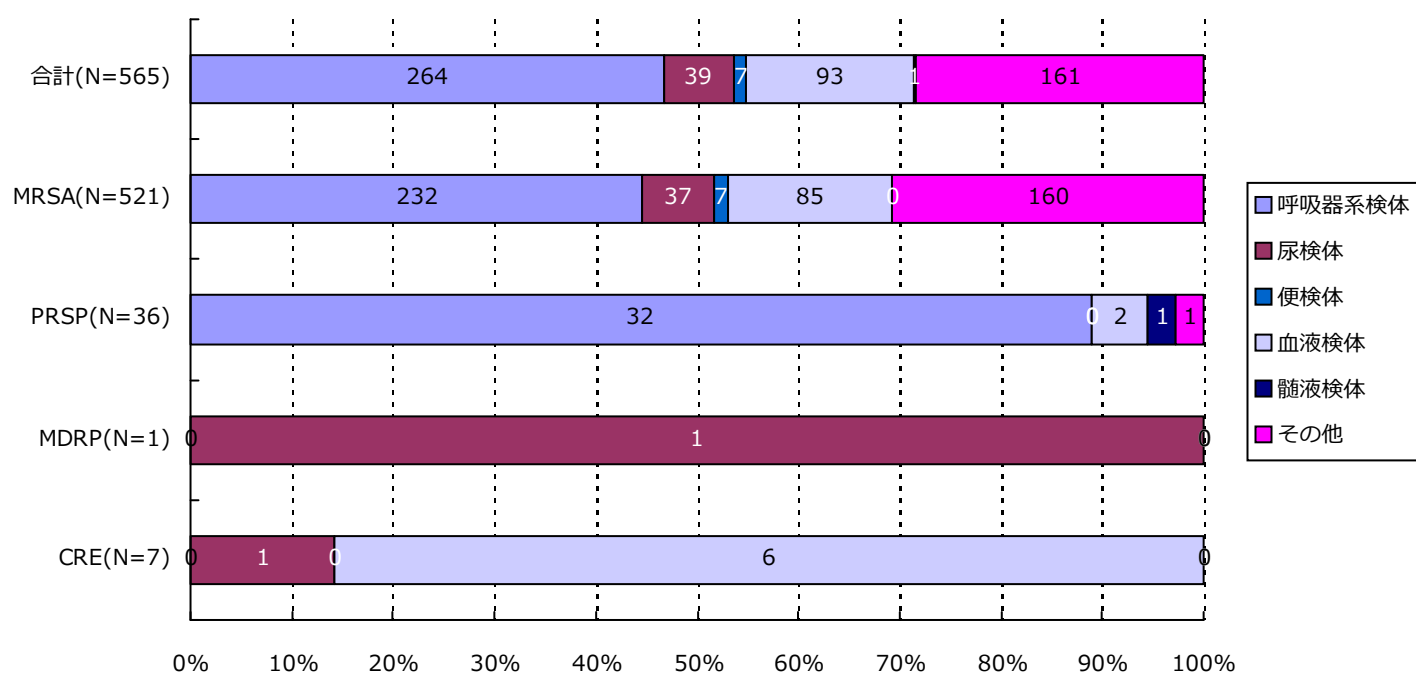


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	22(3.9%)	20(3.8%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	11(1.9%)	9(1.7%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	5(0.9%)	4(0.8%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(0.7%)	4(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	6(1.1%)	6(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(0.9%)	5(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	19(3.4%)	19(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	22(3.9%)	20(3.8%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	56(9.9%)	53(10.2%)	0(-)	0(-)	3(8.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	141(25.0%)	128(24.6%)	0(-)	0(-)	11(30.6%)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
80歳代	195(34.5%)	179(34.4%)	0(-)	0(-)	10(27.8%)	1(100.0%)	0(-)	5(71.4%)
90歳以上	79(14.0%)	74(14.2%)	0(-)	0(-)	5(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	565	521	0	0	36	1	0	7

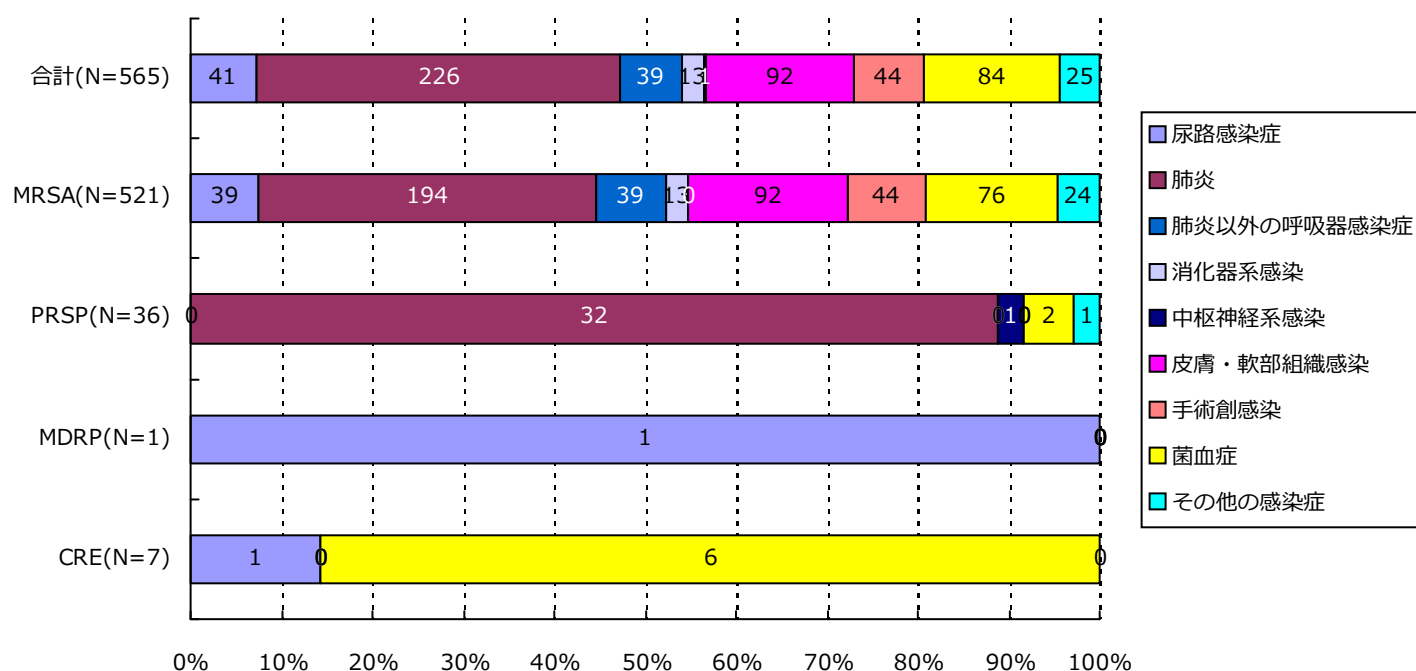
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	264(46.7%)	232(44.5%)	0(-)	0(-)	32(88.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	39(6.9%)	37(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(14.3%)
便検体	7(1.2%)	7(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	93(16.5%)	85(16.3%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	6(85.7%)
髄液検体	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	161(28.5%)	160(30.7%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	565	521	0	0	36	1	0	7

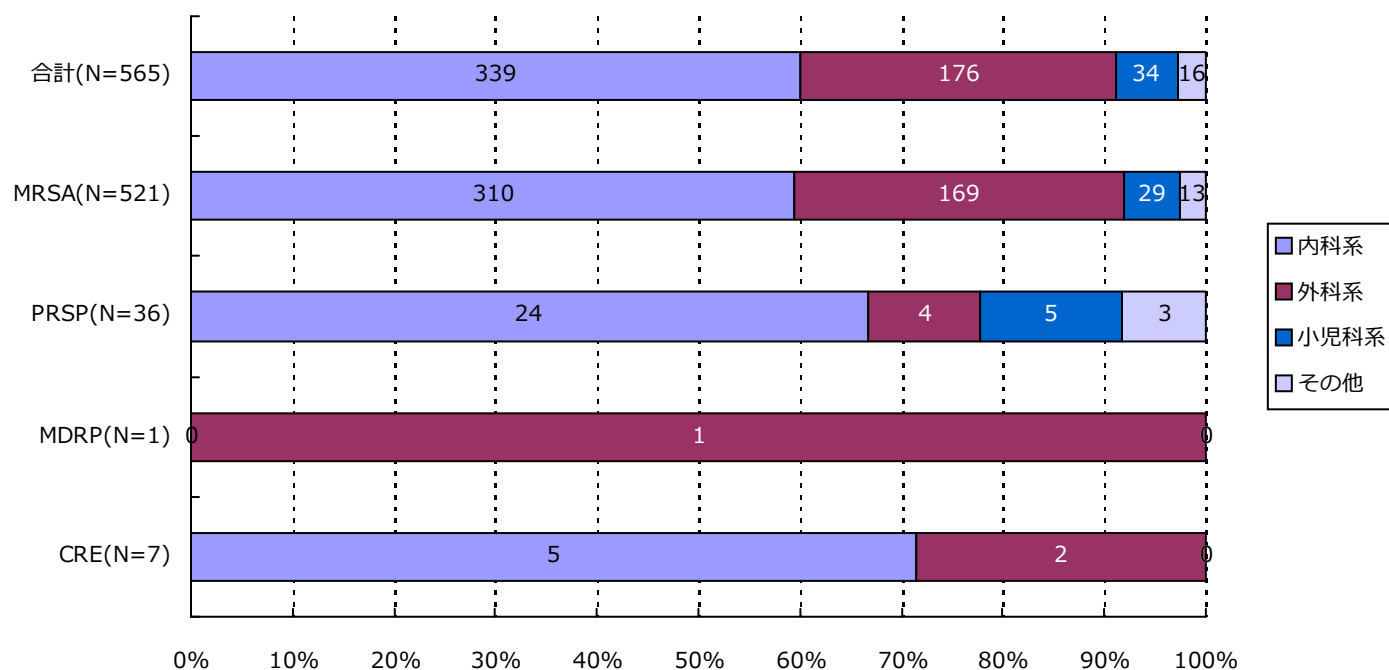
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	41(7.3%)	39(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(14.3%)
肺炎	226(40.0%)	194(37.2%)	0(-)	0(-)	32(88.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	39(6.9%)	39(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	13(2.3%)	13(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	92(16.3%)	92(17.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	44(7.8%)	44(8.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	84(14.9%)	76(14.6%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	6(85.7%)
その他	25(4.4%)	24(4.6%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	565	521	0	0	36	1	0	7

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	339(60.0%)	310(59.5%)	0(-)	0(-)	24(66.7%)	0(-)	0(-)	5(71.4%)
外科系	176(31.2%)	169(32.4%)	0(-)	0(-)	4(11.1%)	1(100.0%)	0(-)	2(28.6%)
小児科系	34(6.0%)	29(5.6%)	0(-)	0(-)	5(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	16(2.8%)	13(2.5%)	0(-)	0(-)	3(8.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	565	521	0	0	36	1	0	7

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
小児科系	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター
内科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

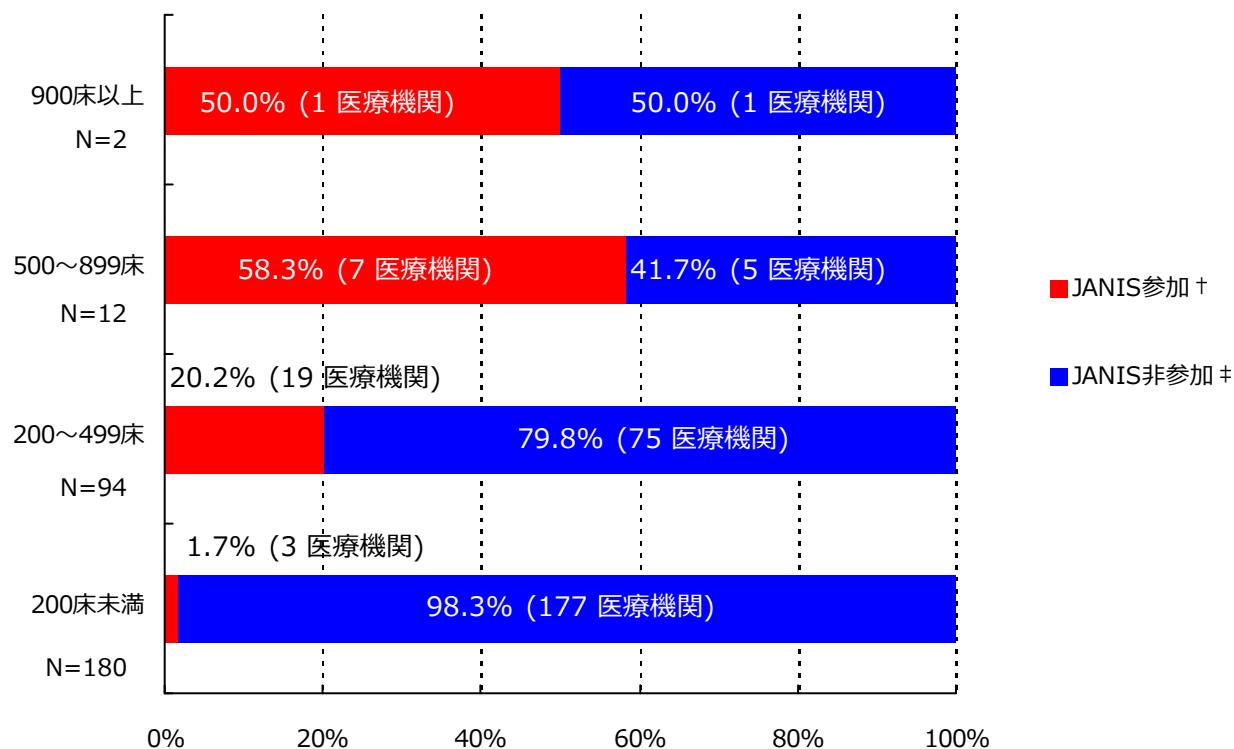
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(30医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	12	7 (58.3%)
200～499床	94	19 (20.2%)
200床未満	180	3 (1.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	288	30 (10.4%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(千葉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

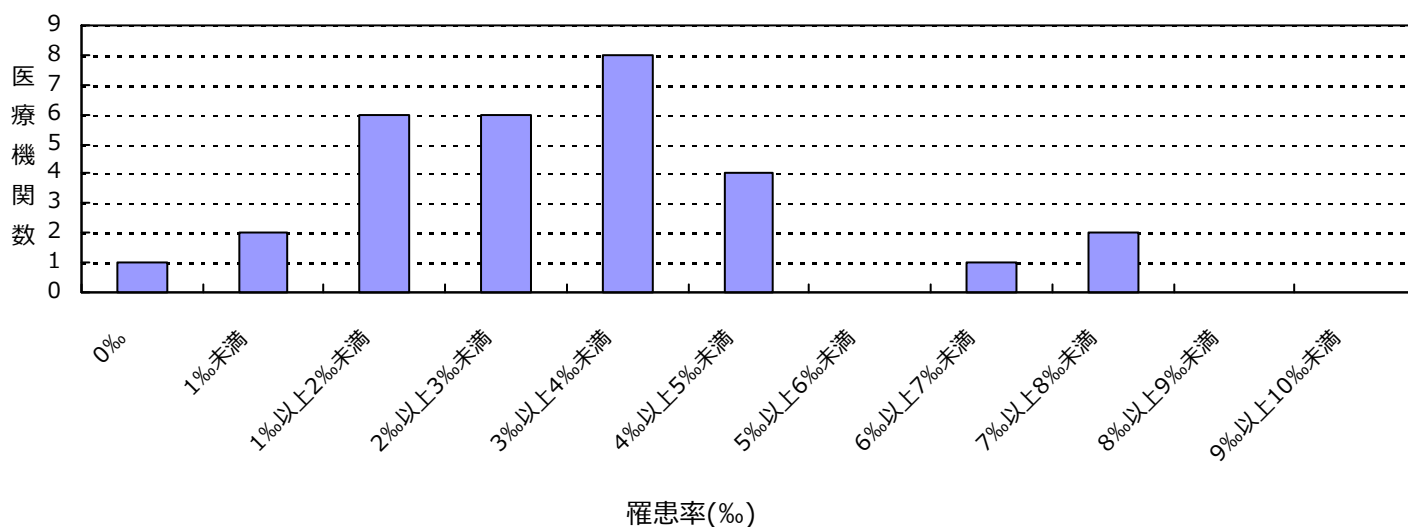


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	243,372	20	683	2.81%	0.00 3.09 7.72

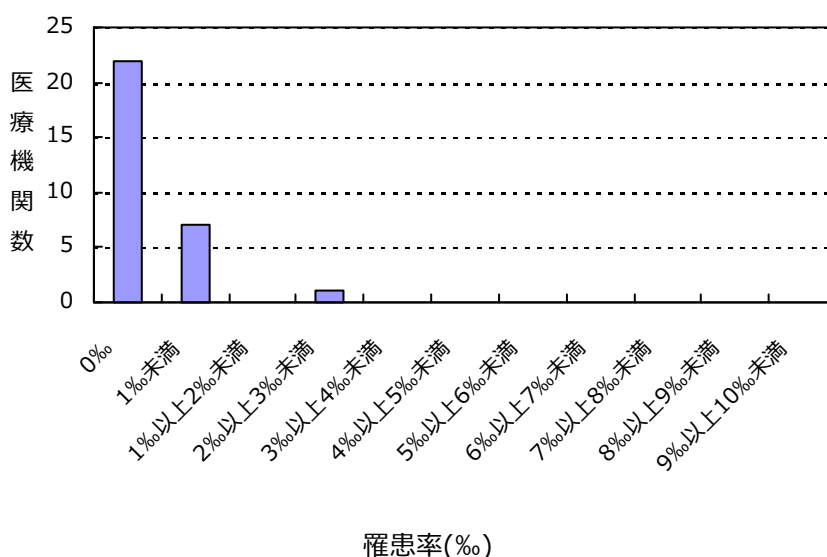
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	243,372	0	49	0.20%	0.00 0.00 2.19

集計対象医療機関の罹患率(N=30)



(千葉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

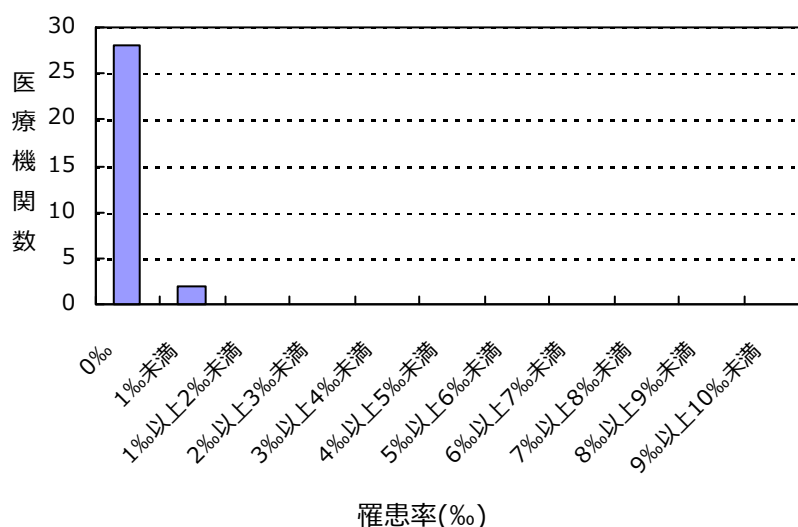


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	243,372	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.32

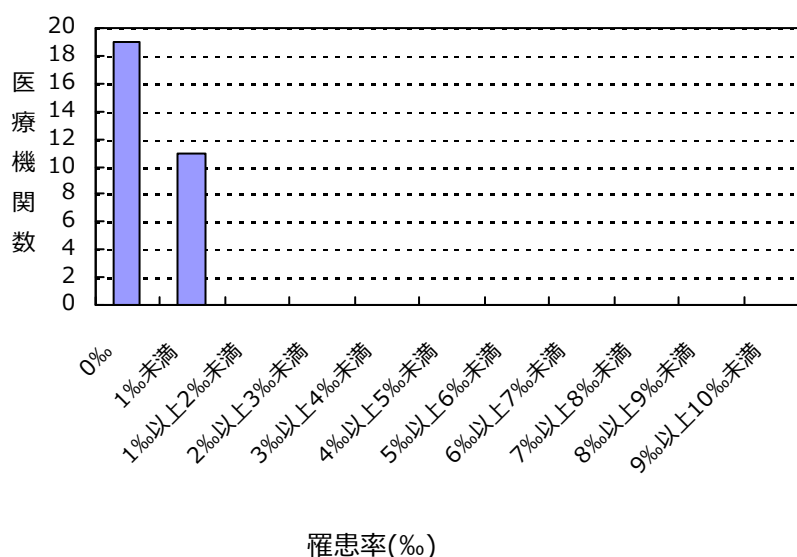
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	243,372	0	24	0.10%	0.00 0.00 0.96

集計対象医療機関の罹患率(N=30)



(千葉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

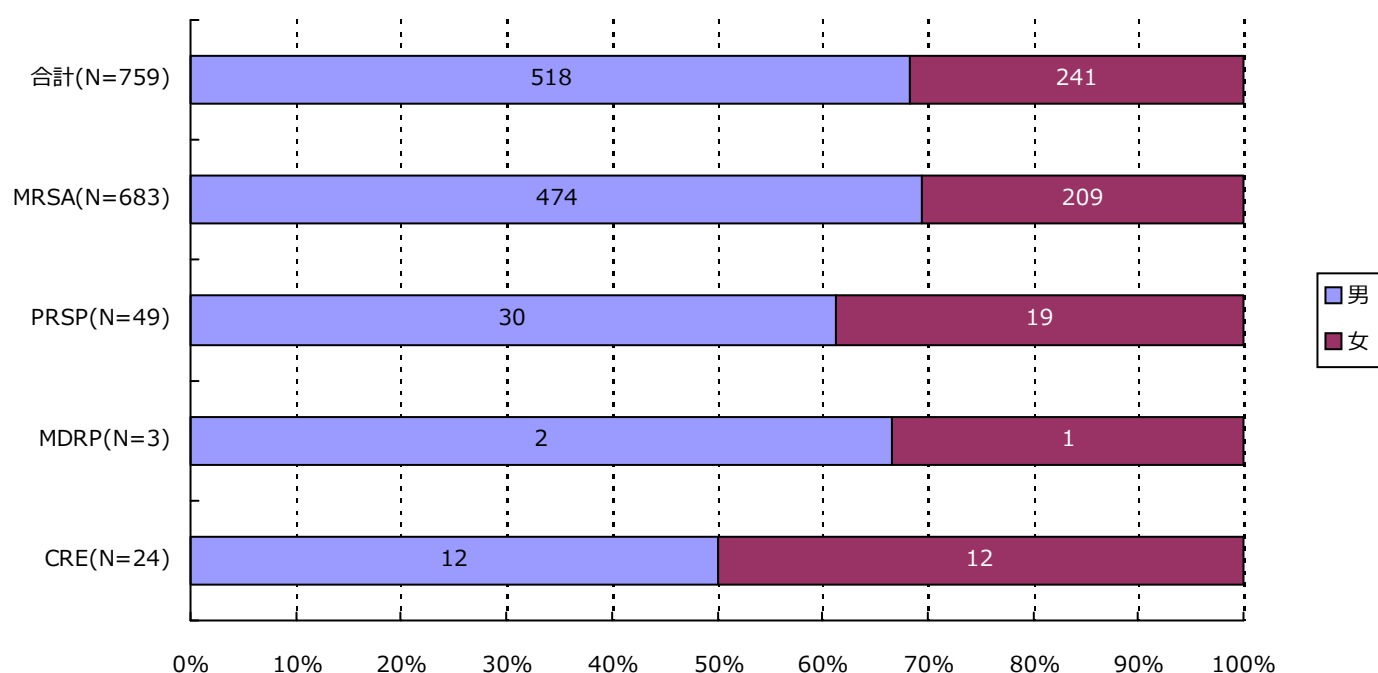
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	518 (68.2%)	474 (69.4%)	0 (-)	0 (-)	30 (61.2%)	2 (66.7%)	0 (-)	12 (50.0%)
女	241 (31.8%)	209 (30.6%)	0 (-)	0 (-)	19 (38.8%)	1 (33.3%)	0 (-)	12 (50.0%)
合計	759	683	0	0	49	3	0	24

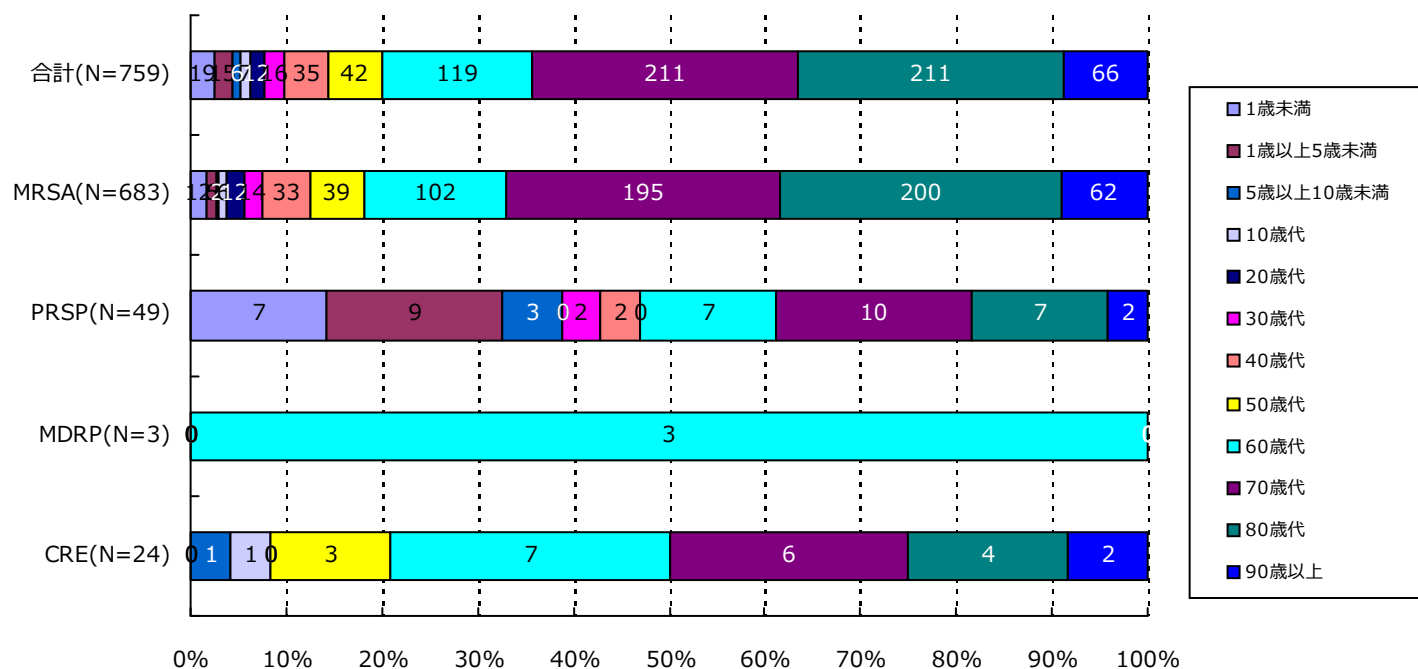
(千葉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	19(2.5%)	12(1.8%)	0(-)	0(-)	7(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	15(2.0%)	6(0.9%)	0(-)	0(-)	9(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	6(0.8%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	3(6.1%)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
10歳代	7(0.9%)	6(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
20歳代	12(1.6%)	12(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	16(2.1%)	14(2.0%)	0(-)	0(-)	2(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	35(4.6%)	33(4.8%)	0(-)	0(-)	2(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	42(5.5%)	39(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(12.5%)
60歳代	119(15.7%)	102(14.9%)	0(-)	0(-)	7(14.3%)	3(100.0%)	0(-)	7(29.2%)
70歳代	211(27.8%)	195(28.6%)	0(-)	0(-)	10(20.4%)	0(-)	0(-)	6(25.0%)
80歳代	211(27.8%)	200(29.3%)	0(-)	0(-)	7(14.3%)	0(-)	0(-)	4(16.7%)
90歳以上	66(8.7%)	62(9.1%)	0(-)	0(-)	2(4.1%)	0(-)	0(-)	2(8.3%)
合計	759	683	0	0	49	3	0	24

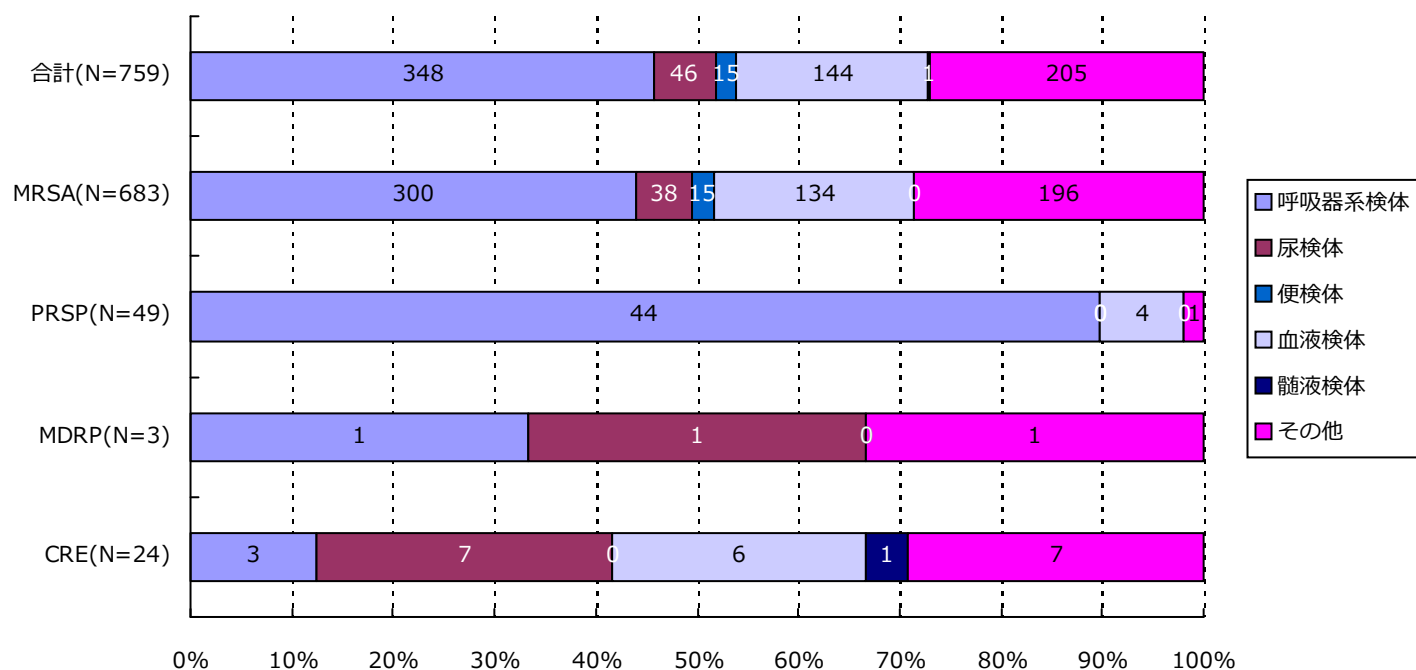
(千葉県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



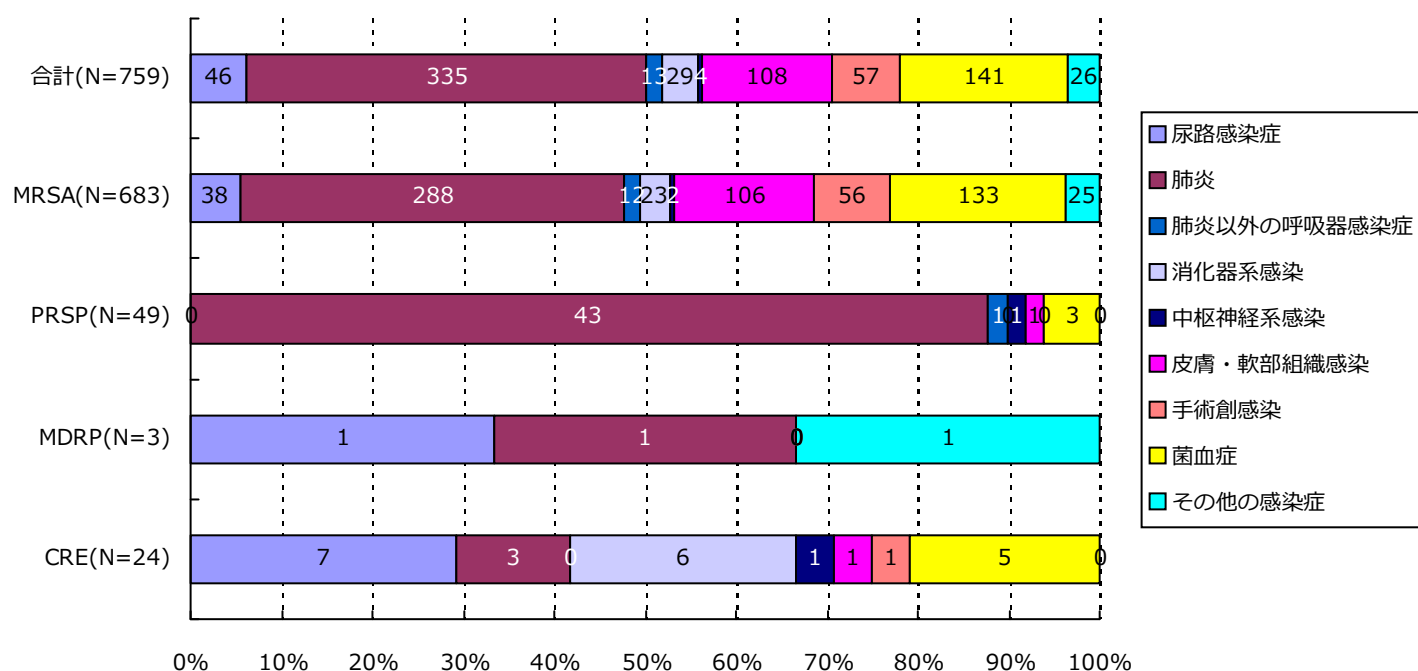
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	348(45.8%)	300(43.9%)	0(-)	0(-)	44(89.8%)	1(33.3%)	0(-)	3(12.5%)
尿検体	46(6.1%)	38(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	7(29.2%)
便検体	15(2.0%)	15(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	144(19.0%)	134(19.6%)	0(-)	0(-)	4(8.2%)	0(-)	0(-)	6(25.0%)
髄液検体	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
その他	205(27.0%)	196(28.7%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	1(33.3%)	0(-)	7(29.2%)
合計	759	683	0	0	49	3	0	24

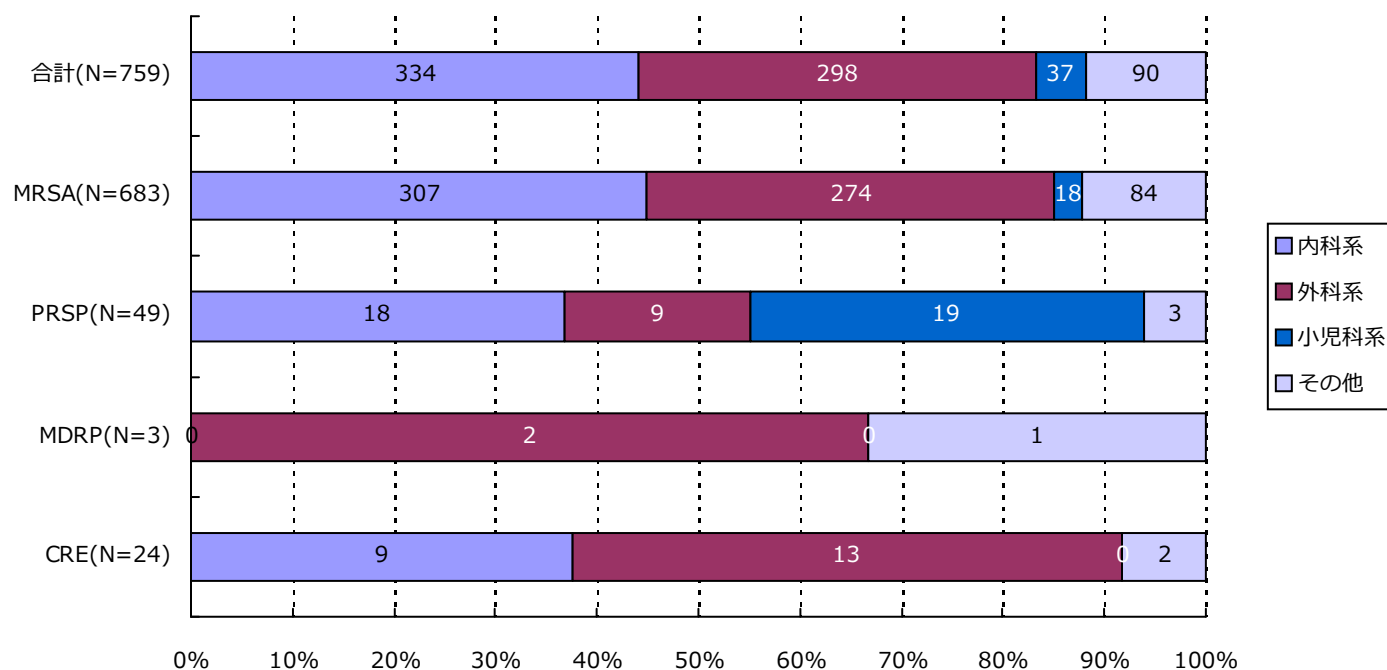
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	46(6.1%)	38(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	7(29.2%)
肺炎	335(44.1%)	288(42.2%)	0(-)	0(-)	43(87.8%)	1(33.3%)	0(-)	3(12.5%)
肺炎以外	13(1.7%)	12(1.8%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	29(3.8%)	23(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(25.0%)
中枢神経系	4(0.5%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
皮膚・軟部	108(14.2%)	106(15.5%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
手術創	57(7.5%)	56(8.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
菌血症	141(18.6%)	133(19.5%)	0(-)	0(-)	3(6.1%)	0(-)	0(-)	5(20.8%)
その他	26(3.4%)	25(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
合計	759	683	0	0	49	3	0	24

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	334(44.0%)	307(44.9%)	0(-)	0(-)	18(36.7%)	0(-)	0(-)	9(37.5%)
外科系	298(39.3%)	274(40.1%)	0(-)	0(-)	9(18.4%)	2(66.7%)	0(-)	13(54.2%)
小児科系	37(4.9%)	18(2.6%)	0(-)	0(-)	19(38.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	90(11.9%)	84(12.3%)	0(-)	0(-)	3(6.1%)	1(33.3%)	0(-)	2(8.3%)
合計	759	683	0	0	49	3	0	24

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

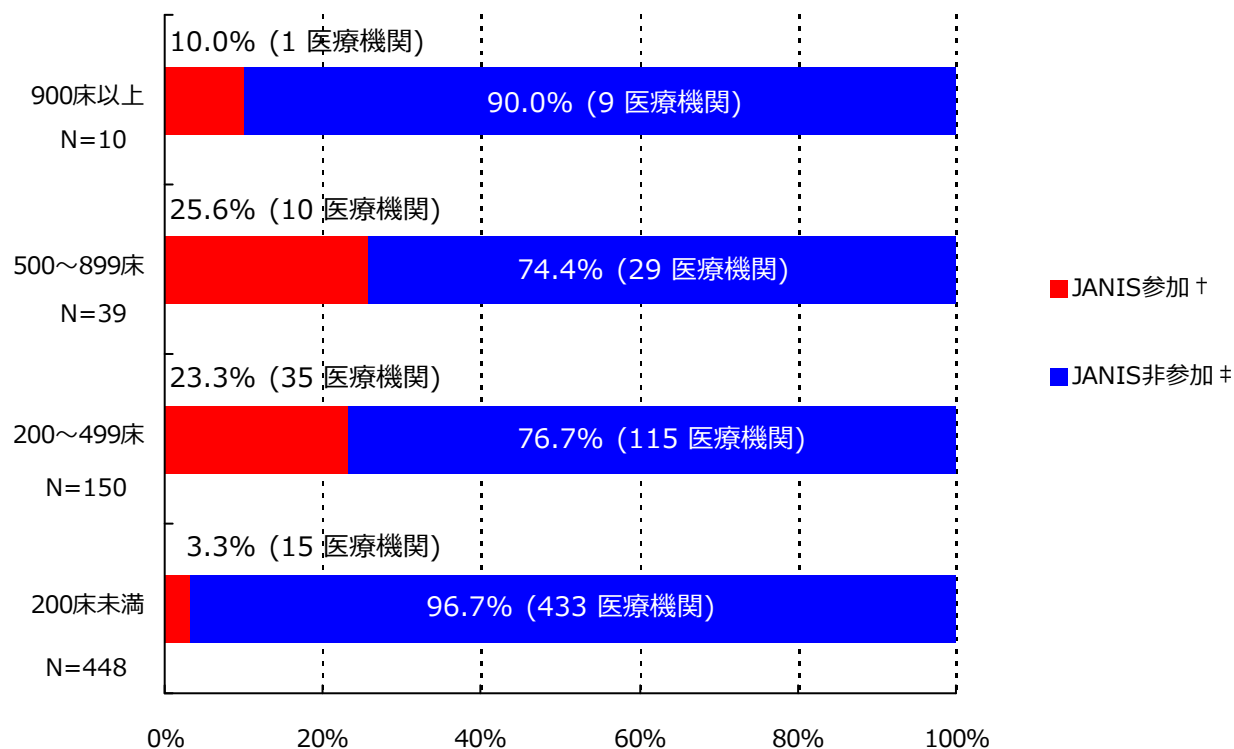
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(61医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	10	1 (10%)
500～899床	39	10 (25.6%)
200～499床	150	35 (23.3%)
200床未満	448	15 (3.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	647	61 (9.4%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(東京都)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

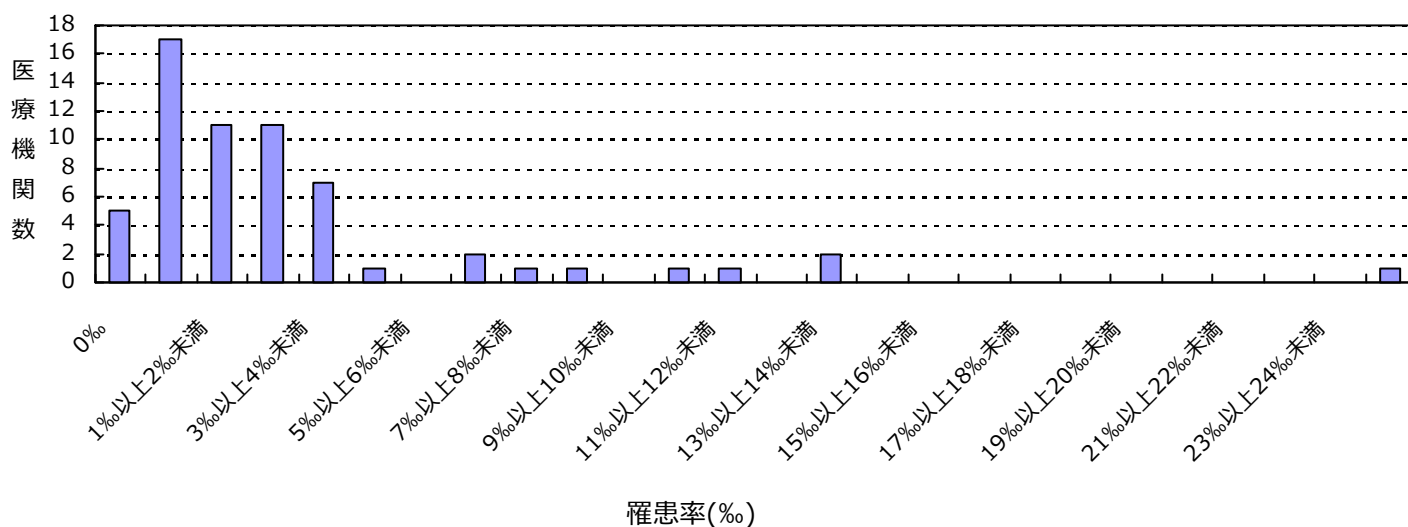


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	466,405	34	1,067	2.29%	0.00 1.78 24.58 -----

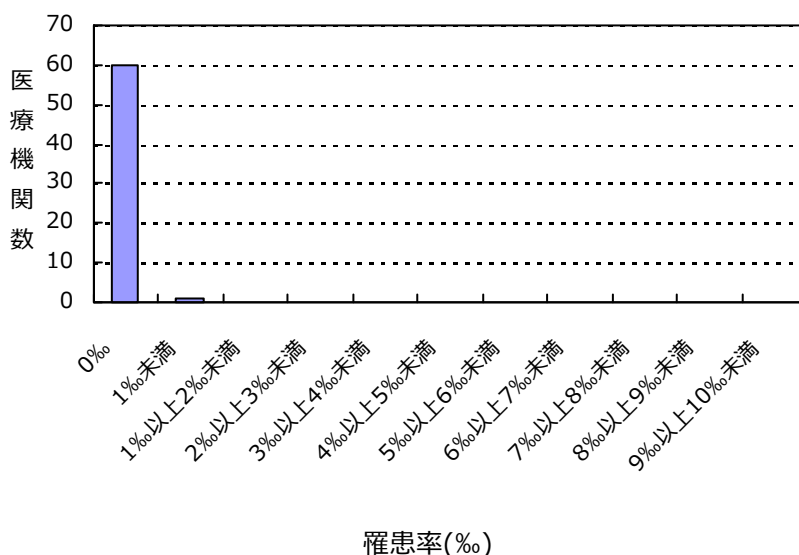
集計対象医療機関の罹患率(N=61)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	466,405	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=61)



(東京都)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

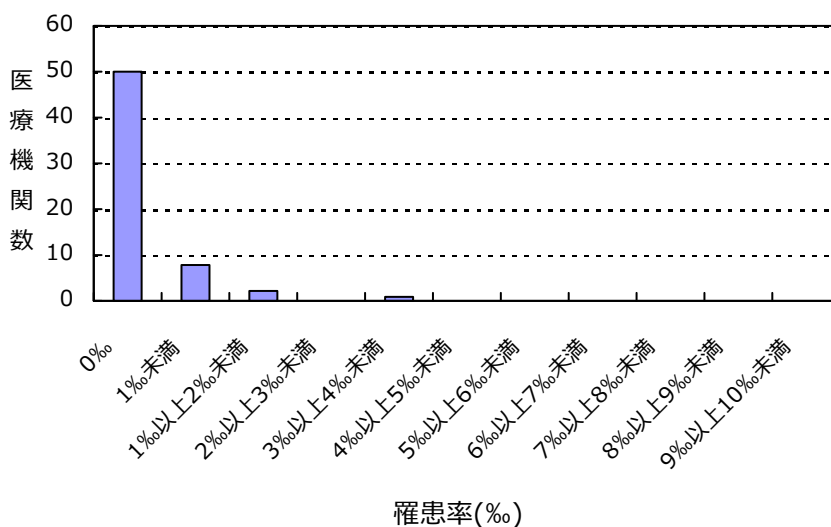


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	466,405	0	49	0.11‰	0.00 0.00 3.03 -----

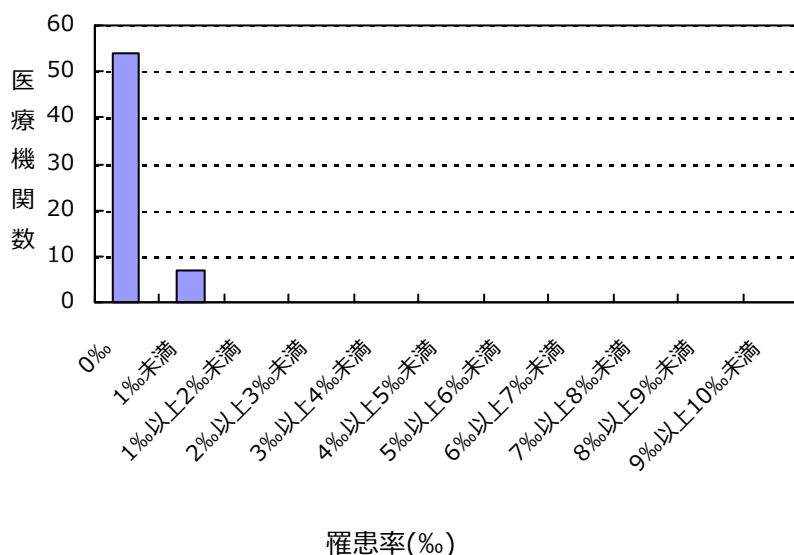
集計対象医療機関の罹患率(N=61)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	466,405	0	12	0.03‰	0.00 0.00 0.31 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=61)



(東京都)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

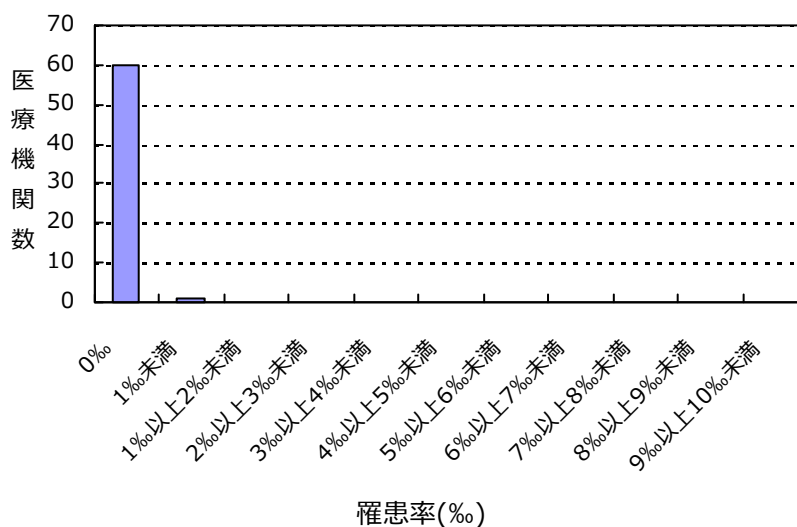


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRA	466,405	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06

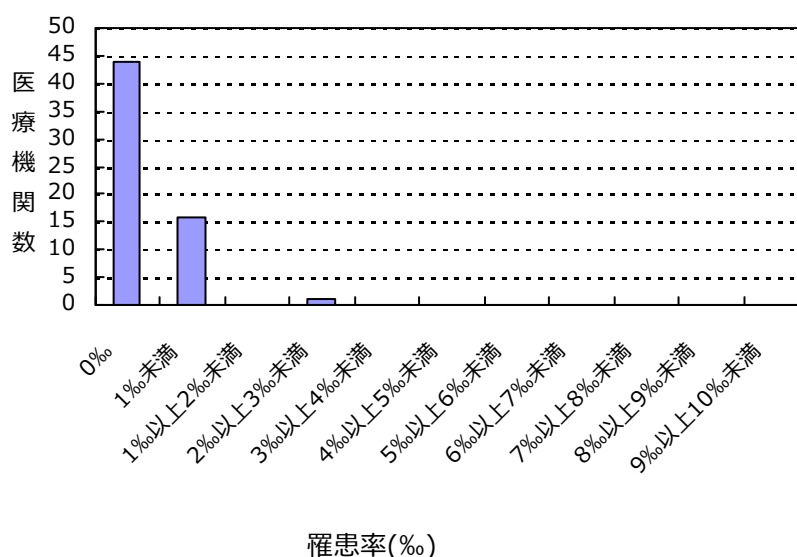
集計対象医療機関の罹患率(N=61)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	466,405	0	43	0.09%	0.00 0.00 2.11

集計対象医療機関の罹患率(N=61)



(東京都)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

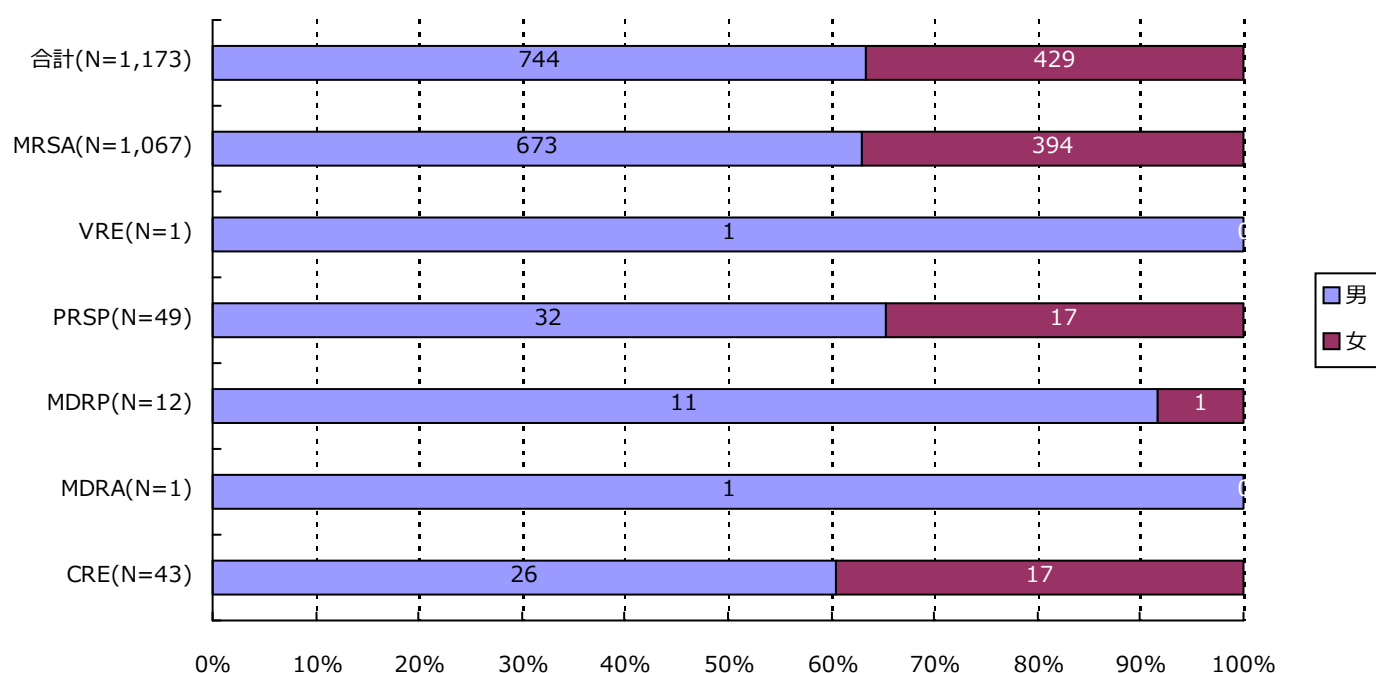
(東京都)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

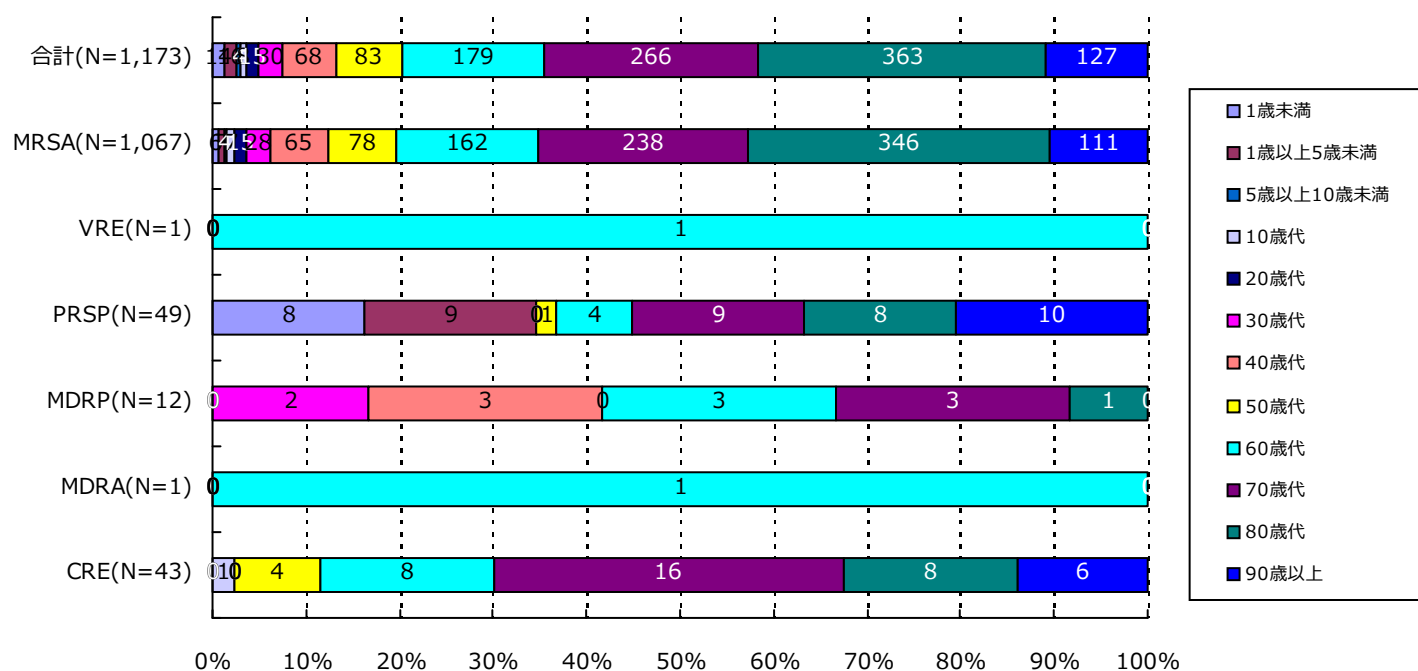


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



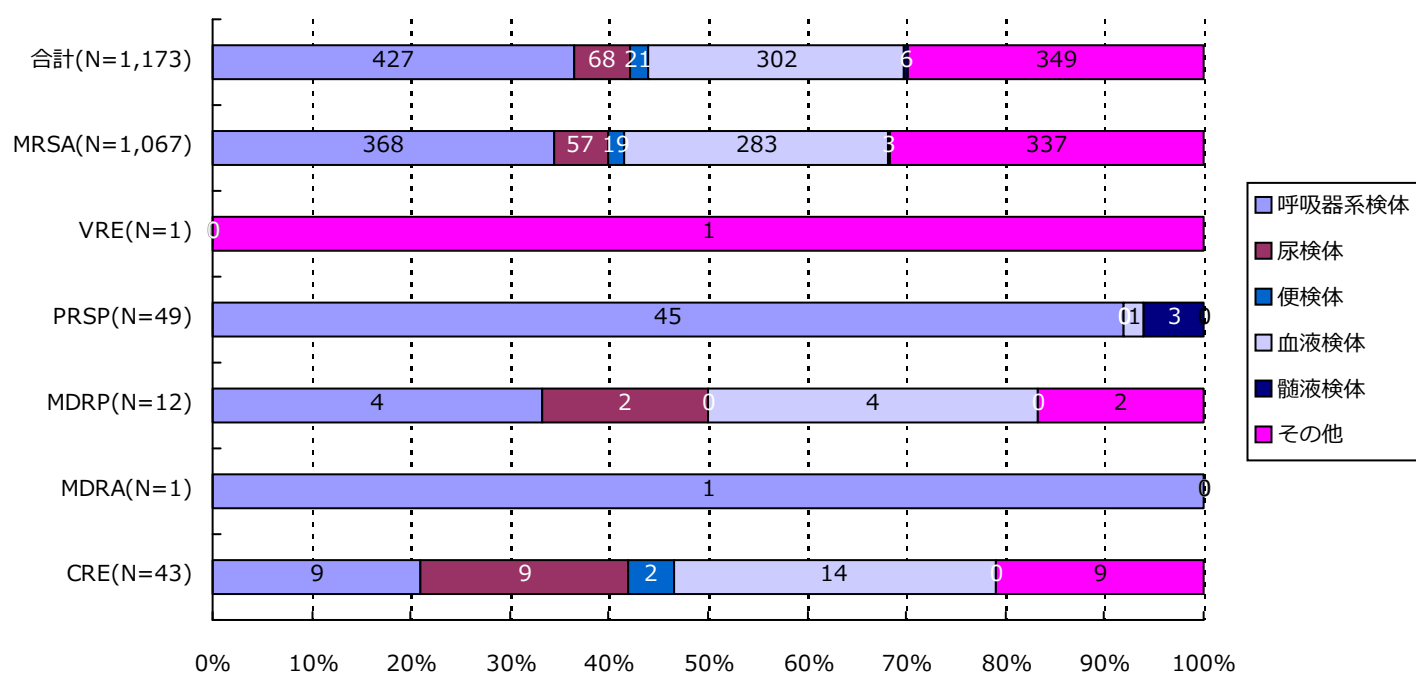
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	744 (63.4%)	673 (63.1%)	0 (-)	1 (100.0%)	32 (65.3%)	11 (91.7%)	1 (100.0%)	26 (60.5%)
女	429 (36.6%)	394 (36.9%)	0 (-)	0 (-)	17 (34.7%)	1 (8.3%)	0 (-)	17 (39.5%)
合計	1,173	1,067	0	1	49	12	1	43

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	14(1.2%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	8(16.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	16(1.4%)	7(0.7%)	0(-)	0(-)	9(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	4(0.3%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	8(0.7%)	7(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.3%)
20歳代	15(1.3%)	15(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	30(2.6%)	28(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	0(-)
40歳代	68(5.8%)	65(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(25.0%)	0(-)	0(-)
50歳代	83(7.1%)	78(7.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	4(9.3%)
60歳代	179(15.3%)	162(15.2%)	0(-)	1(100.0%)	4(8.2%)	3(25.0%)	1(100.0%)	8(18.6%)
70歳代	266(22.7%)	238(22.3%)	0(-)	0(-)	9(18.4%)	3(25.0%)	0(-)	16(37.2%)
80歳代	363(30.9%)	346(32.4%)	0(-)	0(-)	8(16.3%)	1(8.3%)	0(-)	8(18.6%)
90歳以上	127(10.8%)	111(10.4%)	0(-)	0(-)	10(20.4%)	0(-)	0(-)	6(14.0%)
合計	1,173	1,067	0	1	49	12	1	43

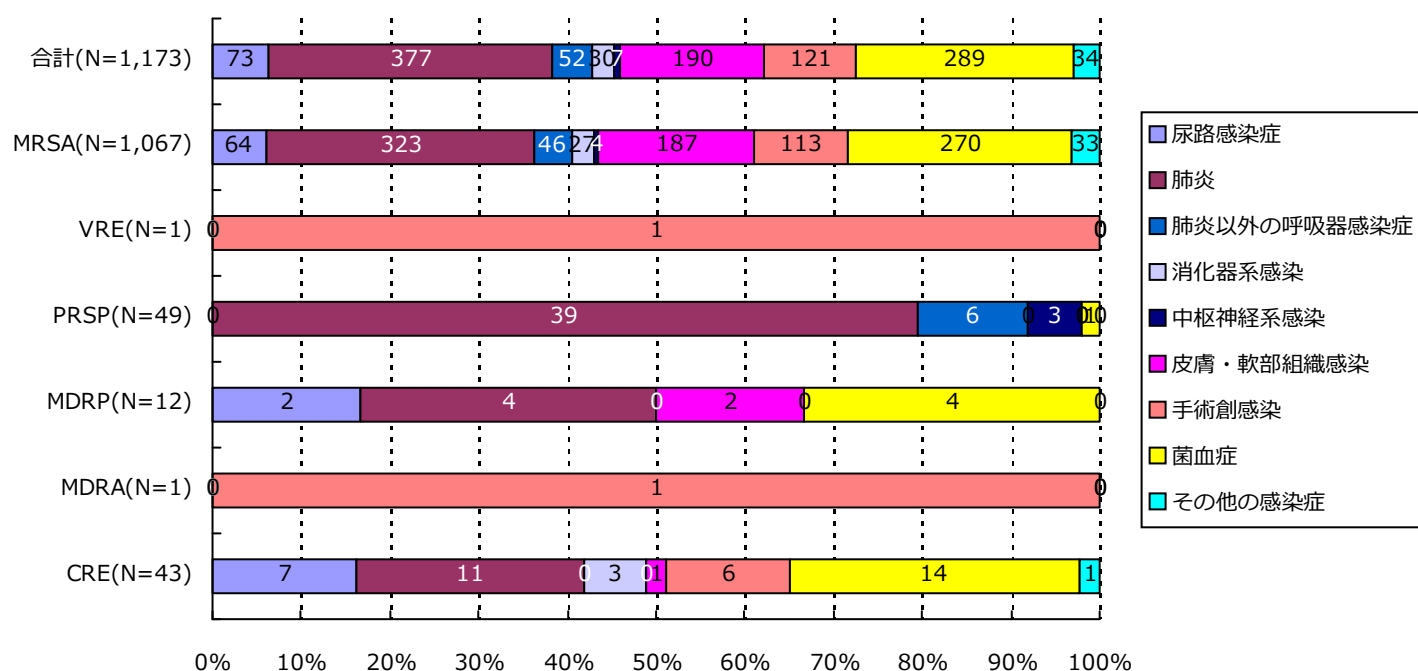
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	427(36.4%)	368(34.5%)	0(-)	0(-)	45(91.8%)	4(33.3%)	1(100.0%)	9(20.9%)
尿検体	68(5.8%)	57(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	9(20.9%)
便検体	21(1.8%)	19(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(4.7%)
血液検体	302(25.7%)	283(26.5%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	4(33.3%)	0(-)	14(32.6%)
髄液検体	6(0.5%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	3(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	349(29.8%)	337(31.6%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	9(20.9%)
合計	1,173	1,067	0	1	49	12	1	43

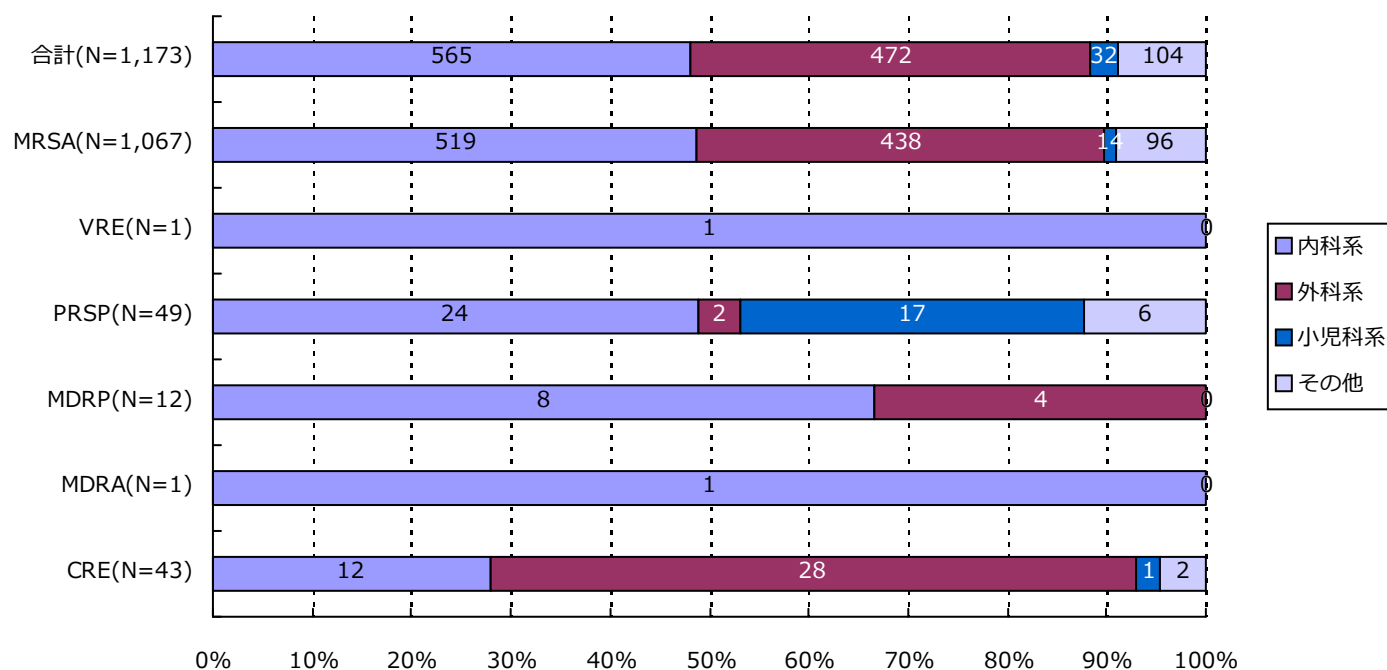
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	73(6.2%)	64(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	7(16.3%)
肺炎	377(32.1%)	323(30.3%)	0(-)	0(-)	39(79.6%)	4(33.3%)	0(-)	11(25.6%)
肺炎以外	52(4.4%)	46(4.3%)	0(-)	0(-)	6(12.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	30(2.6%)	27(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(7.0%)
中枢神経系	7(0.6%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	3(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	190(16.2%)	187(17.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	1(2.3%)
手術創	121(10.3%)	113(10.6%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	6(14.0%)
菌血症	289(24.6%)	270(25.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	4(33.3%)	0(-)	14(32.6%)
その他	34(2.9%)	33(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.3%)
合計	1,173	1,067	0	1	49	12	1	43

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	565(48.2%)	519(48.6%)	0(-)	1(100.0%)	24(49.0%)	8(66.7%)	1(100.0%)	12(27.9%)
外科系	472(40.2%)	438(41.0%)	0(-)	0(-)	2(4.1%)	4(33.3%)	0(-)	28(65.1%)
小児科系	32(2.7%)	14(1.3%)	0(-)	0(-)	17(34.7%)	0(-)	0(-)	1(2.3%)
その他	104(8.9%)	96(9.0%)	0(-)	0(-)	6(12.2%)	0(-)	0(-)	2(4.7%)
合計	1,173	1,067	0	1	49	12	1	43

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

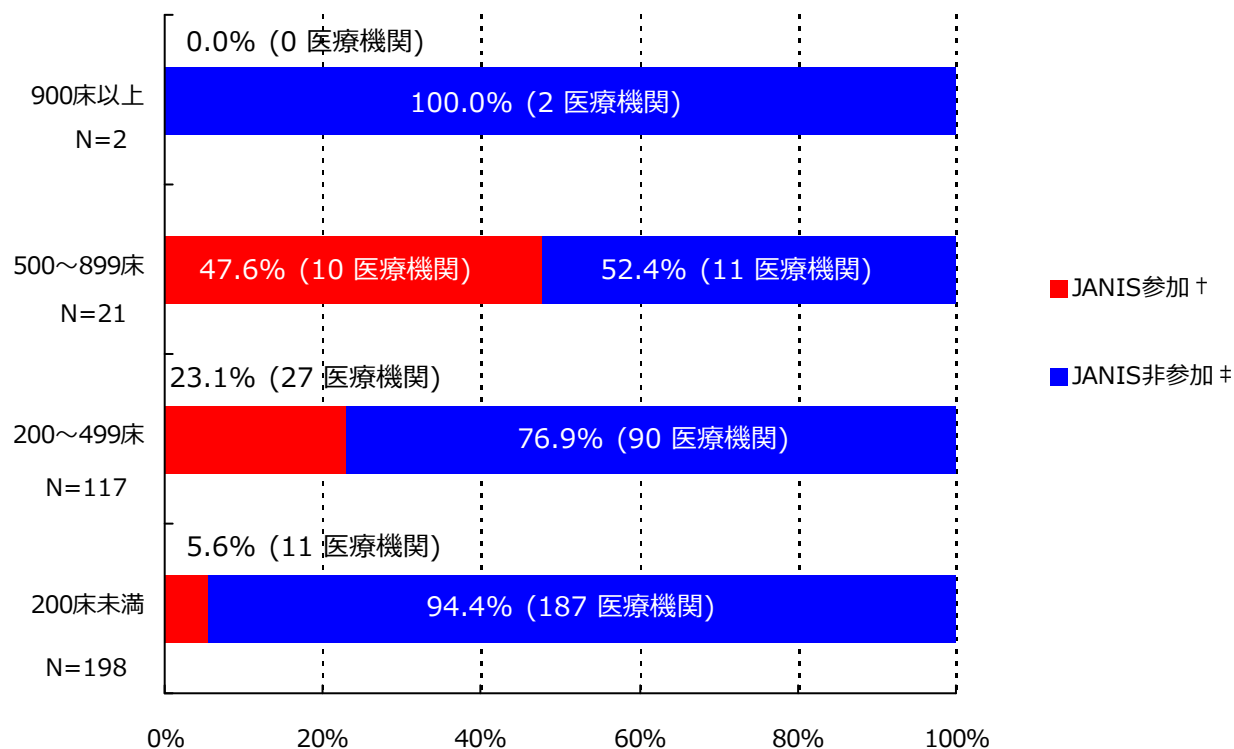
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(48医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0%)
500～899床	21	10 (47.6%)
200～499床	117	27 (23.1%)
200床未満	198	11 (5.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	338	48 (14.2%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(神奈川県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

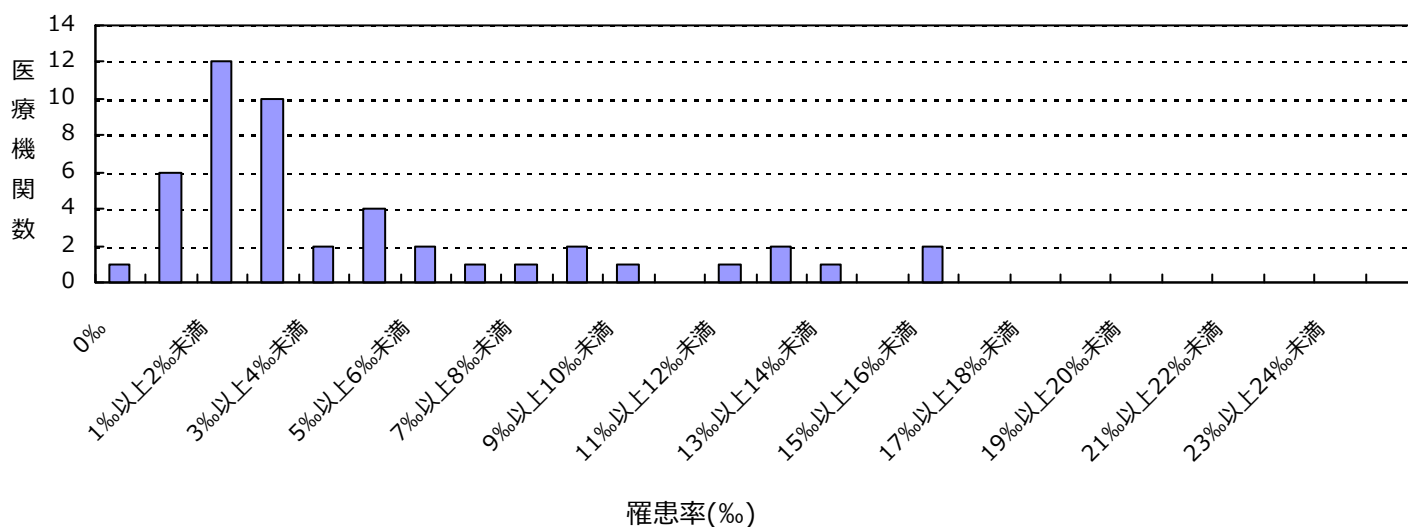


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	349,287	15	1,068	3.06%	0.00 2.30 15.61

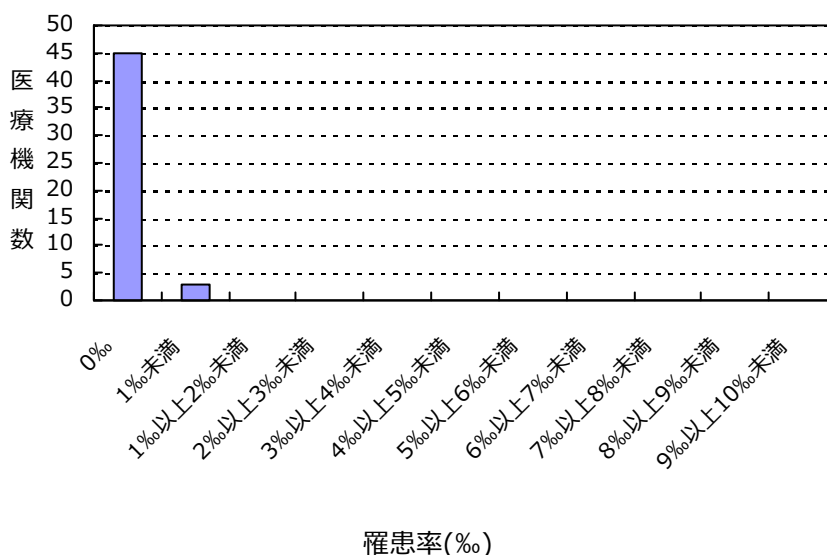
集計対象医療機関の罹患率(N=48)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	349,287	0	14	0.04%	0.00 0.00 0.55

集計対象医療機関の罹患率(N=48)



(神奈川県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

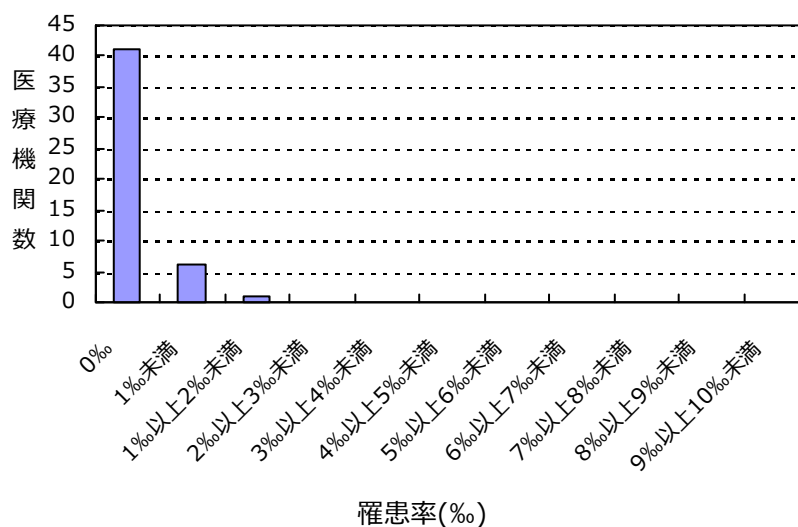


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	349,287	0	8	0.02%	0.00 0.00 1.04

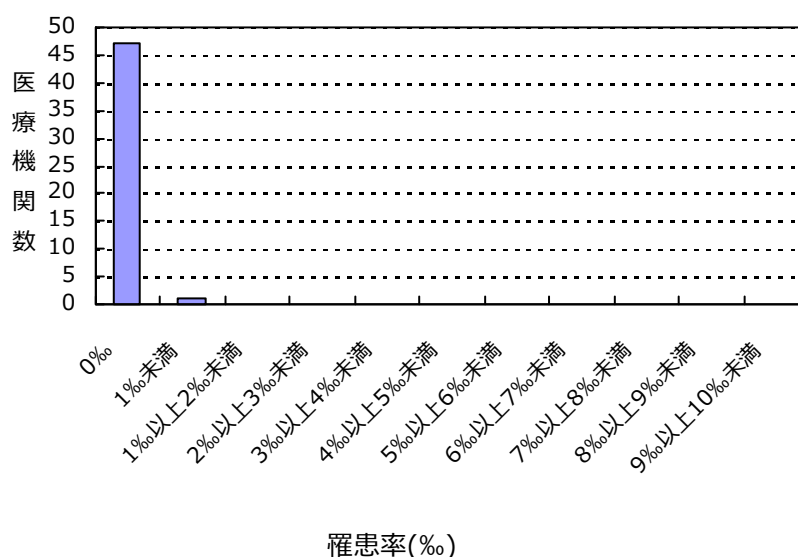
集計対象医療機関の罹患率(N=48)



多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRA	349,287	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06

集計対象医療機関の罹患率(N=48)



(神奈川県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

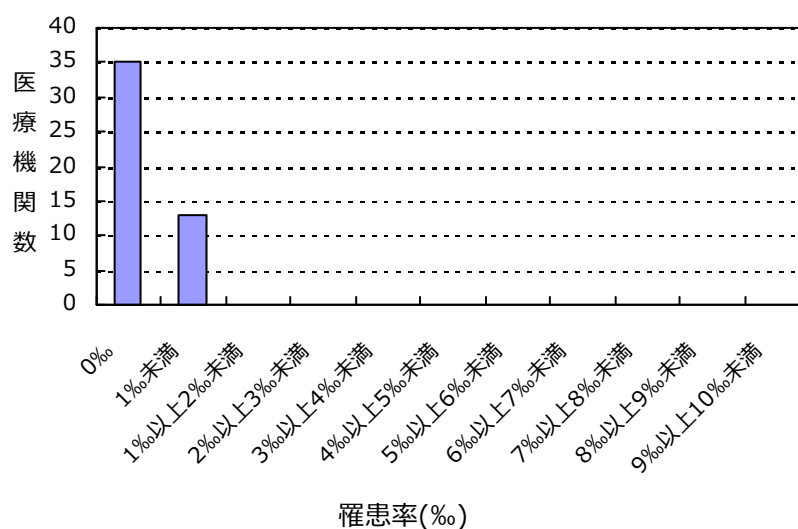


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	349,287	0	36	0.10‰	0.00 0.00 0.72

集計対象医療機関の罹患率(N=48)



(神奈川県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

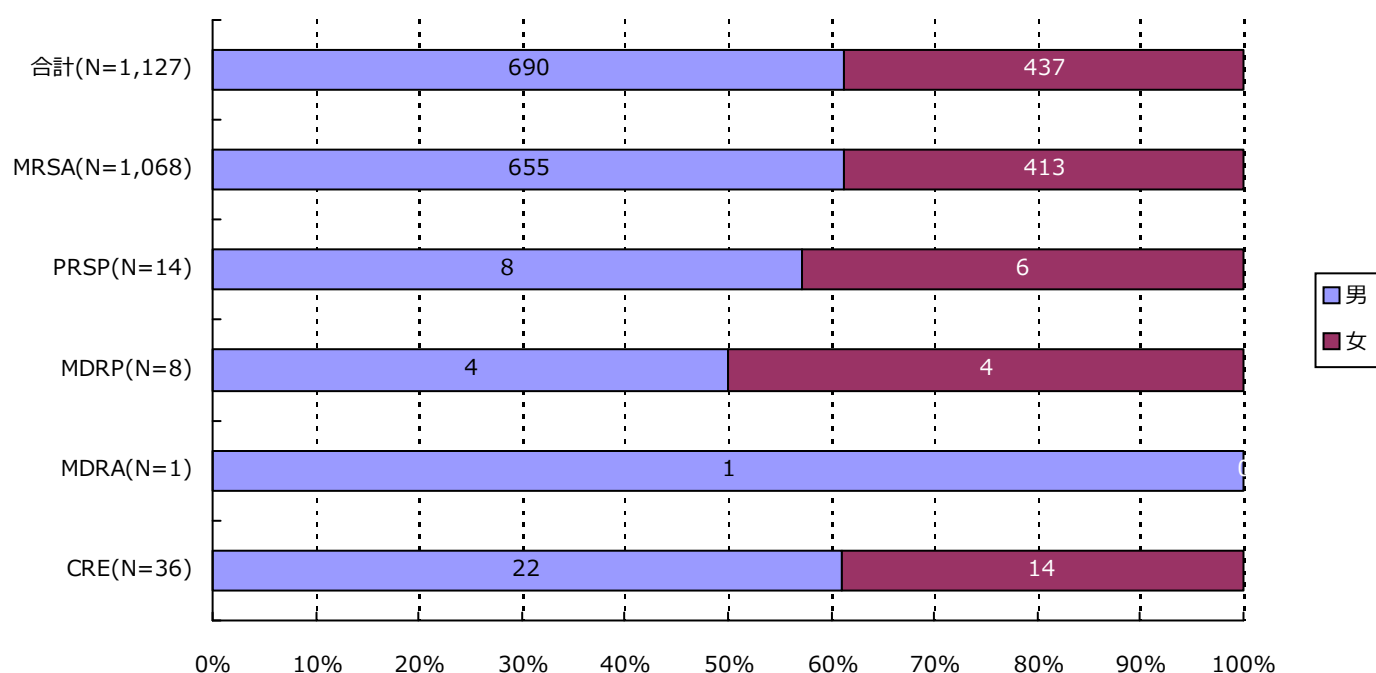
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

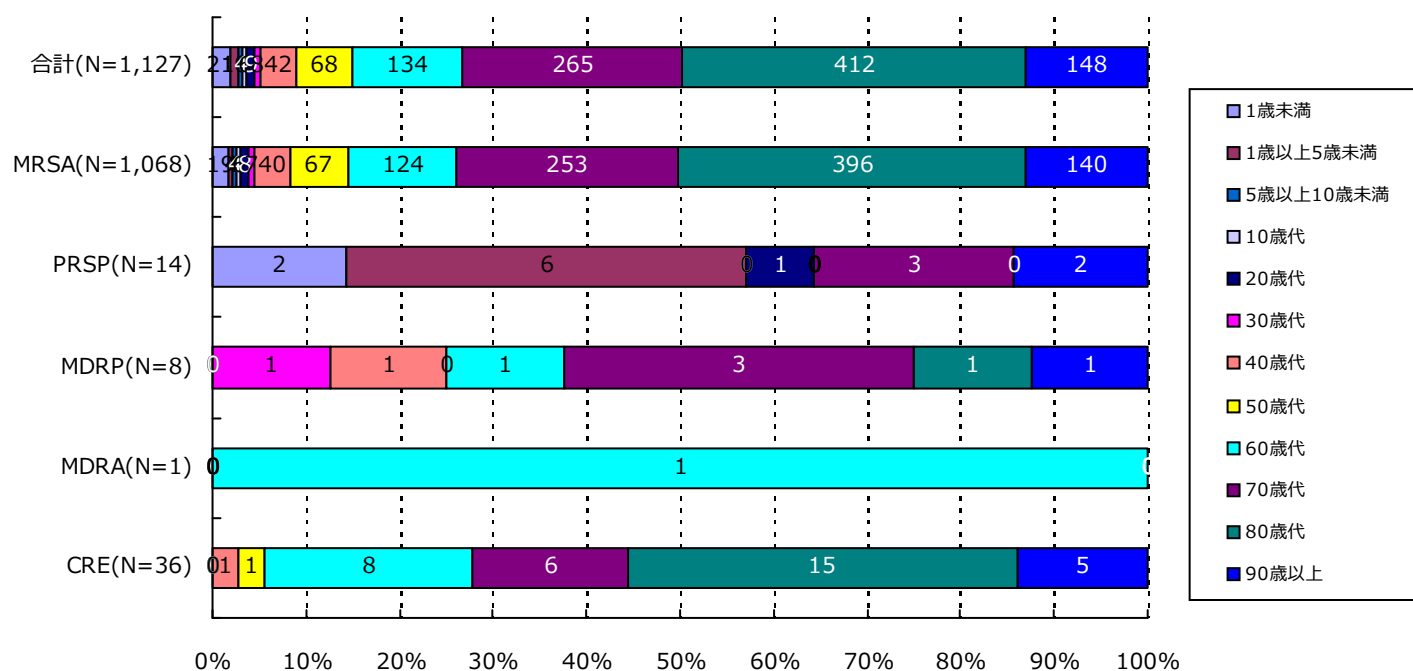
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



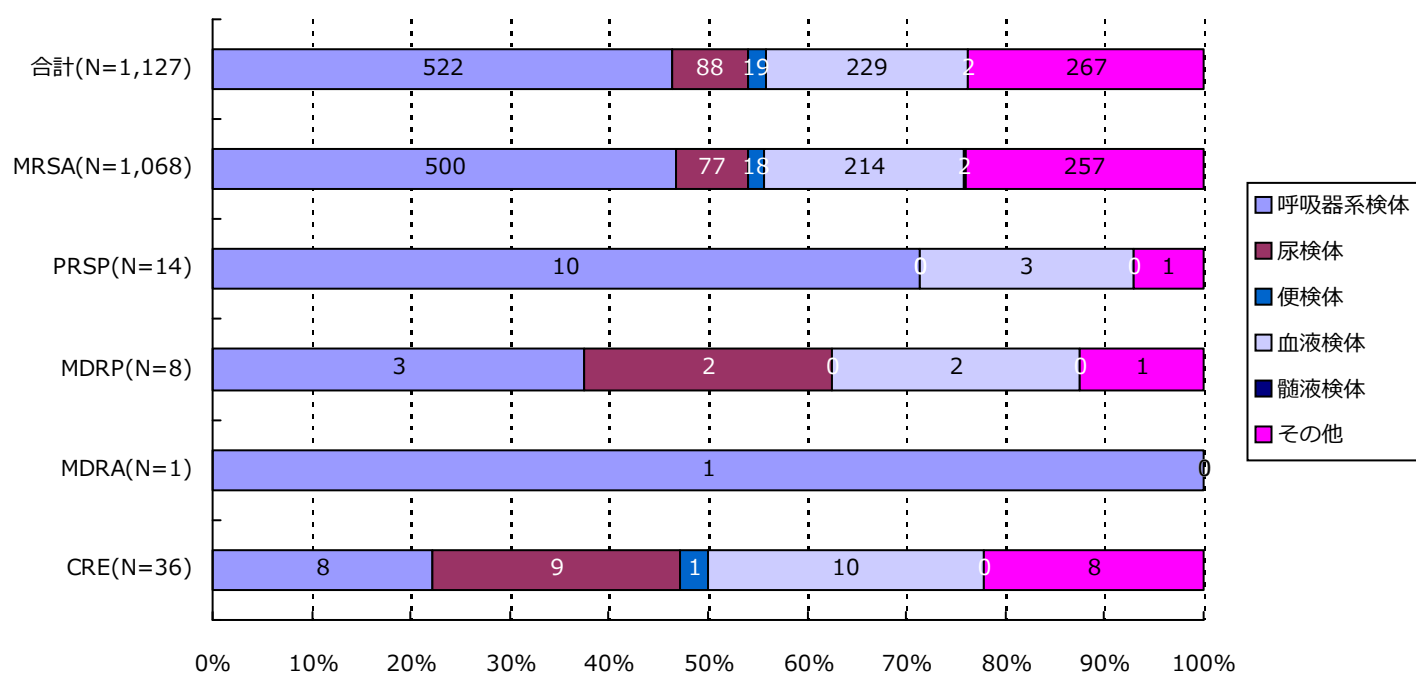
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	690 (61.2%)	655 (61.3%)	0 (-)	0 (-)	8 (57.1%)	4 (50.0%)	1 (100.0%)	22 (61.1%)
女	437 (38.8%)	413 (38.7%)	0 (-)	0 (-)	6 (42.9%)	4 (50.0%)	0 (-)	14 (38.9%)
合計	1,127	1,068	0	0	14	8	1	36

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	21(1.9%)	19(1.8%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	10(0.9%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	6(42.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	4(0.4%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	6(0.5%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	9(0.8%)	8(0.7%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	8(0.7%)	7(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)
40歳代	42(3.7%)	40(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	1(2.8%)
50歳代	68(6.0%)	67(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.8%)
60歳代	134(11.9%)	124(11.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(100.0%)	8(22.2%)
70歳代	265(23.5%)	253(23.7%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	3(37.5%)	0(-)	6(16.7%)
80歳代	412(36.6%)	396(37.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	15(41.7%)
90歳以上	148(13.1%)	140(13.1%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)	1(12.5%)	0(-)	5(13.9%)
合計	1,127	1,068	0	0	14	8	1	36

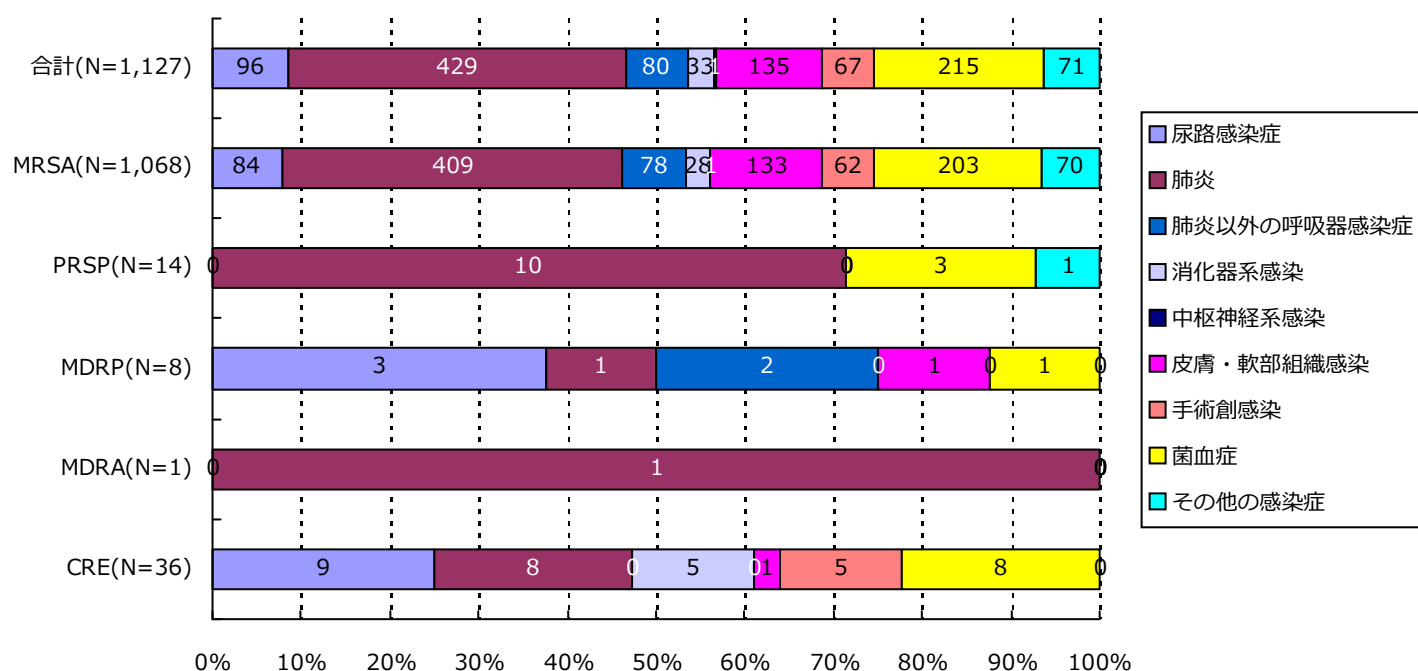
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	522(46.3%)	500(46.8%)	0(-)	0(-)	10(71.4%)	3(37.5%)	1(100.0%)	8(22.2%)
尿検体	88(7.8%)	77(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	9(25.0%)
便検体	19(1.7%)	18(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.8%)
血液検体	229(20.3%)	214(20.0%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	2(25.0%)	0(-)	10(27.8%)
髄液検体	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	267(23.7%)	257(24.1%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	1(12.5%)	0(-)	8(22.2%)
合計	1,127	1,068	0	0	14	8	1	36

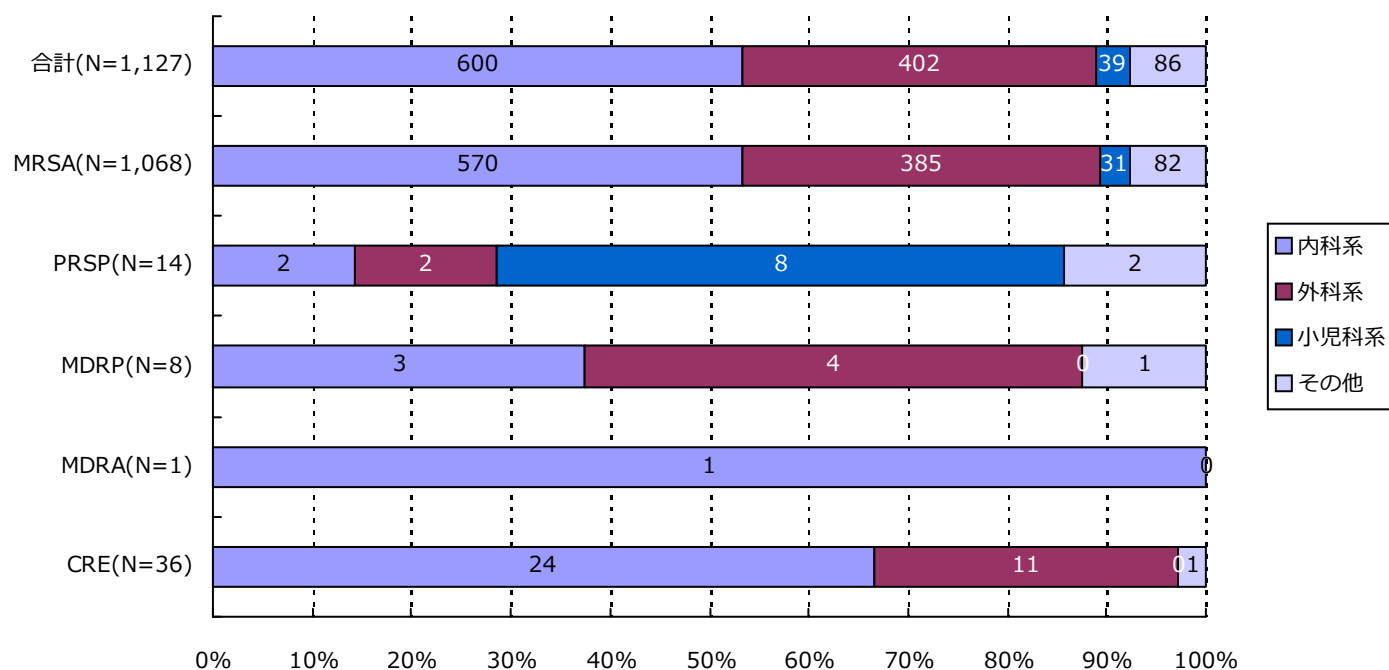
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	96(8.5%)	84(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	9(25.0%)
肺炎	429(38.1%)	409(38.3%)	0(-)	0(-)	10(71.4%)	1(12.5%)	1(100.0%)	8(22.2%)
肺炎以外	80(7.1%)	78(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)
消化器系	33(2.9%)	28(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(13.9%)
中枢神経系	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	135(12.0%)	133(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	1(2.8%)
手術創	67(5.9%)	62(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(13.9%)
菌血症	215(19.1%)	203(19.0%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	1(12.5%)	0(-)	8(22.2%)
その他	71(6.3%)	70(6.6%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,127	1,068	0	0	14	8	1	36

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	600(53.2%)	570(53.4%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)	3(37.5%)	1(100.0%)	24(66.7%)
外科系	402(35.7%)	385(36.0%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)	4(50.0%)	0(-)	11(30.6%)
小児科系	39(3.5%)	31(2.9%)	0(-)	0(-)	8(57.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	86(7.6%)	82(7.7%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)	1(12.5%)	0(-)	1(2.8%)
合計	1,127	1,068	0	0	14	8	1	36

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

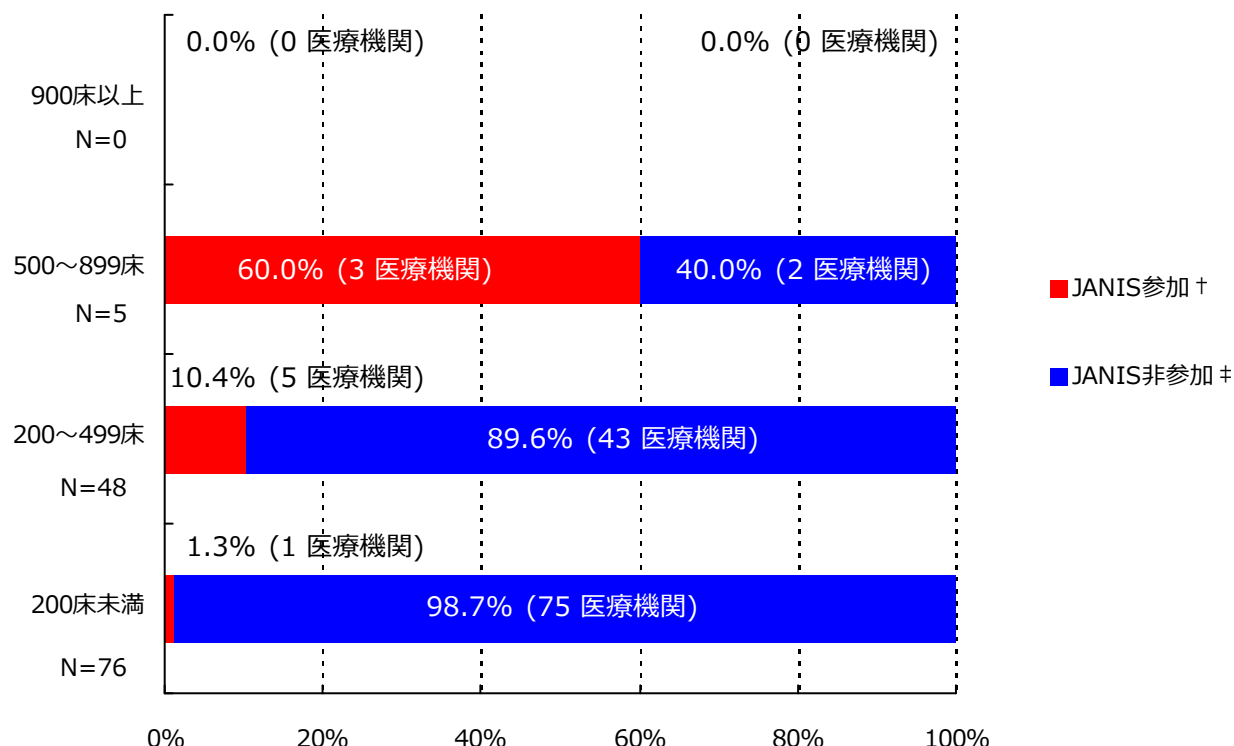
+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(新潟県)
公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(9医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	5	3 (60%)
200～499床	48	5 (10.4%)
200床未満	76	1 (1.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	129	9 (7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(新潟県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

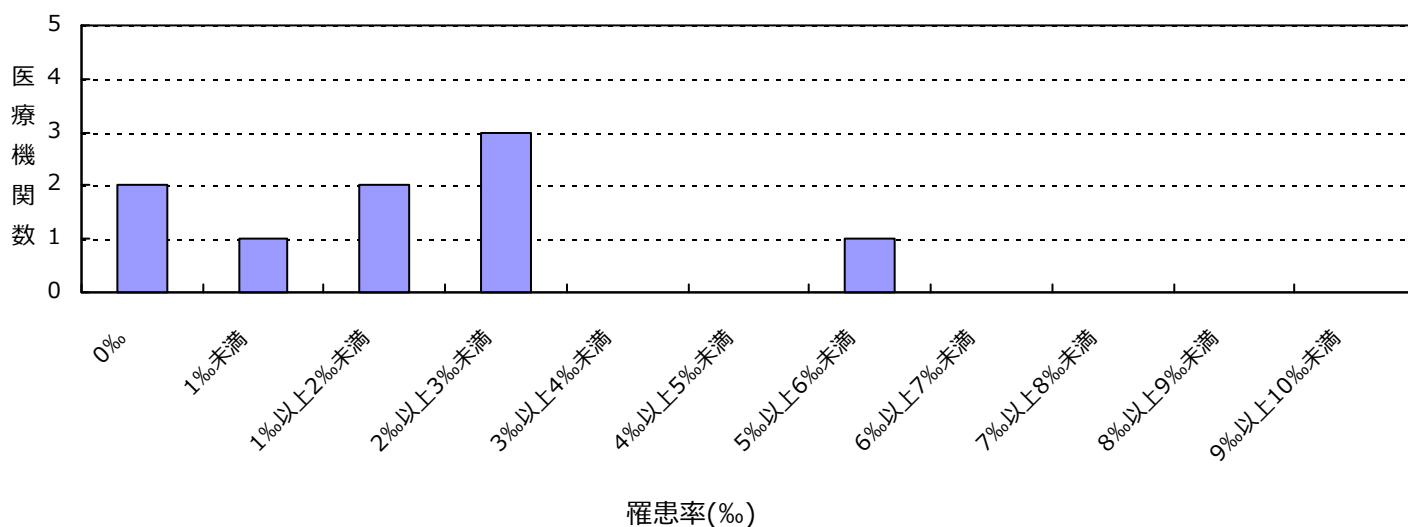


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	72,086	3	122	1.69%	0.00 2.00 5.54

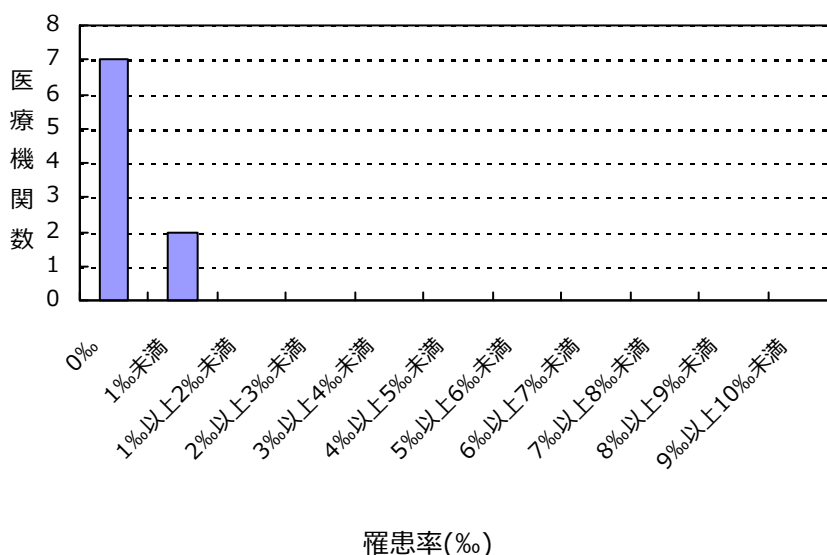
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	72,086	0	8	0.11%	0.00 0.00 0.42

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

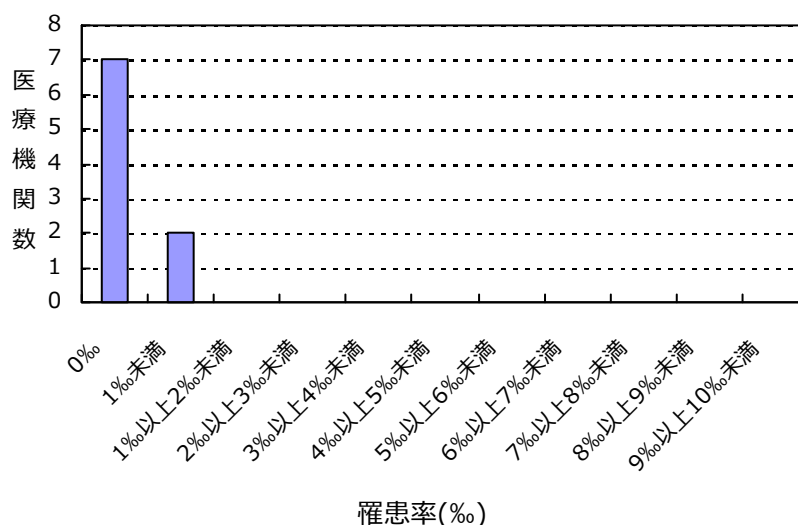


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	72,086	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.07

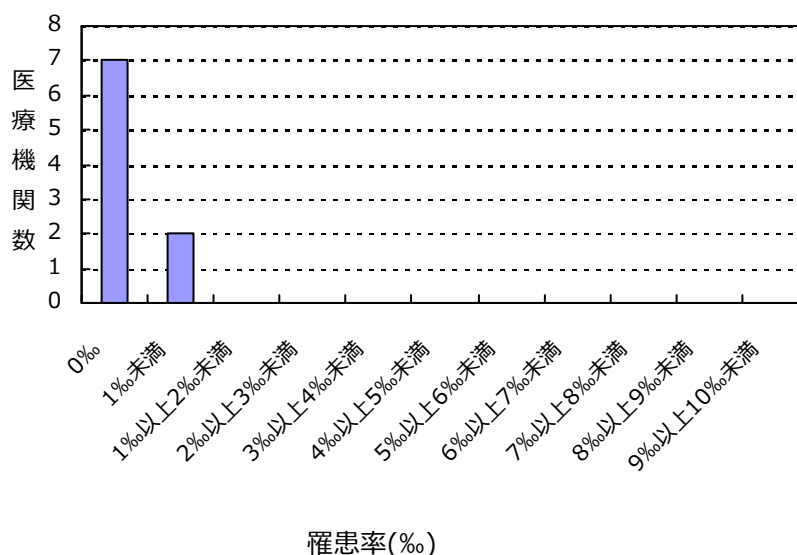
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	72,086	0	5	0.07%	0.00 0.00 0.67

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

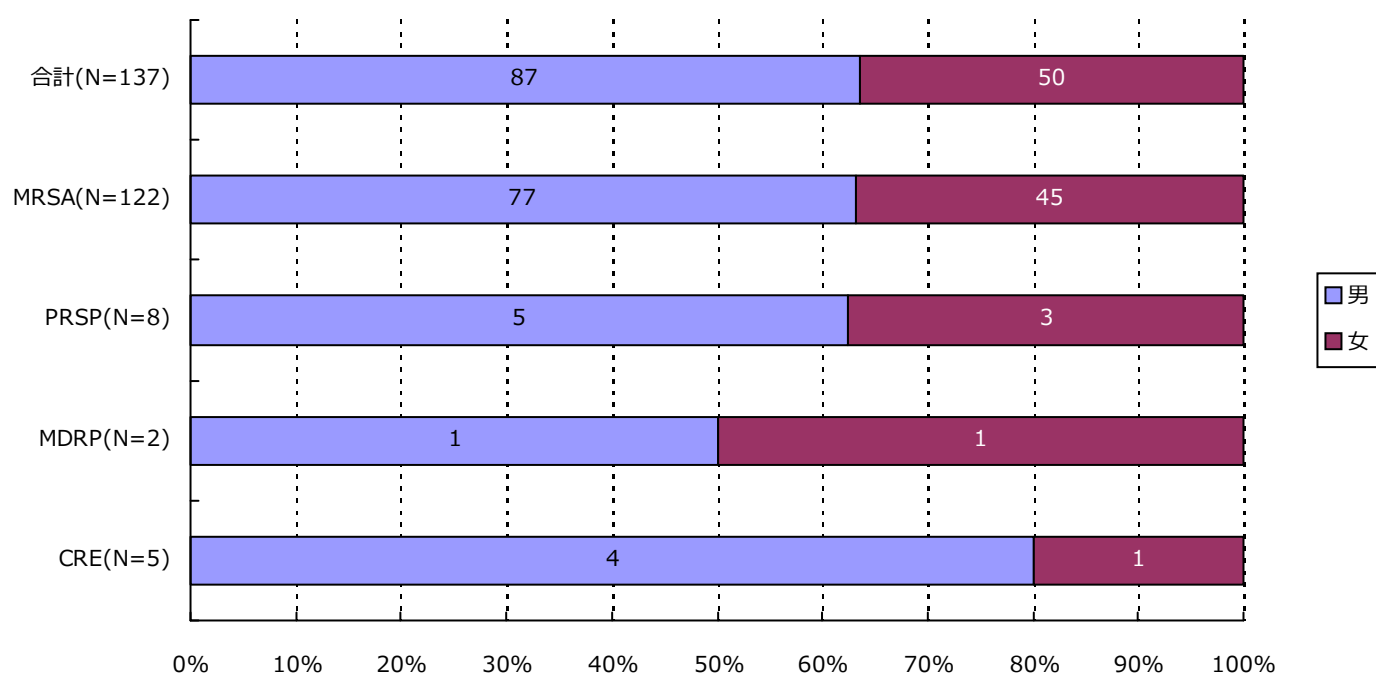
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	87 (63.5%)	77 (63.1%)	0 (-)	0 (-)	5 (62.5%)	1 (50.0%)	0 (-)	4 (80.0%)
女	50 (36.5%)	45 (36.9%)	0 (-)	0 (-)	3 (37.5%)	1 (50.0%)	0 (-)	1 (20.0%)
合計	137	122	0	0	8	2	0	5

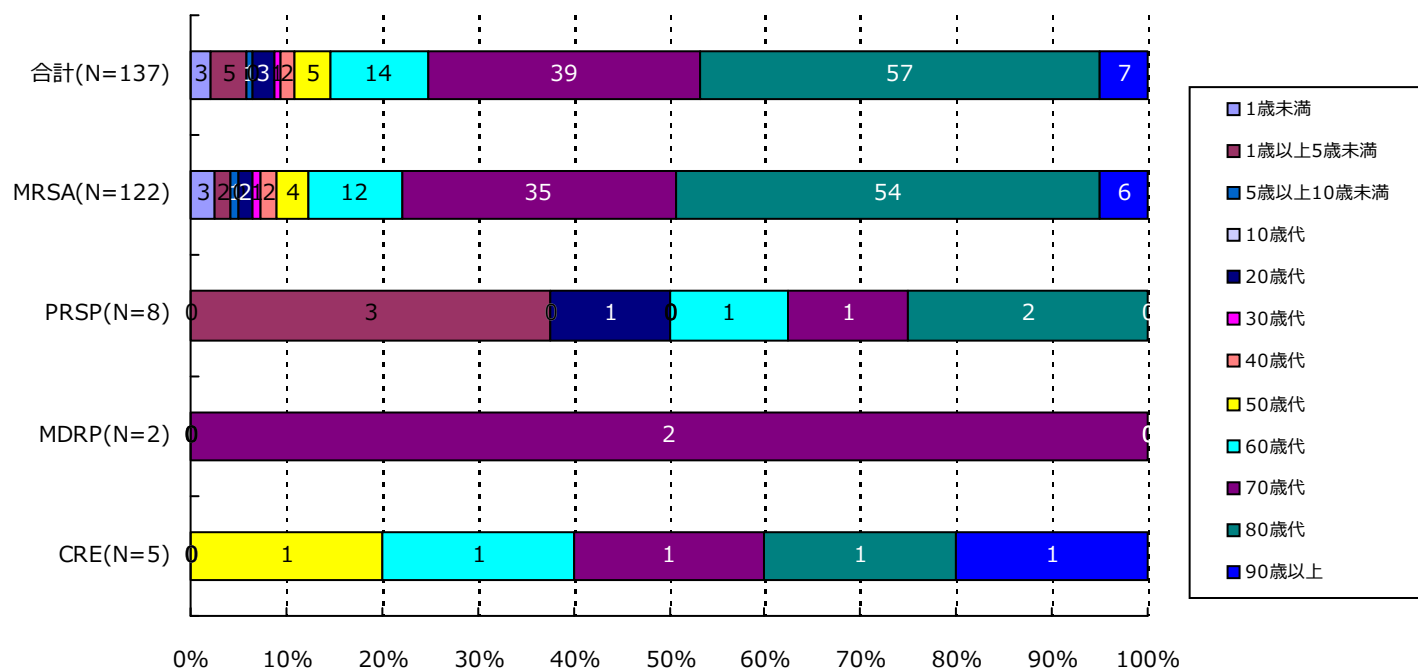
(新潟県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

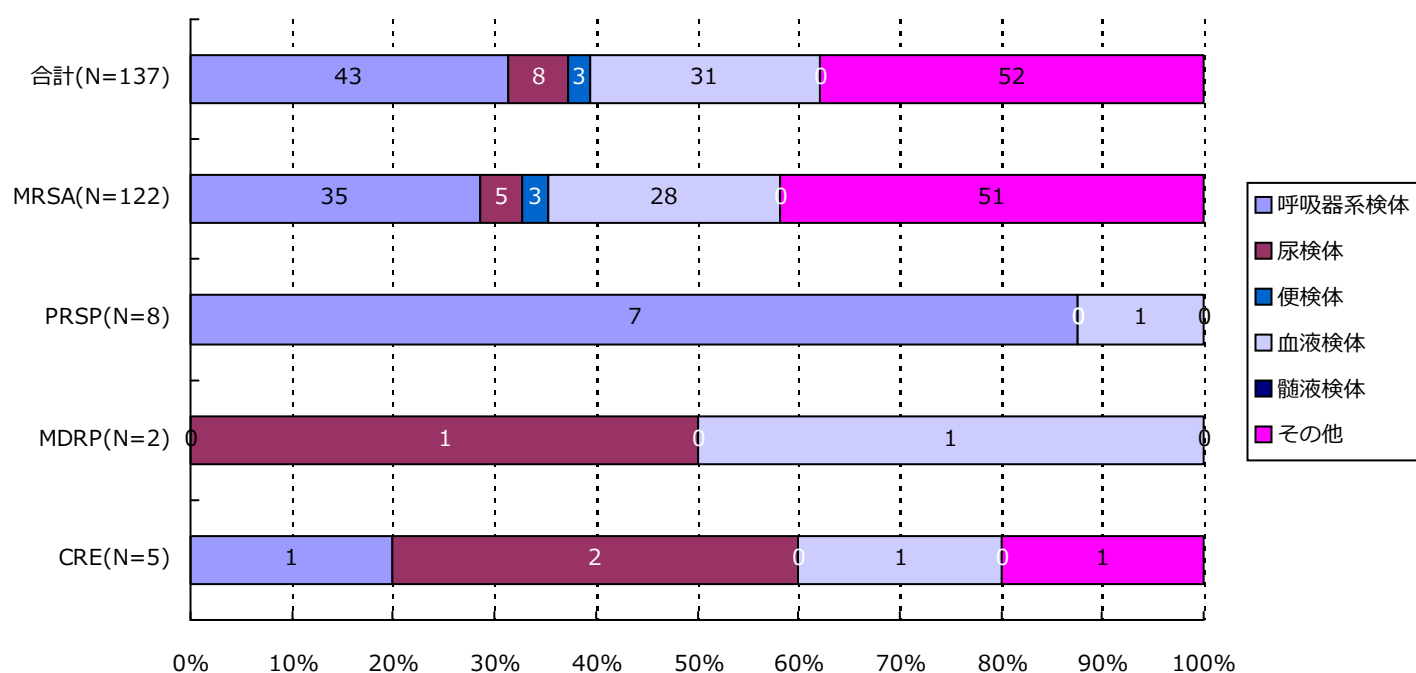


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(2.2%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(3.6%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(2.2%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	2(1.5%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	5(3.6%)	4(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
60歳代	14(10.2%)	12(9.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
70歳代	39(28.5%)	35(28.7%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	2(100.0%)	0(-)	1(20.0%)
80歳代	57(41.6%)	54(44.3%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
90歳以上	7(5.1%)	6(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	137	122	0	0	8	2	0	5

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	43(31.4%)	35(28.7%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
尿検体	8(5.8%)	5(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	2(40.0%)
便検体	3(2.2%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	31(22.6%)	28(23.0%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	52(38.0%)	51(41.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	137	122	0	0	8	2	0	5

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

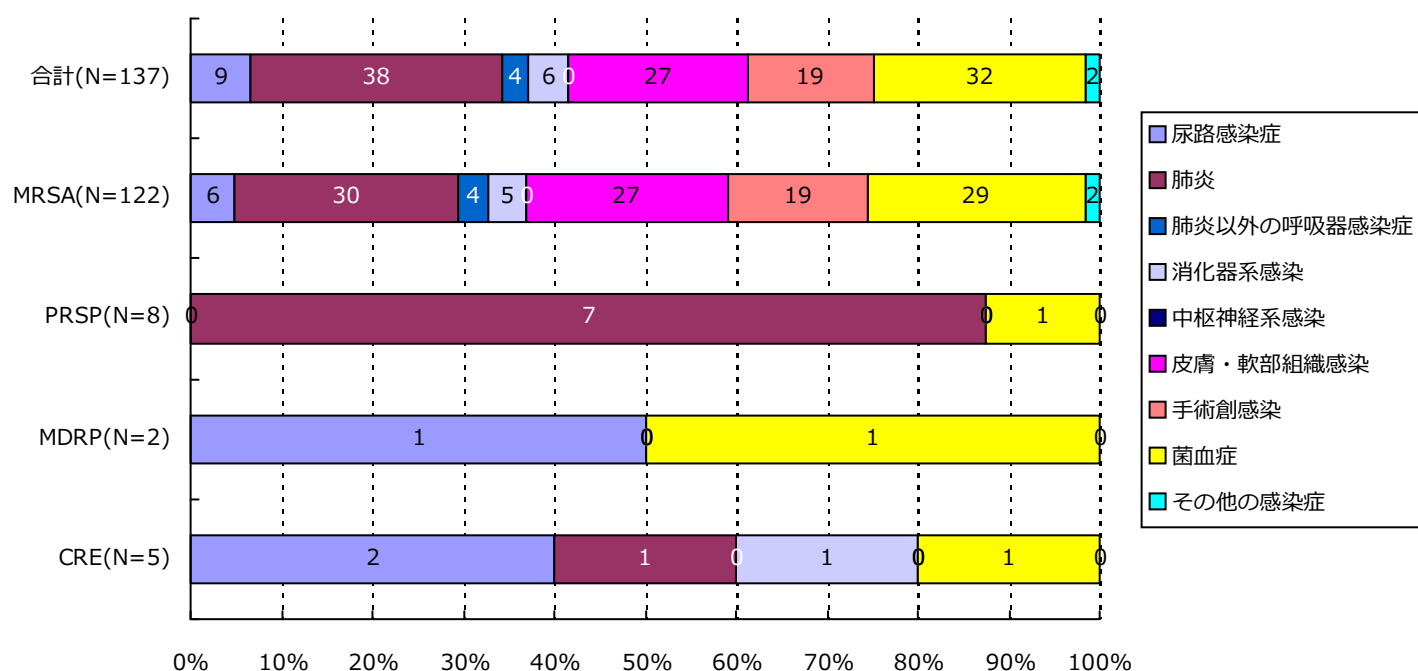
(新潟県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

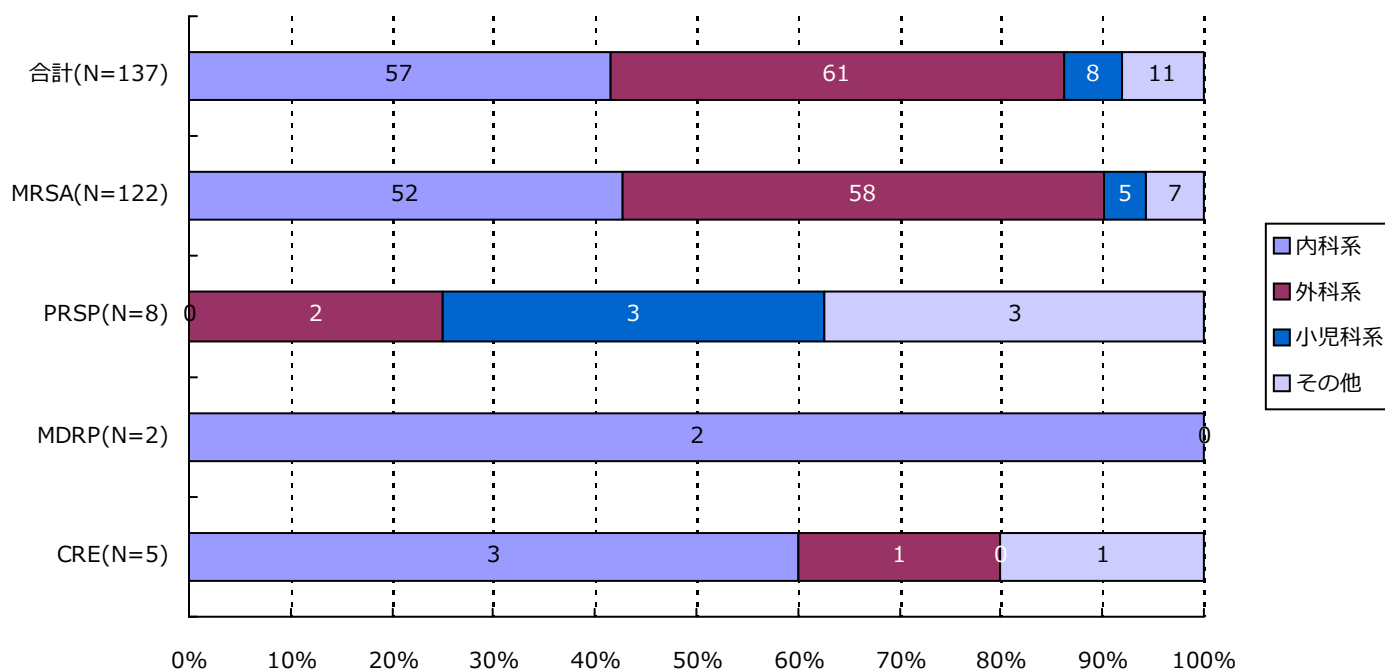


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	9(6.6%)	6(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	2(40.0%)
肺炎	38(27.7%)	30(24.6%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
肺炎以外	4(2.9%)	4(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	6(4.4%)	5(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	27(19.7%)	27(22.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	19(13.9%)	19(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	32(23.4%)	29(23.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
その他	2(1.5%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	137	122	0	0	8	2	0	5

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	57(41.6%)	52(42.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	3(60.0%)
外科系	61(44.5%)	58(47.5%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
小児科系	8(5.8%)	5(4.1%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	11(8.0%)	7(5.7%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	137	122	0	0	8	2	0	5

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
精神科		
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	小児科系
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

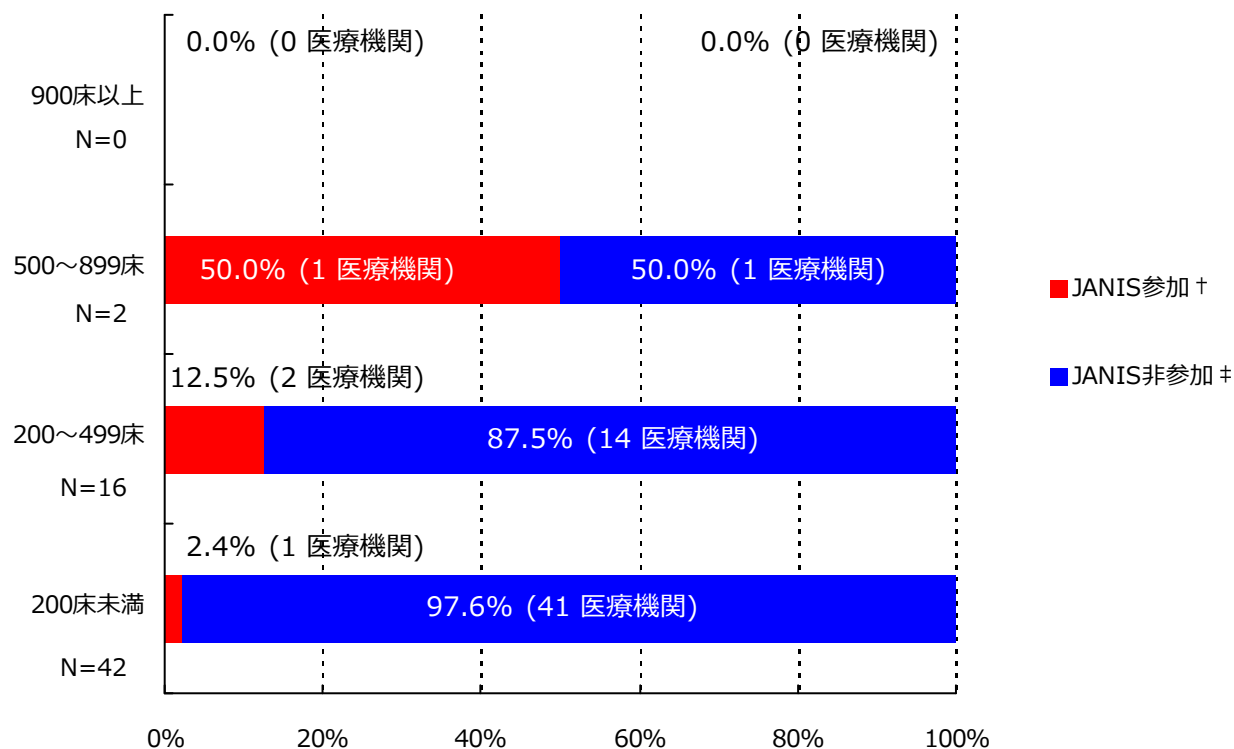
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(4医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	16	2 (12.5%)
200床未満	42	1 (2.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	60	4 (6.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(山梨県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

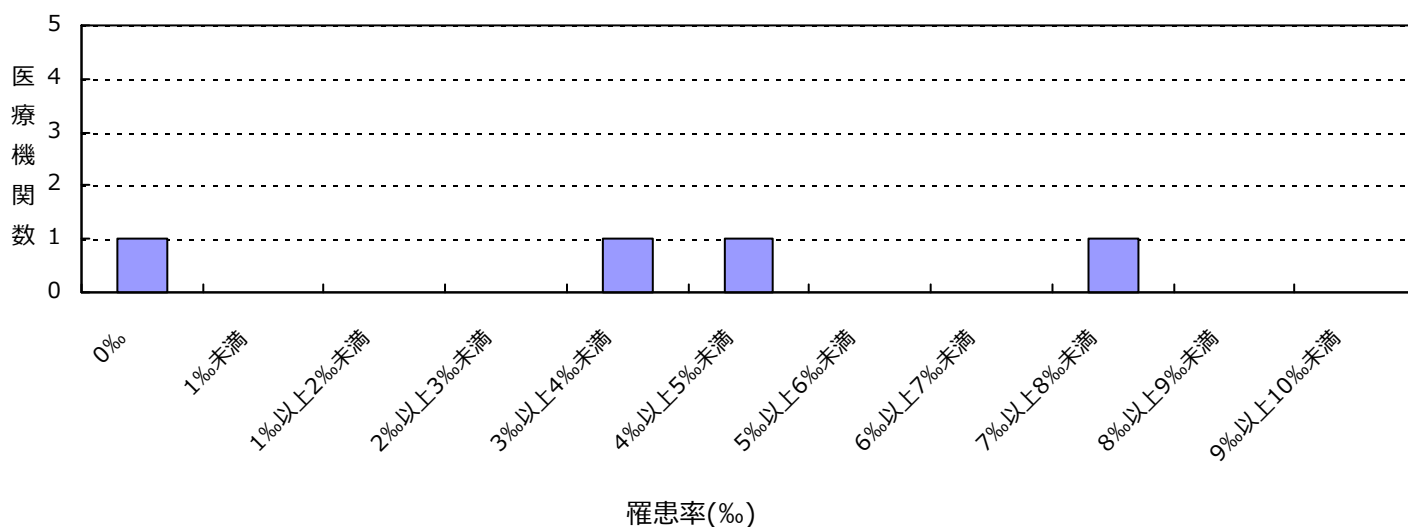


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	27,785	1	129	4.64%	0.00 3.84 7.19

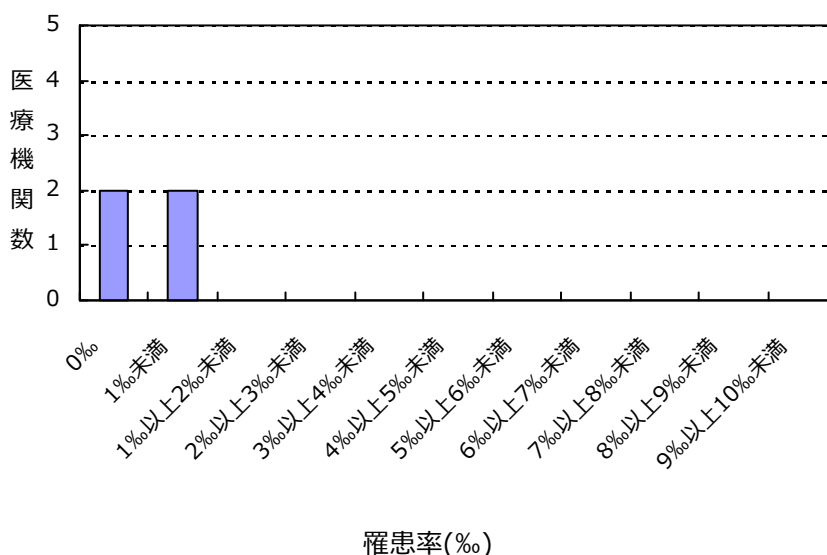
集計対象医療機関の罹患率(N=4)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	27,785	0	5	0.18%	0.00 0.18 0.45

集計対象医療機関の罹患率(N=4)



(山梨県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

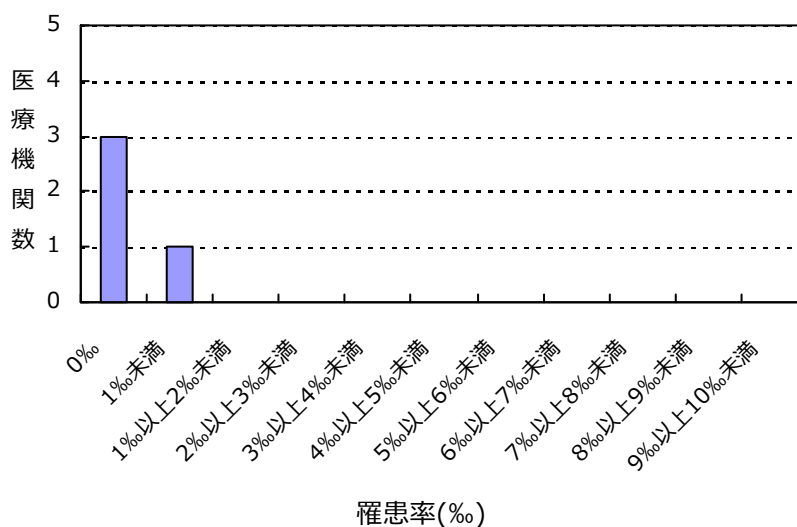


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRA	27,785	0	1	0.04%	0.00 0.00 0.07

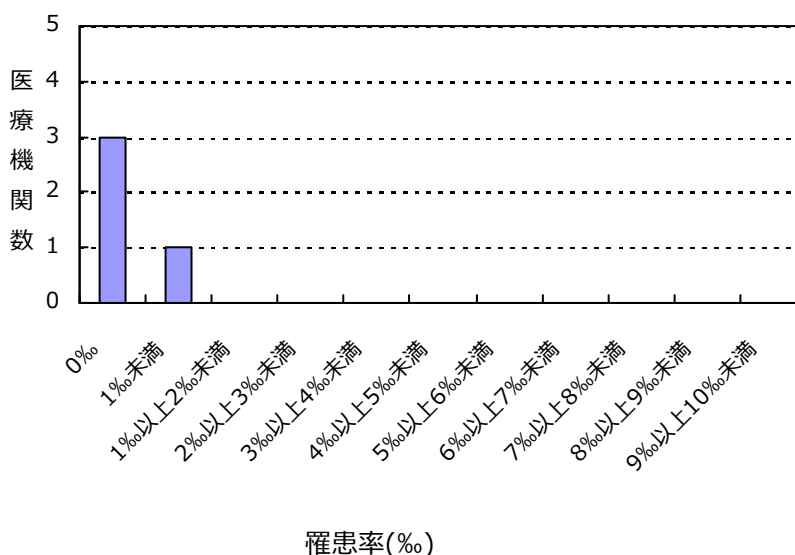
集計対象医療機関の罹患率(N=4)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	27,785	0	1	0.04%	0.00 0.00 0.07

集計対象医療機関の罹患率(N=4)



(山梨県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

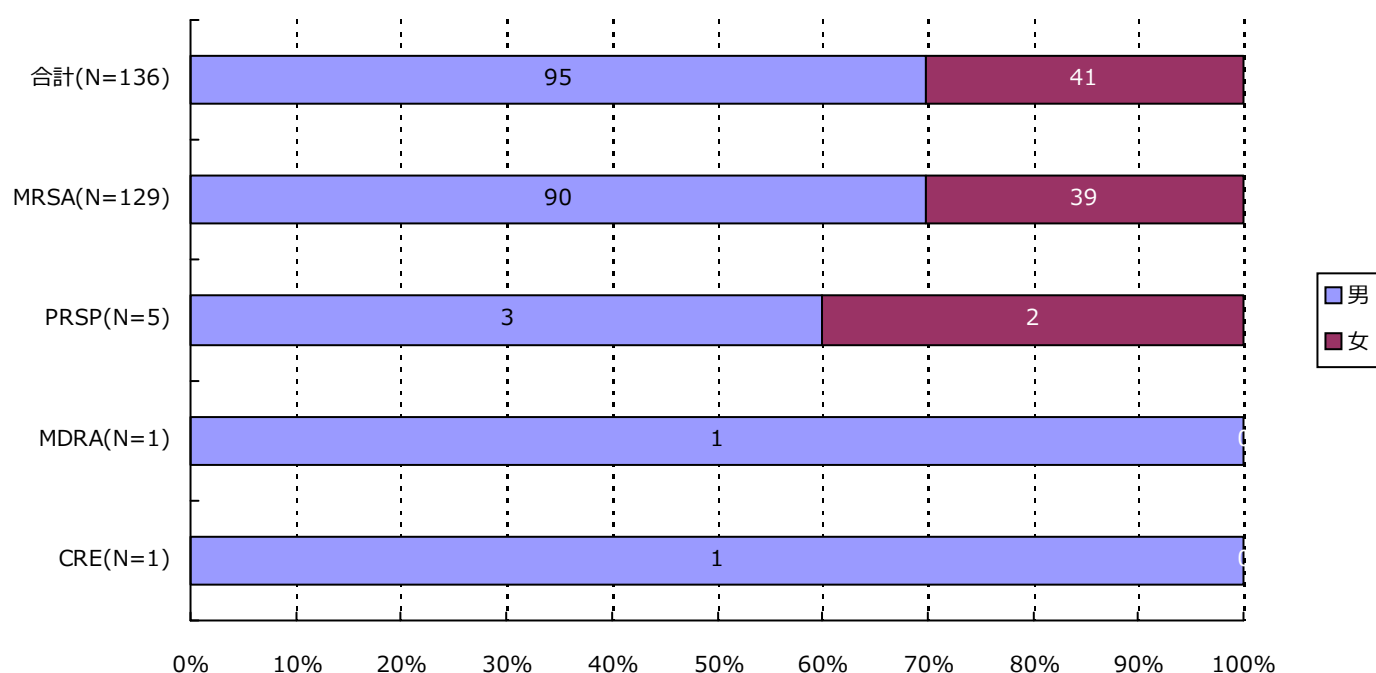
(山梨県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

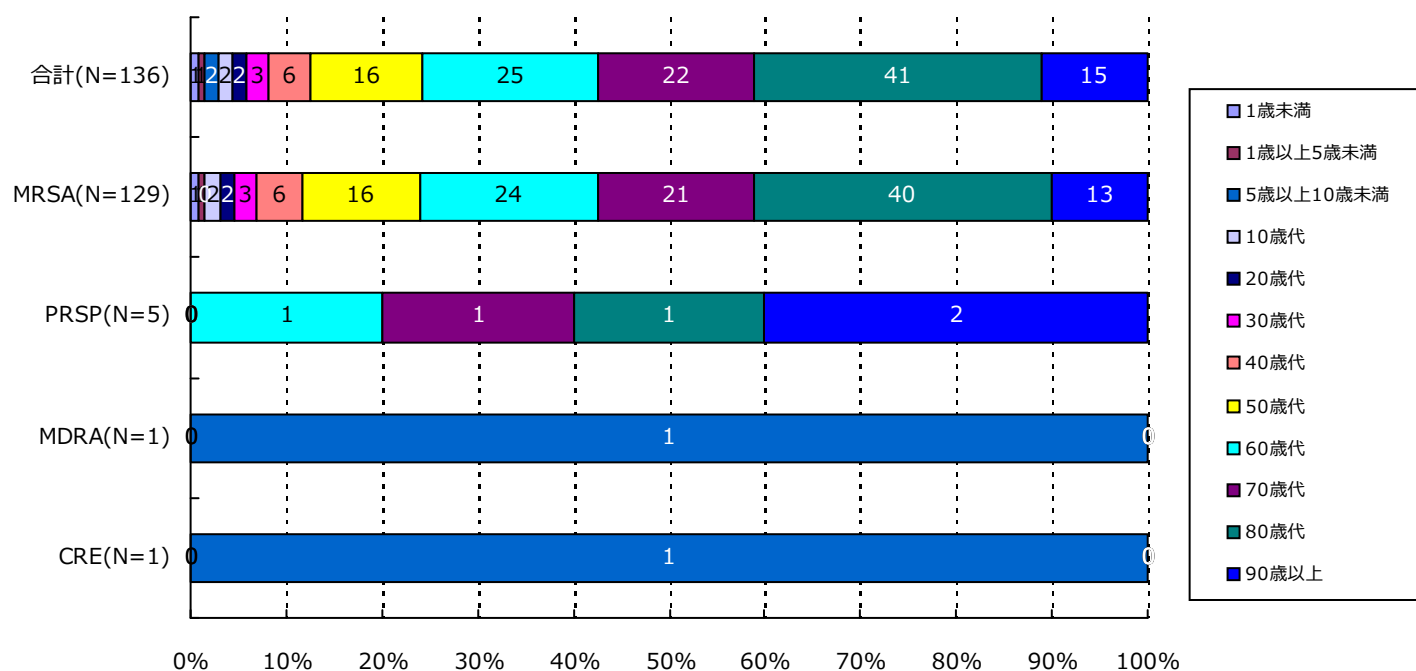


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



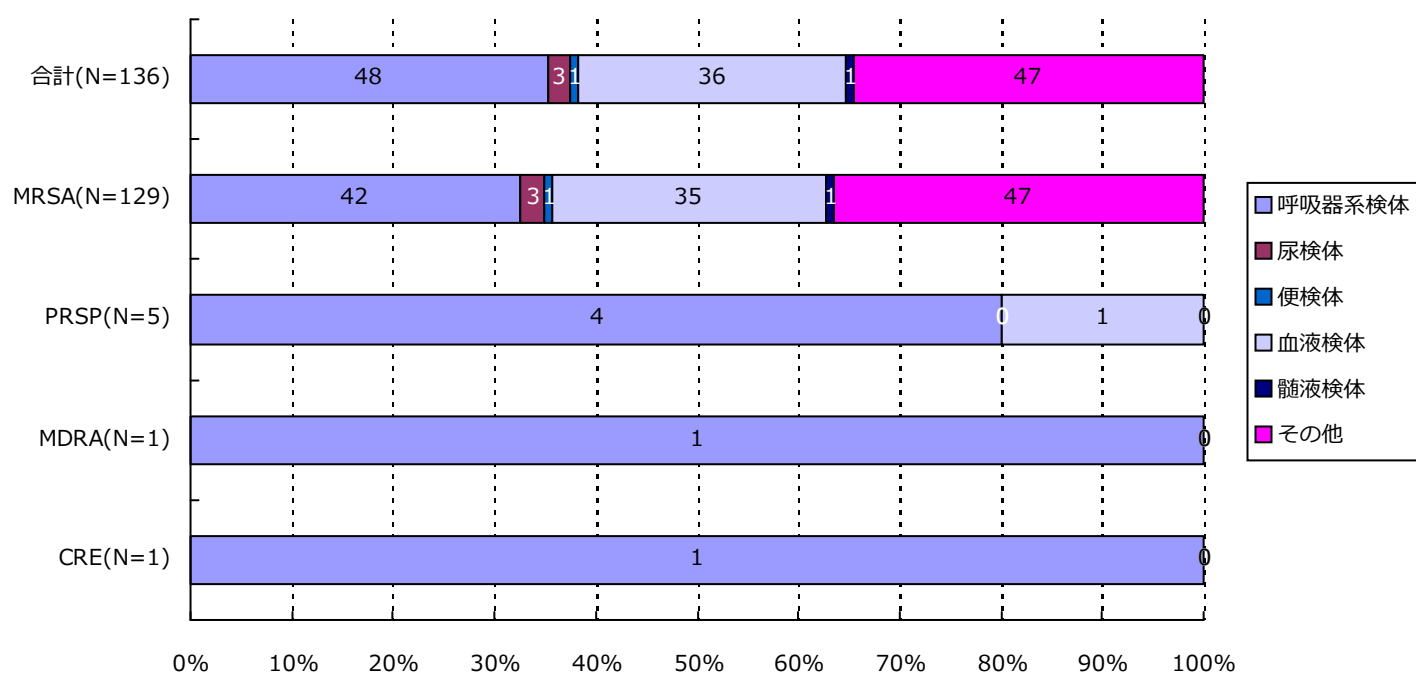
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	95 (69.9%)	90 (69.8%)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
女	41 (30.1%)	39 (30.2%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	136	129	0	0	5	0	1	1

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(100.0%)
10歳代	2(1.5%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.5%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(2.2%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	6(4.4%)	6(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	16(11.8%)	16(12.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	25(18.4%)	24(18.6%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	22(16.2%)	21(16.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	41(30.1%)	40(31.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	15(11.0%)	13(10.1%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	136	129	0	0	5	0	1	1

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	48(35.3%)	42(32.6%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	0(-)	1(100.0%)	1(100.0%)
尿検体	3(2.2%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	36(26.5%)	35(27.1%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	47(34.6%)	47(36.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	136	129	0	0	5	0	1	1

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

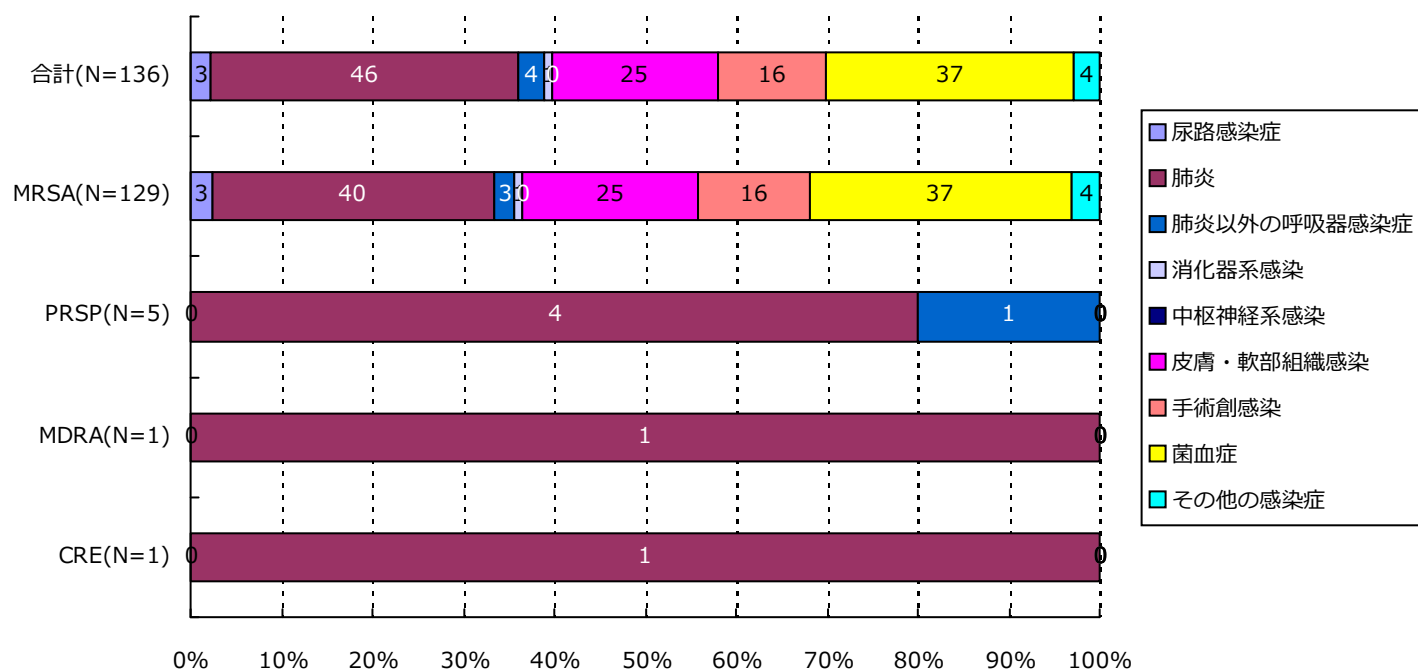
(山梨県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

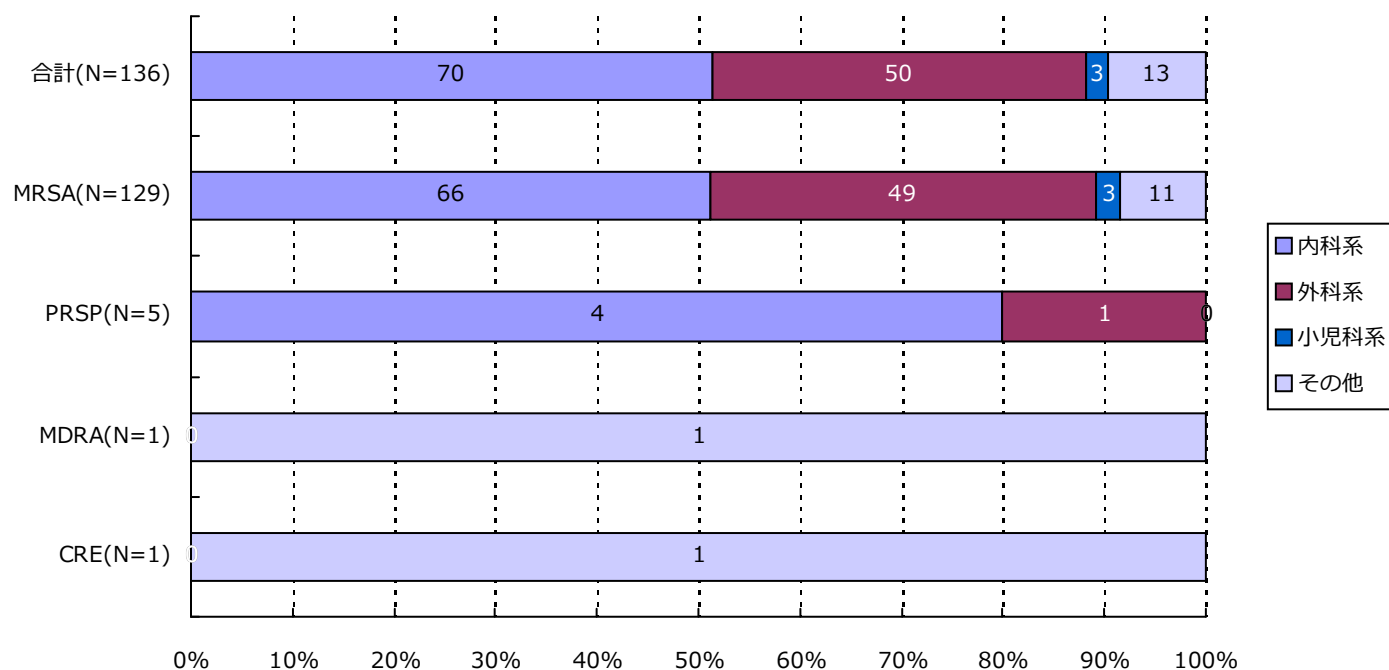


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3(2.2%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	46(33.8%)	40(31.0%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	0(-)	1(100.0%)	1(100.0%)
肺炎以外	4(2.9%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	25(18.4%)	25(19.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	16(11.8%)	16(12.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	37(27.2%)	37(28.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	4(2.9%)	4(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	136	129	0	0	5	0	1	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	70(51.5%)	66(51.2%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	50(36.8%)	49(38.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	3(2.2%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(9.6%)	11(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(100.0%)
合計	136	129	0	0	5	0	1	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

• 資料 2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
精神科		
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		
外科系		外科
		消化器外科
		肛門科
		肝胆脾外科
	心臓血管外科	
	内分泌外科	
	呼吸器外科	
	小児外科	
	小児循環器外科	
	小児消化器外科	
	産婦人科	
	産科	
	婦人科	
	整形外科	
	美容外科	
	眼科	
	耳鼻咽喉科	
	気管食道科	
	泌尿器科	
	小児科系	皮膚・泌尿器科
皮膚科		
脳神経外科		
形成外科		
歯科口腔外科		
歯科		
小児歯科		
矯正歯科		
口腔外科		
手術部		
移植・人工臓器科		
小児科		
新生児科		
新生児集中治療部(NICU)		
周産期センター		

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

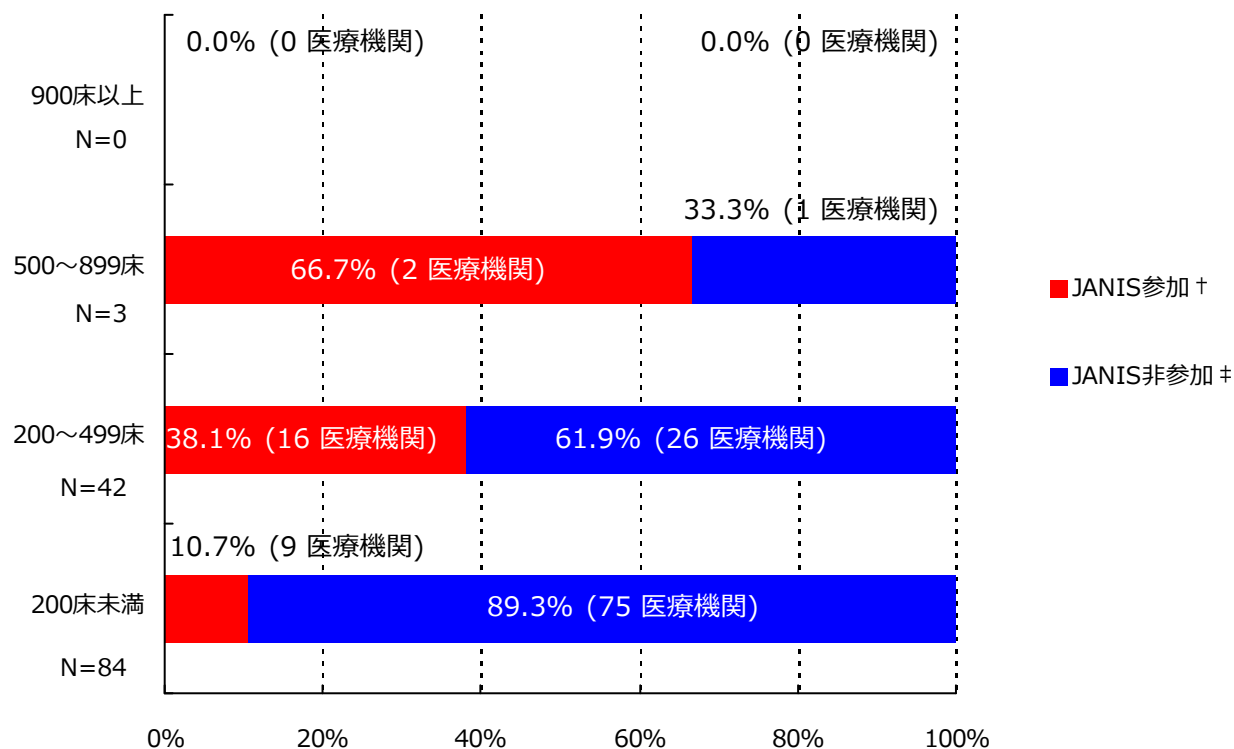
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(27医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	2 (66.7%)
200～499床	42	16 (38.1%)
200床未満	84	9 (10.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	129	27 (20.9%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

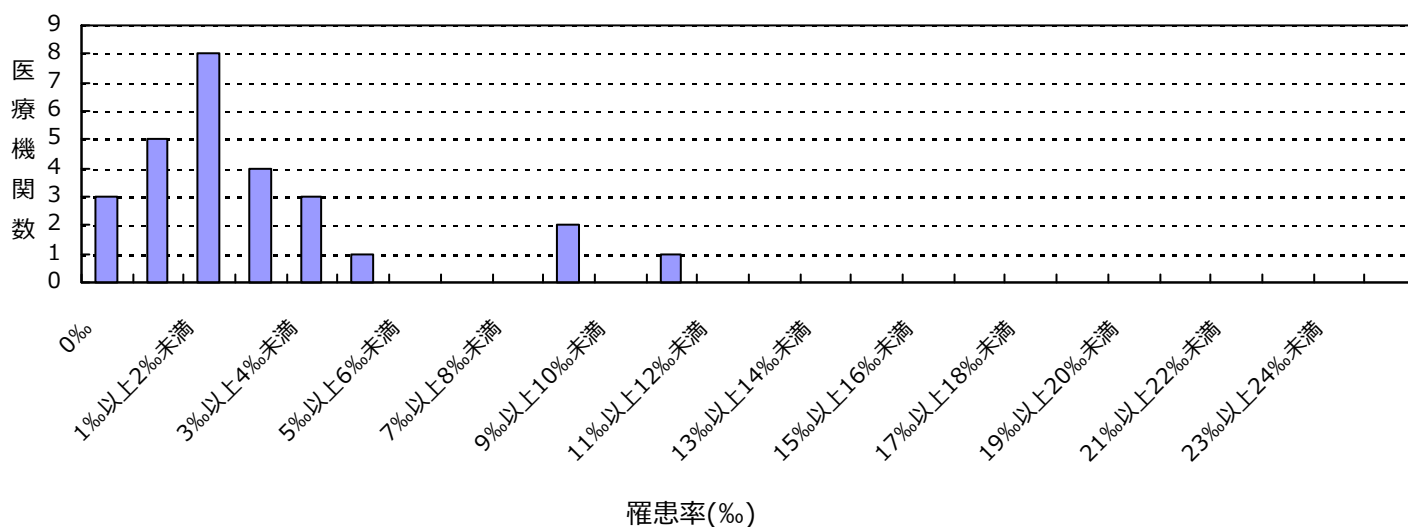


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	153,413	1	297	1.94%	0.00 1.66 10.51

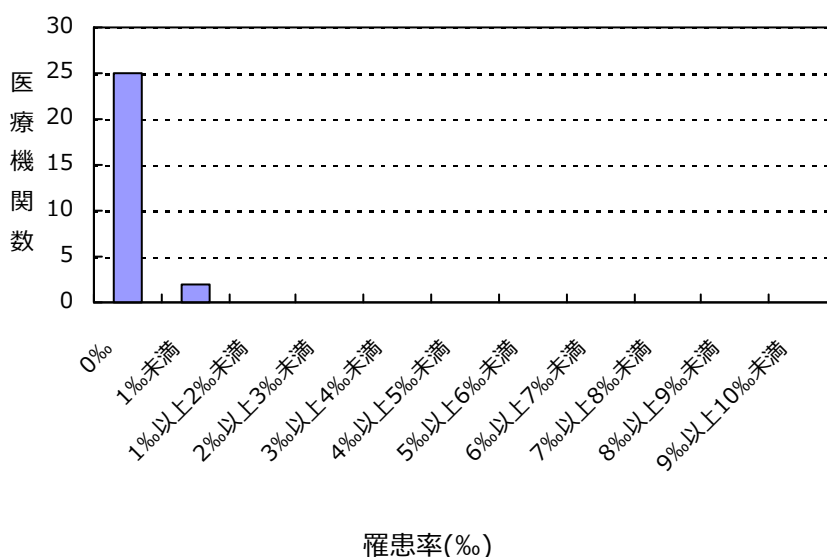
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	153,413	0	8	0.05%	0.00 0.00 0.42

集計対象医療機関の罹患率(N=27)



(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

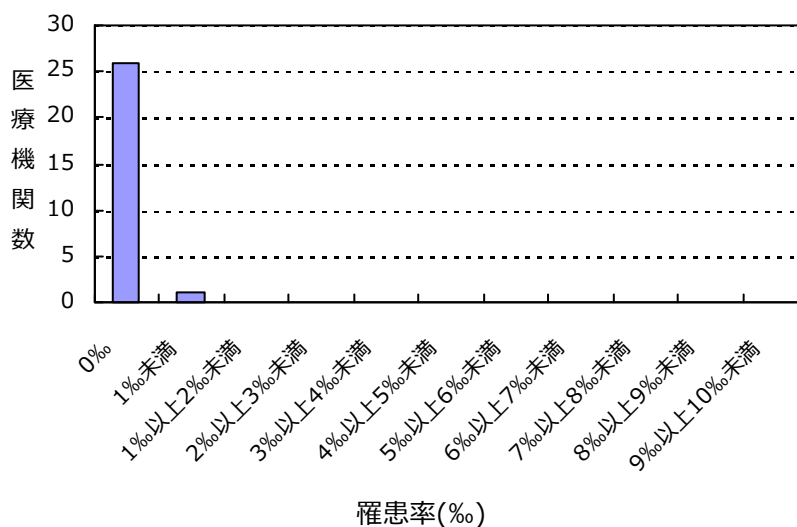


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	153,413	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.10

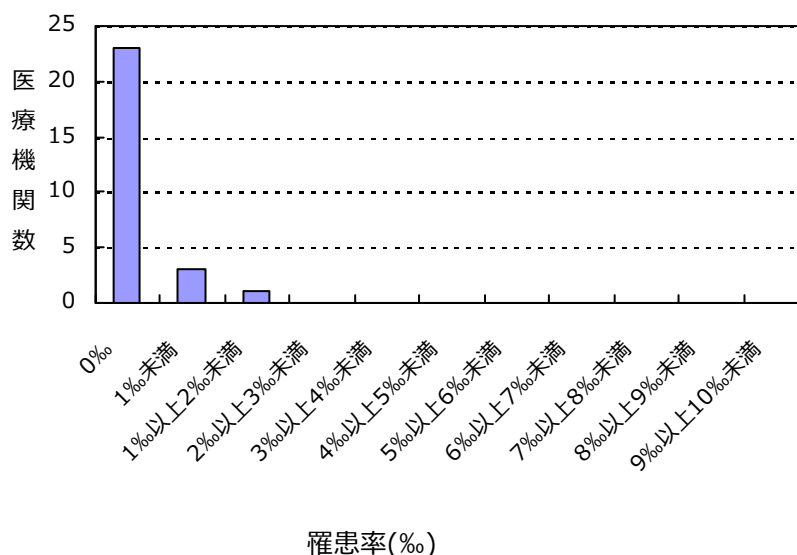
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	153,413	0	11	0.07%	0.00 0.00 1.16

集計対象医療機関の罹患率(N=27)



(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

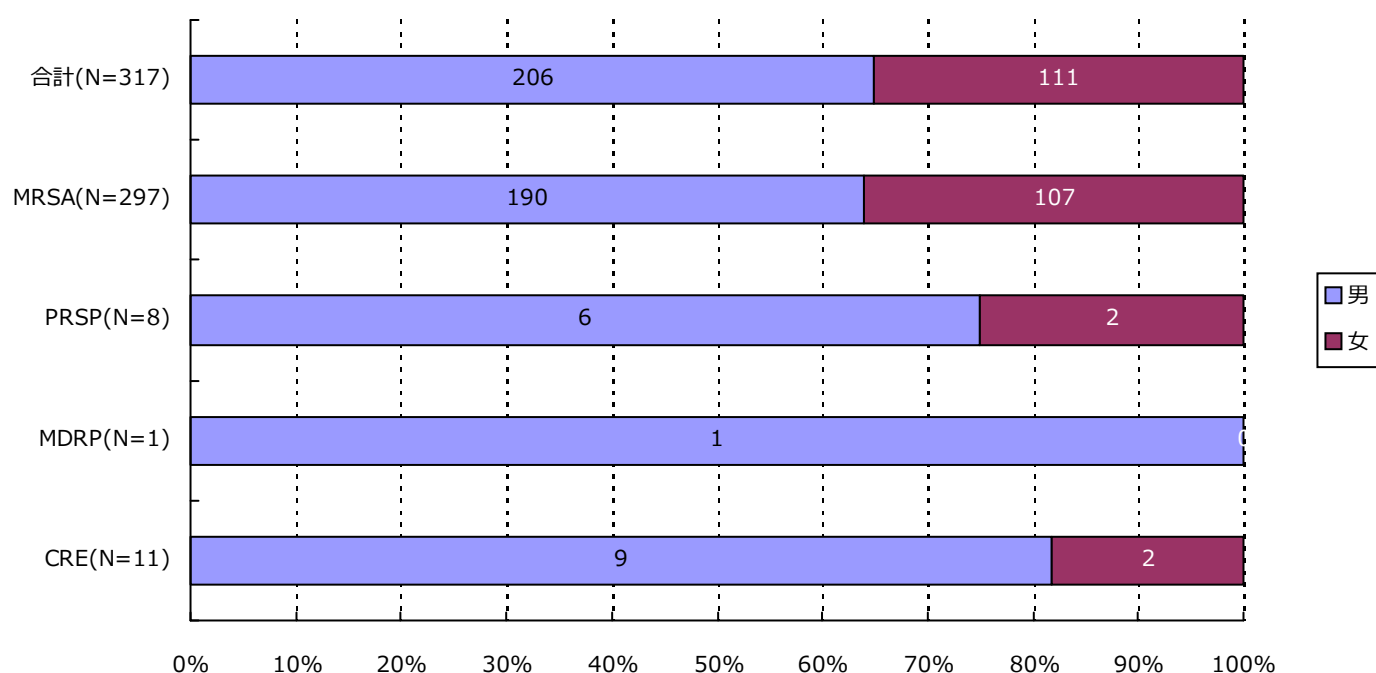
(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	206 (65.0%)	190 (64.0%)	0 (-)	0 (-)	6 (75.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	9 (81.8%)
女	111 (35.0%)	107 (36.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (25.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (18.2%)
合計	317	297	0	0	8	1	0	11

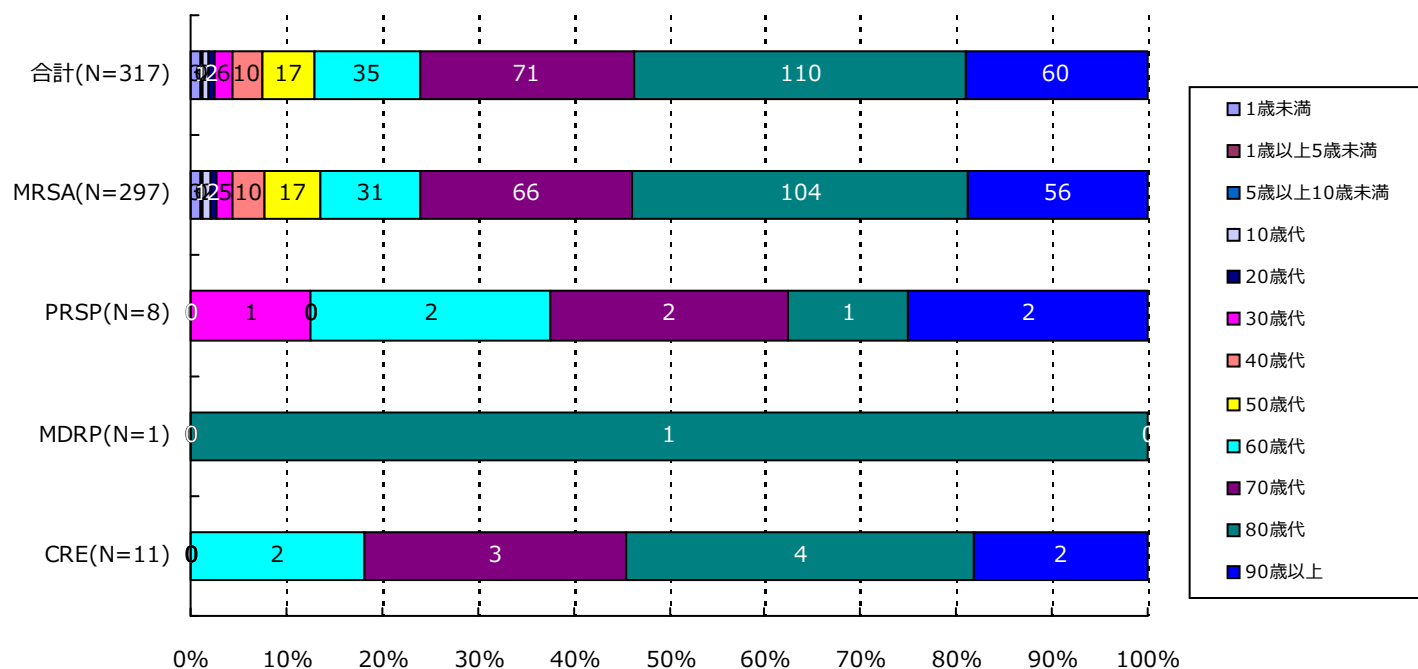
(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

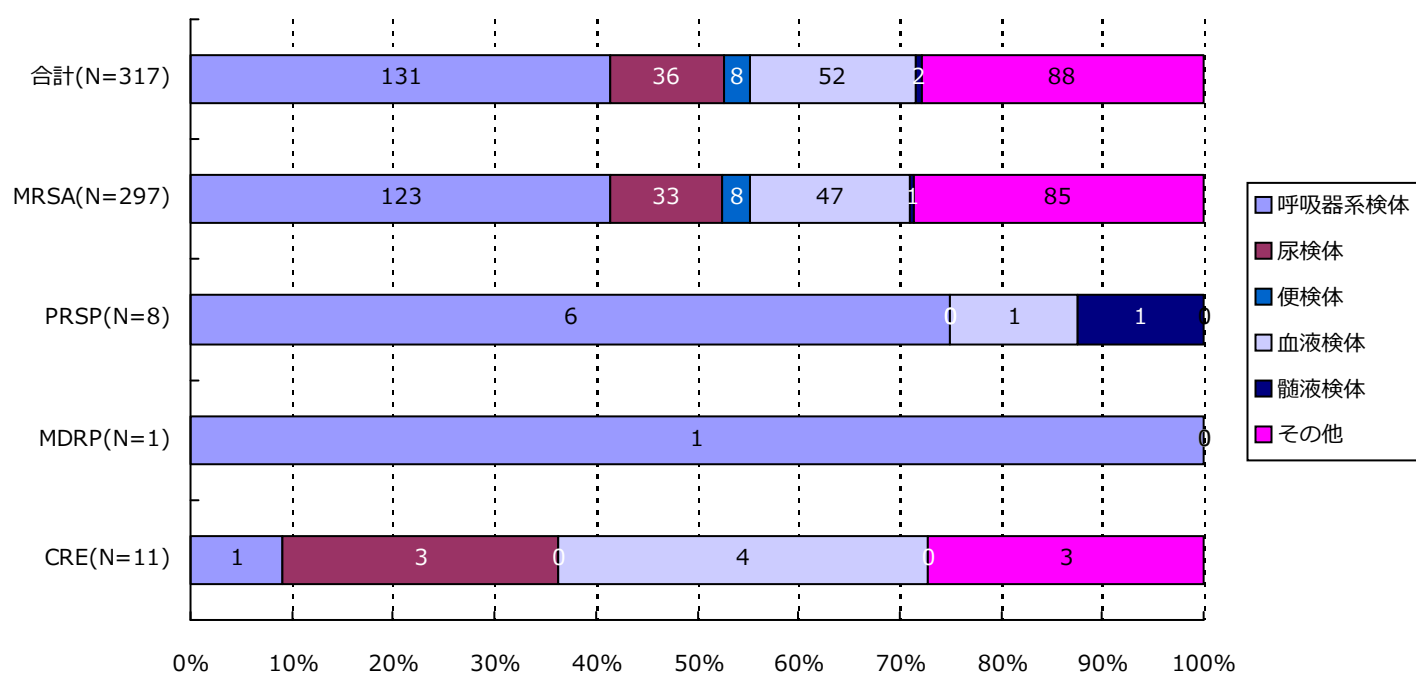


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(0.9%)	3(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(1.9%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	10(3.2%)	10(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	17(5.4%)	17(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	35(11.0%)	31(10.4%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
70歳代	71(22.4%)	66(22.2%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
80歳代	110(34.7%)	104(35.0%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(100.0%)	0(-)	4(36.4%)
90歳以上	60(18.9%)	56(18.9%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
合計	317	297	0	0	8	1	0	11

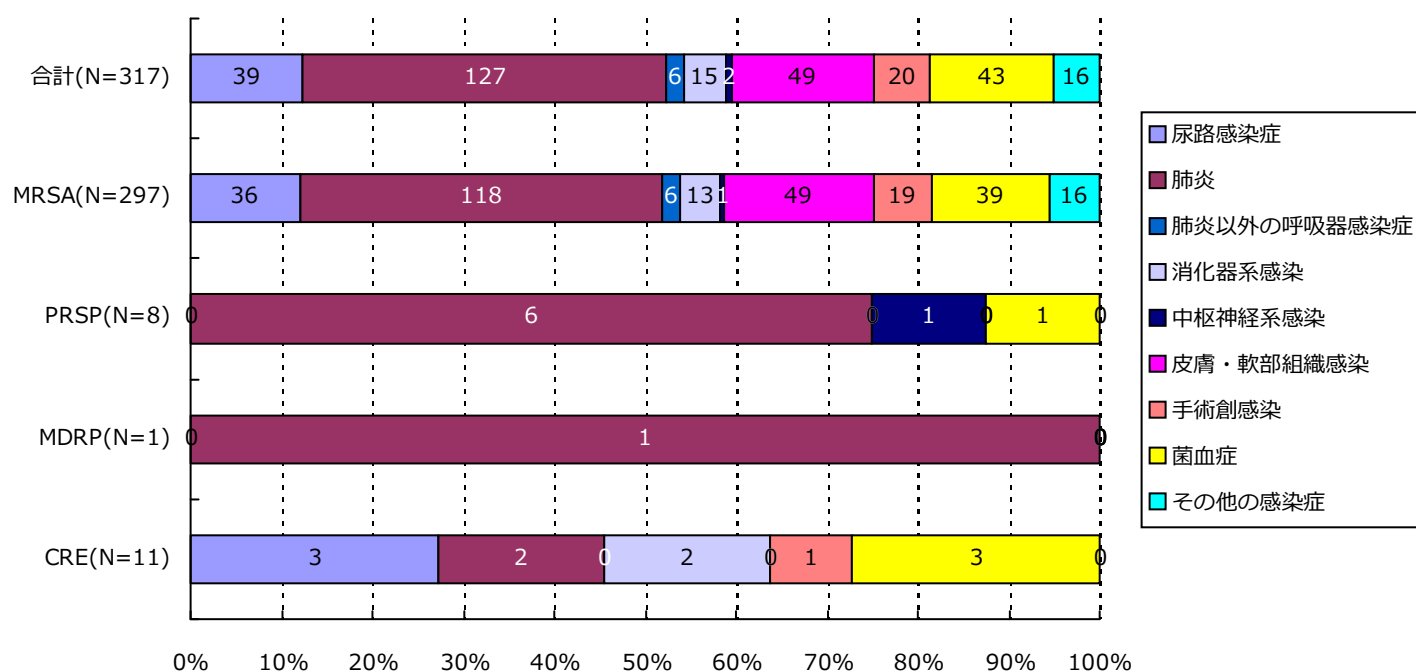
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	131(41.3%)	123(41.4%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	1(100.0%)	0(-)	1(9.1%)
尿検体	36(11.4%)	33(11.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
便検体	8(2.5%)	8(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	52(16.4%)	47(15.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)
髄液検体	2(0.6%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	88(27.8%)	85(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
合計	317	297	0	0	8	1	0	11

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	39(12.3%)	36(12.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
肺炎	127(40.1%)	118(39.7%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	1(100.0%)	0(-)	2(18.2%)
肺炎以外	6(1.9%)	6(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	15(4.7%)	13(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
中枢神経系	2(0.6%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	49(15.5%)	49(16.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	20(6.3%)	19(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
菌血症	43(13.6%)	39(13.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
その他	16(5.0%)	16(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	317	297	0	0	8	1	0	11

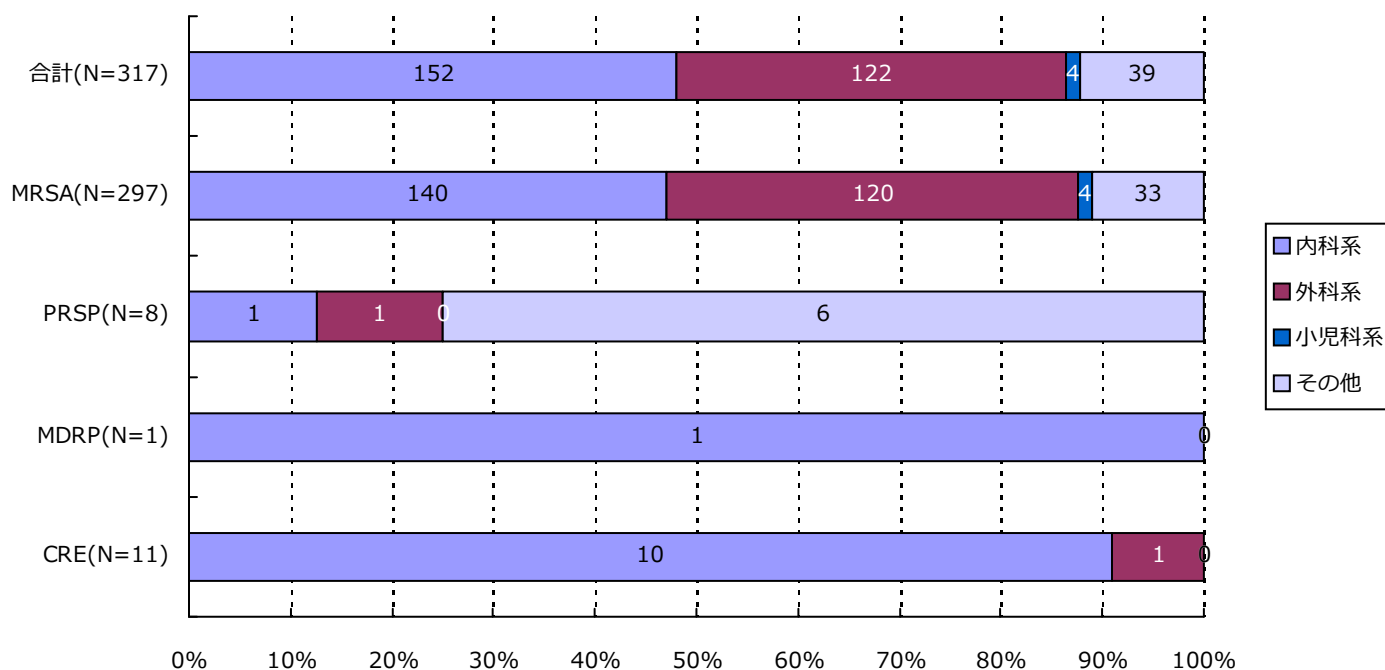
(長野県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	152(47.9%)	140(47.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(100.0%)	0(-)	10(90.9%)
外科系	122(38.5%)	120(40.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
小児科系	4(1.3%)	4(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	39(12.3%)	33(11.1%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	317	297	0	0	8	1	0	11

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
精神科		
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	小児科系
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用